

令和3年度
高山市まちづくりアンケート調査
—報告書—

令和3年12月
高山市

目次

第1章 調査の概要

1	調査の目的	1
2	調査の期間	1
3	調査の項目	1
4	調査の方法	1
5	回収結果	1
6	標本の構成	2
7	その他	2

第2章 調査結果の分析

1 高山市の市政運営について

1	市政運営への関心	3
2	今後の重要課題	6
3	高山市の取り組みに対する満足度	14

2 広報活動について

1	情報の入手方法	23
2	媒体別の利用状況	26
3	知りたい市の情報	29
4	広報全般への意見	31

3 高山市のまちづくりに関するご意見など

	自由記述	36
--	------	----

第1章 調査の概要

1 調査の目的

高山市第八次総合計画の計画期間における市民意識の経年比較、評価検証等

2 調査の期間

令和3年9月18日～10月20日

3 調査の項目

○高山市の市政運営について

- ・市政運営への関心
- ・今後の重要課題
- ・高山市の取り組みに対する満足度

○高山市の広報活動について

- ・市に関する情報の入手方法
- ・市が提供する情報の利用頻度
(広報たかやま、ケーブルTV、ヒッツFM)
- ・知りたい市の情報
- ・広報全般に対する意見(自由記述)

○高山市のまちづくりに関するご意見など(自由記述)

4 調査の方法

調査地域 高山市内全地域

実施方法 郵送による配布、郵送・インターネットによる回答、無記名式

調査対象 18歳以上の市民、3,000人

抽出方法 令和3年6月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出

5 回収結果

発送数 3,000人

回収数 1,396人

回収率 46.5%

6 標本の構成

		件数 (件)	構成比 (%)			件数 (件)	構成比 (%)	
性別	男性	607	43.5	家族構成	単身世帯	156	11.2	
	女性	729	52.2		夫婦のみ	352	25.2	
	無回答	60	4.3		二世帯世帯 (うち中学生以下の子と同居)	552 (177)	39.5 (12.7)	
年齢	10・20代	92	6.6		三世帯世帯 (うち中学生以下の子と同居)	283 (182)	20.3 (13.0)	
	30代	131	9.4		その他(※1)	16	1.2	
	40代	191	13.7		無回答	37	2.7	
	50代	221	15.8		職業	農林畜産業	60	4.3
	60代	272	19.5			自営業	140	10.0
	70代以上	468	33.5			会社員・公務員・団体職員	462	33.1
	無回答	21	1.5			パート・アルバイト・内職	229	16.4
居住地域	高山地域	901	64.5	家事従事者		93	6.7	
	東地区	69	4.9	学生		15	1.1	
	西地区	78	5.6	無職		346	24.8	
	南地区	105	7.5	その他(※2)		28	2.0	
	北地区	151	10.8	無回答	23	1.7		
	山王地区	132	9.5	定住年数	1年未満	22	1.6	
	江名子地区	57	4.1		1年以上～5年未満	47	3.4	
	新宮地区	96	6.9		5年以上～10年未満	46	3.3	
	三枝地区	38	2.7		10年以上～20年未満	105	7.5	
	大八地区	87	6.2		20年以上	1,165	83.5	
	岩滝地区	10	0.7		無回答	11	0.8	
	花里地区	78	5.6	居住形態	持ち家(分譲マンション・家族所有含む)	1,191	85.3	
	丹生川地域	61	4.4		借家(アパート含む)	161	11.5	
	清見地域	32	2.3		間借	0	0.0	
	荘川地域	28	2.0		社宅・寮	28	2.0	
	一之宮地域	45	3.2		その他(※3)	7	0.5	
	久々野地域	57	4.1		無回答	9	0.6	
	朝日地域	33	2.4		「その他」の内容			
	高根地域	12	0.9		※1 兄弟と同居、四世代世帯 など			
	国府地域	116	8.3	※2 会社役員 など				
	上宝・奥飛騨温泉郷地域	52	3.7	※3 施設入所 など				
	無回答	59	4.2					

7 その他

・この報告書における「回答率」は、次の計算式により算出している。

$$\text{回答率} = \text{回答数} / \text{標本数}$$

回答率は百分率(%)で、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計値が必ずしも100%とならない。また、2つ以上の回答を求めたものについての合計値は100%を超える。

第2章 調査結果の分析

1 高山市の市政運営について

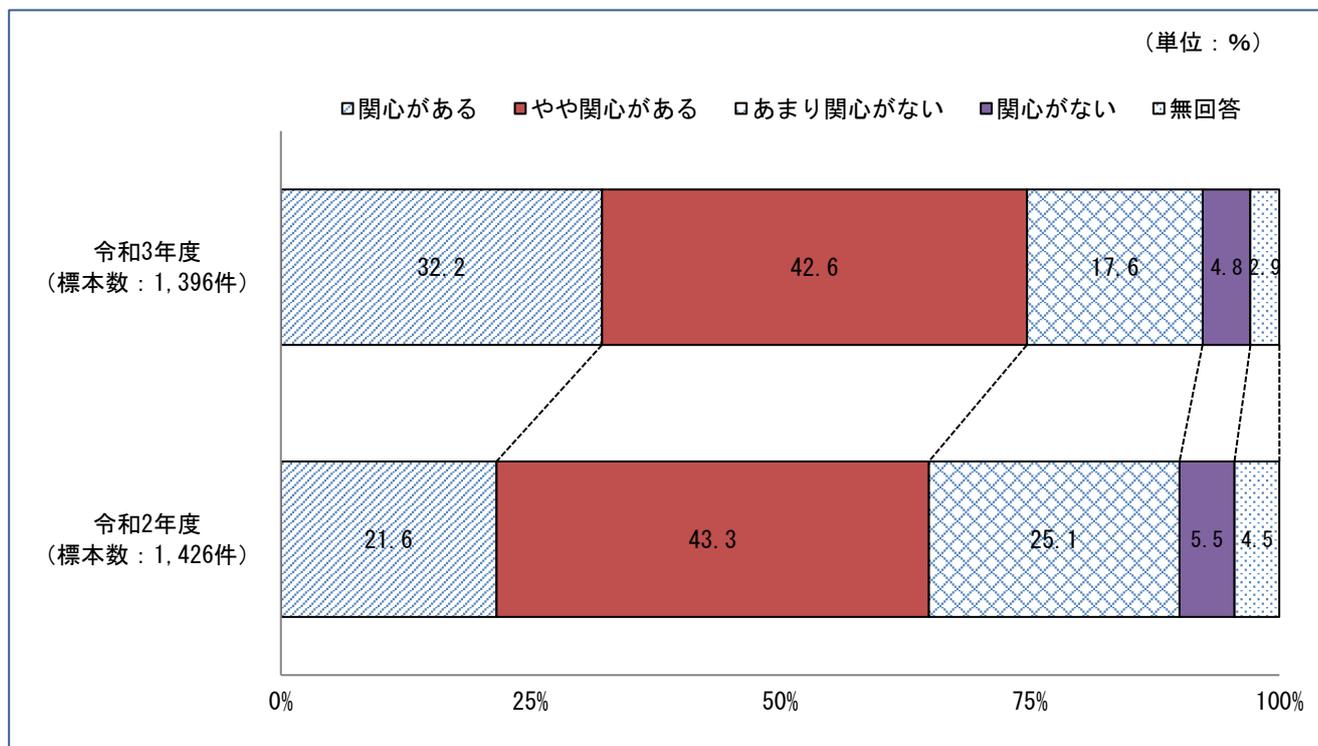
1 市政運営への関心

- ・「やや関心がある」の割合が最も高い。
- ・「関心がある」と「やや関心がある」を合わせると 74.8%を占め、前回（R2）の調査結果（64.9%）に比べ9.9ポイント上昇している。

問1 あなたは、高山市の市政運営に関心をお持ちですか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
関心がある	449	32.2
やや関心がある	595	42.6
あまり関心がない	245	17.6
関心がない	67	4.8
無回答	40	2.9
計	1,396	

(標本数：1,396件)



属性別集計（年齢別）

		標本数 (件)	市政運営の関心 (%)				
			関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	関心がない	無回答
年齢	10代・20代	92	22.8	27.2	27.2	22.8	0.0
	30代	131	25.2	39.7	28.2	6.1	0.8
	40代	191	30.4	47.1	18.8	3.7	0.0
	50代	221	35.3	44.8	16.3	2.7	0.9
	60代	272	34.9	44.5	14.7	3.7	2.2
	70代以上	468	34.0	42.9	14.7	3.2	5.1

【年齢別】

- ・「関心がある」と「やや関心がある」を合わせた割合は、40代以上では70%以上であるのに対し、30代では64.9%、10代・20代では50.0%と低くなっている。
- ・「関心がない」と回答した割合が、10代・20代では22.8%で、他の世代が10%未満であるのに対して、高くなっている。

属性別集計（居住地域別、定住年数別）

		標本数 (件)	市政運営の関心 (%)				
			関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	関心がない	無回答
居住地域	高山地域	901	31.5	43.8	17.5	4.4	2.7
	東地区	69	34.8	37.7	15.9	8.7	2.9
	西地区	78	34.6	50.0	11.5	3.8	0.0
	南地区	105	34.3	42.9	18.1	1.9	2.9
	北地区	151	39.7	39.7	14.6	2.0	4.0
	山王地区	132	32.6	41.7	19.7	4.5	1.5
	江名子地区	57	29.8	38.6	22.8	3.5	5.3
	新宮地区	96	22.9	46.9	22.9	6.3	1.0
	三枝地区	38	28.9	50.0	13.2	7.9	0.0
	大八地区	87	23.0	50.6	17.2	5.7	3.4
	岩滝地区	10	40.0	40.0	10.0	10.0	0.0
	花里地区	78	25.6	46.2	19.2	3.8	5.1
	丹生川地域	61	44.3	27.9	21.3	3.3	3.3
	清見地域	32	25.0	46.9	15.6	3.1	9.4
	荘川地域	28	17.9	46.4	14.3	10.7	10.7
	一之宮地域	45	33.3	48.9	15.6	2.2	0.0
	久々野地域	57	38.6	35.1	22.8	3.5	0.0
	朝日地域	33	30.3	51.5	12.1	6.1	0.0
	高根地域	12	41.7	58.3	0.0	0.0	0.0
	国府地域	116	35.3	41.4	15.5	3.4	4.3
上宝・奥飛騨温泉郷地域	52	25.0	38.5	19.2	13.5	3.8	
定住年数	1年未満	22	27.3	45.5	18.2	9.1	0.0
	1年以上～5年未満	47	27.7	40.4	17.0	12.8	2.1
	5年以上～10年未満	46	19.6	45.7	26.1	6.5	2.2
	10年以上～20年未満	105	21.9	52.4	19.0	6.7	0.0
	20年以上	1,165	33.9	41.6	17.3	4.2	3.0

【居住地域別】

- ・「関心がある」と「やや関心がある」を合わせた割合は、高根地域（100.0%）が最も高く、次いで西地区（84.6%）、一之宮地域（82.2%）が高い。一方、上宝・奥飛騨温泉郷地域（63.5%）が最も低く、次いで荘川地域（64.3%）、江名子地域（68.4%）が低い。

【定住年数別】

- ・「関心がある」と「やや関心がある」を合わせた割合は、20年以上（75.5%）が最も高く、5年以上～10年未満（65.3%）が最も低い。

2 今後の重要課題

- ・ 1位から3位は、前回（R2）の調査結果と順位の入替わりはあるものの項目は同じである。
- ・ 前回（R2）の調査結果に比べ、特に「急激な高齢者の増加への対応」と「雇用の場の創出」の割合が低下し、「医療・福祉サービスの確保」と「人口減少への対応」の割合が上昇している

問2 あなたは、今後、高山市がどのようなことに重点的に取り組むべきだとお考えですか。
（3つまで○印）

順位		回答数 (件)	回答率 (%)	前回 (R2)	
				順位	回答率(%)
1	医療・福祉サービスの確保	647	46.3	2	39.4
2	急激な高齢者の増加への対応	491	35.2	1	44.0
3	少子化対策	395	28.3	3	25.0
4	人口減少への対応	351	25.1	6	21.6
5	地震や豪雨災害などへの備え	350	25.1	5	22.3
6	雇用の場の創出	311	22.3	4	24.1
7	地域経済の活性化	287	20.6	7	19.7
8	道路環境の整備や公共交通の充実	153	11.0	8	9.3
9	安全安心の確保	147	10.5	9	7.8
9	学校教育や生涯学習の充実	147	10.5	11	7.2
11	地域力の向上や魅力ある地域づくり	130	9.3	12	6.9
12	観光の振興	125	9.0	14	6.2
13	自然環境の保全	118	8.5	10	7.2
14	農林畜産業の振興	101	7.2	13	6.8
15	効率的で持続可能な行財政運営の推進	80	5.7	14	6.2
16	伝統文化の保存・活用	71	5.1	16	4.6
17	自然エネルギーへの転換	68	4.9	17	3.2
18	郷土への誇り・愛着の醸成	34	2.4	19	1.9
19	海外戦略	22	1.6	18	2.4
20	文化芸術の振興	19	1.4	20	1.3
	その他	29	2.1		2.5
	無回答	9	0.6		1.3
	計	4,085			

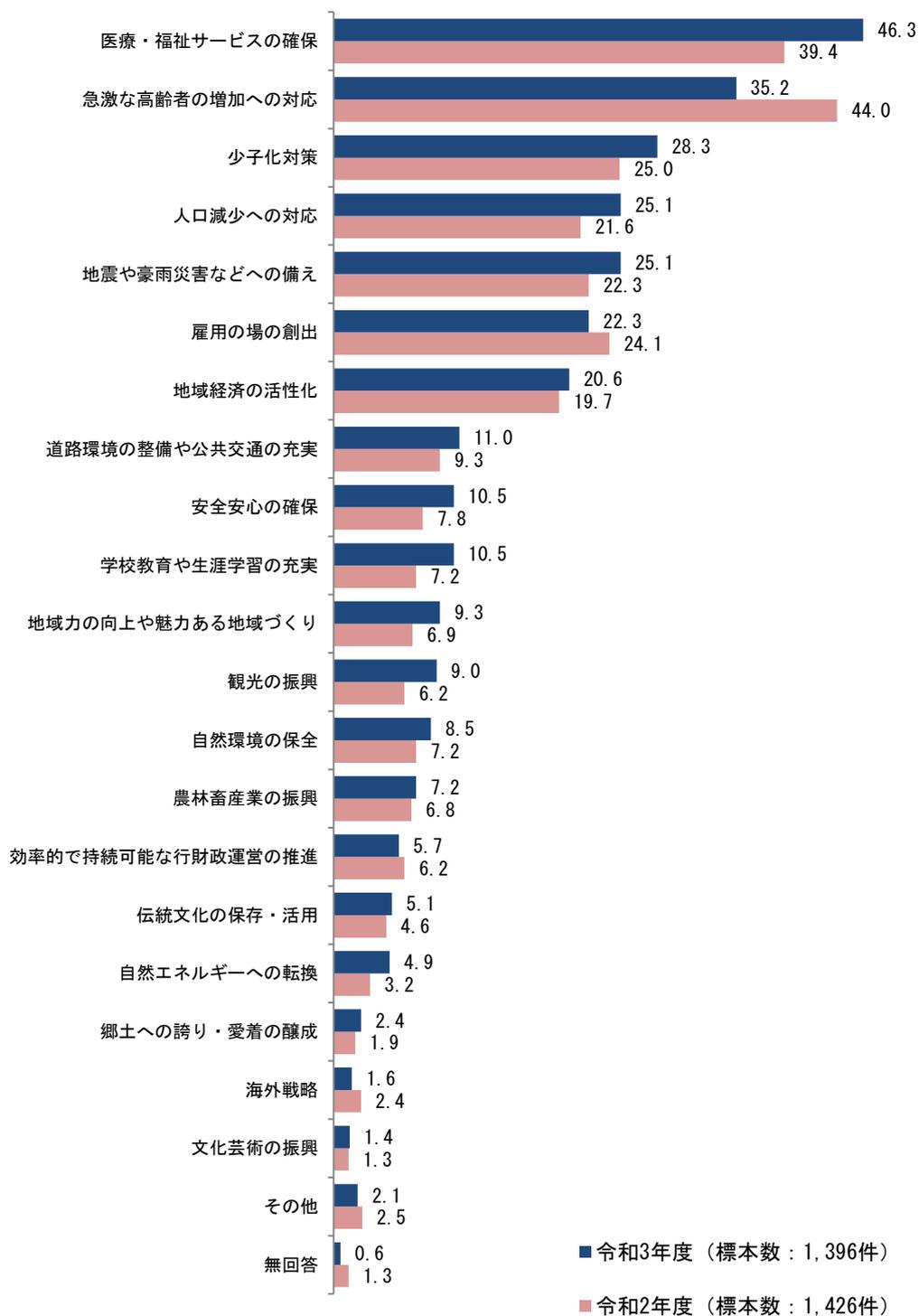
(標本数：1,396件)

(標本数:1,426件)

※「その他」内容

- ・ 「市民が楽しめる場所（娯楽施設等）の創出」、「スポーツ施設の充実」 など

(単位：%)



属性別集計（年齢別）

		年齢					
		10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数（件）		92	131	191	221	272	468
今後の重要課題（%）	医療・福祉サービスの確保	34.8	38.2	49.2	44.3	50.7	48.5
	急激な高齢者の増加への対応	10.9	16.0	26.2	33.5	43.0	45.1
	少子化対策（妊娠、出産への支援、子育てしやすい環境づくり）	46.7	52.7	35.1	24.9	27.9	17.5
	人口減少への対応	22.8	21.4	16.8	25.8	24.3	30.1
	地震や豪雨災害などへの備え	28.3	29.0	26.7	21.7	22.4	25.9
	雇用の場の創出	18.5	27.5	27.2	28.1	27.2	14.1
	地域経済の活性化	16.3	17.6	20.4	28.1	21.3	18.2
	道路環境の整備や公共交通の充実	14.1	5.3	11.0	8.6	13.2	11.8
	安全安心の確保（消防、防犯、交通安全）	10.9	9.9	8.9	9.5	9.9	11.8
	学校教育や生涯学習の充実	12.0	26.0	20.4	8.6	7.0	5.1
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	7.6	6.9	11.0	9.0	7.4	11.3
	観光の振興（魅力ある観光地づくり、誘客促進）	15.2	9.2	8.9	13.1	4.8	8.5
	自然環境の保全	15.2	8.4	3.7	10.0	7.7	8.8
	農林畜産業の振興	5.4	3.8	11.5	6.8	4.8	8.5
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	1.1	7.6	3.7	9.0	6.3	5.1
	伝統文化の保存・活用	6.5	6.1	3.1	6.3	5.1	4.7
	自然エネルギーへの転換	1.1	5.3	4.7	5.9	4.0	5.6
	郷土への誇り・愛着の醸成	2.2	1.5	3.1	2.3	1.8	2.8
海外戦略（外国人観光客の誘致、地元産品の販路拡大、国際交流）	2.2	0.8	3.7	0.9	0.7	1.5	
文化芸術の振興	1.1	0.8	1.6	1.4	1.5	1.3	
その他	2.2	3.1	1.0	3.2	1.5	1.9	
無回答	3.3	0.0	0.0	0.0	0.4	0.9	

【年齢別】

- ・ 30代以下は「少子化対策」の割合が最も高い。
- ・ 40代以上は「医療・福祉サービスの確保」の割合が最も高い。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域											
		高山地域	東地区	西地区	南地区	北地区	山王地区	江名子地区	新宮地区	三枝地区	大八地区	岩滝地区	花里地区
標本数（件）		901	69	78	105	151	132	57	96	38	87	10	78
今後の重要課題（％）	医療・福祉サービスの確保	47.2	50.7	30.8	46.7	45.0	50.0	47.4	52.1	55.3	51.7	40.0	46.2
	急激な高齢者の増加への対応	35.7	42.0	26.9	33.3	35.1	35.6	38.6	34.4	34.2	39.1	30.0	41.0
	少子化対策(妊娠、出産への支援、子育てしやすい環境づくり)	26.7	20.3	29.5	28.6	30.5	29.5	26.3	17.7	23.7	23.0	50.0	29.5
	人口減少への対応	23.2	24.6	25.6	23.8	23.8	22.0	24.6	25.0	23.7	19.5	50.0	16.7
	地震や豪雨災害などへの備え	25.0	21.7	20.5	18.1	27.2	23.5	24.6	27.1	26.3	27.6	30.0	33.3
	雇用の場の創出	21.9	18.8	21.8	20.0	27.8	15.2	15.8	29.2	31.6	18.4	10.0	23.1
	地域経済の活性化	21.4	18.8	21.8	18.1	25.8	22.0	17.5	15.6	26.3	21.8	40.0	23.1
	道路環境の整備や公共交通の充実	10.1	7.2	9.0	14.3	9.9	8.3	15.8	13.5	2.6	10.3	0.0	7.7
	安全安心の確保(消防、防犯、交通安全)	11.3	7.2	9.0	8.6	11.9	9.8	17.5	10.4	13.2	13.8	10.0	15.4
	学校教育や生涯学習の充実	11.5	13.0	6.4	7.6	9.9	15.9	12.3	17.7	10.5	8.0	10.0	12.8
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	9.1	11.6	12.8	15.2	6.0	8.3	1.8	7.3	2.6	11.5	20.0	9.0
	観光の振興(魅力ある観光地づくり、誘客促進)	10.2	7.2	17.9	6.7	9.3	15.2	12.3	12.5	2.6	8.0	10.0	5.1
	自然環境の保全	8.1	7.2	7.7	9.5	7.3	6.1	8.8	8.3	10.5	9.2	0.0	10.3
	農林畜産業の振興	5.4	4.3	10.3	6.7	3.3	9.1	1.8	6.3	5.3	2.3	10.0	2.6
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	7.5	10.1	9.0	3.8	9.3	6.1	8.8	11.5	10.5	5.7	0.0	3.8
	伝統文化の保存・活用	5.7	4.3	15.4	3.8	6.6	6.1	7.0	4.2	0.0	4.6	0.0	2.6
	自然エネルギーへの転換	5.2	4.3	7.7	7.6	2.6	3.8	8.8	6.3	2.6	5.7	0.0	5.1
	郷土への誇り・愛着の醸成	2.4	2.9	1.3	4.8	2.0	2.3	3.5	1.0	0.0	4.6	10.0	0.0
	海外戦略(外国人観光客の誘致、地元産品の販路拡大、国際交流)	2.1	2.9	2.6	3.8	1.3	2.3	0.0	2.1	0.0	3.4	0.0	1.3
	文化芸術の振興	1.8	4.3	3.8	4.8	0.0	1.5	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	2.6
その他	2.0	1.4	2.6	2.9	1.3	3.0	0.0	3.1	2.6	2.3	0.0	0.0	
無回答	0.4	1.4	0.0	1.0	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

属性別集計（居住地域別）

		居住地域								
		丹生川地域	清見地域	莊川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	上宝・奥飛驒温泉郷地域
標本数（件）		61	32	28	45	57	33	12	116	52
今後の重要課題（％）	医療・福祉サービスの確保	44.3	43.8	28.6	53.3	49.1	24.2	50.0	47.4	44.2
	急激な高齢者の増加への対応	31.1	46.9	28.6	33.3	35.1	36.4	33.3	29.3	48.1
	少子化対策(妊娠、出産への支援、子育てしやすい環境づくり)	31.1	31.3	17.9	24.4	40.4	21.2	41.7	28.4	32.7
	人口減少への対応	19.7	25.0	53.6	24.4	22.8	45.5	58.3	27.6	32.7
	地震や豪雨災害などへの備え	32.8	15.6	14.3	28.9	17.5	39.4	8.3	21.6	26.9
	雇用の場の創出	14.8	21.9	17.9	17.8	28.1	33.3	16.7	30.2	19.2
	地域経済の活性化	9.8	31.3	10.7	28.9	19.3	24.2	8.3	19.0	21.2
	道路環境の整備や公共交通の充実	21.3	9.4	3.6	13.3	8.8	18.2	33.3	8.6	19.2
	安全安心の確保（消防、防犯、交通安全）	9.8	12.5	0.0	4.4	8.8	15.2	0.0	12.1	7.7
	学校教育や生涯学習の充実	8.2	3.1	7.1	6.7	10.5	6.1	8.3	9.5	3.8
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	13.1	6.3	21.4	6.7	8.8	18.2	0.0	10.3	5.8
	観光の振興(魅力ある観光地づくり、誘客促進)	8.2	3.1	3.6	6.7	8.8	3.0	0.0	6.9	7.7
	自然環境の保全	9.8	12.5	14.3	15.6	5.3	3.0	0.0	6.9	11.5
	農林畜産業の振興	18.0	12.5	14.3	6.7	8.8	6.1	8.3	12.9	5.8
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	3.3	3.1	3.6	0.0	5.3	3.0	0.0	2.6	0.0
	伝統文化の保存・活用	4.9	0.0	7.1	8.9	1.8	6.1	0.0	6.0	0.0
	自然エネルギーへの転換	3.3	6.3	3.6	2.2	3.5	3.0	0.0	5.2	7.7
	郷土への誇り・愛着の醸成	3.3	0.0	10.7	0.0	3.5	0.0	8.3	1.7	0.0
	海外戦略(外国人観光客の誘致、地元産品の販路拡大、国際交流)	1.6	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0
文化芸術の振興	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	
その他	1.6	6.3	0.0	2.2	0.0	0.0	16.7	0.0	1.9	
無回答	0.0	0.0	3.6	0.0	1.8	0.0	0.0	1.7	1.9	

【居住地域別】

- ・全20地域（地区）中14地区で「医療・福祉サービスの確保」の割合が最も高い。
- ・全20地域（地区）中4地区で「人口減少への対応」の割合が最も高い。

属性別集計（家族構成別）

		家族構成						
		単身世帯	夫婦のみ	二世帯世帯	(うち中学生以下の子と同居)	三世帯世帯	(うち中学生以下の子と同居)	その他
標本数（件）		156	352	552	(177)	283	(182)	16
今後の重要課題（％）	医療・福祉サービスの確保	46.2	46.0	48.6	(45.2)	42.0	(41.4)	50.0
	急激な高齢者の増加への対応	42.3	41.8	32.4	(21.5)	29.3	(28.6)	37.5
	少子化対策(妊娠、出産への支援、子育てしやすい環境づくり)	20.5	23.6	31.5	(49.7)	32.9	(35.2)	31.3
	人口減少への対応	20.5	28.7	24.5	(22.0)	24.0	(22.0)	12.5
	地震や豪雨災害などへの備え	29.5	24.4	24.6	(26.0)	24.4	(24.7)	25.0
	雇用の場の創出	19.2	21.3	24.6	(23.7)	21.2	(19.8)	25.0
	地域経済の活性化	16.0	22.2	21.4	(14.1)	19.8	(22.0)	12.5
	道路環境の整備や公共交通の充実	11.5	10.2	11.6	(10.7)	10.6	(10.4)	12.5
	安全安心の確保（消防、防犯、交通安全）	12.2	9.4	11.6	(11.3)	9.2	(8.2)	6.3
	学校教育や生涯学習の充実	8.3	5.7	11.6	(24.9)	15.9	(19.2)	6.3
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	9.6	9.9	8.5	(7.3)	11.7	(12.6)	0.0
	観光の振興(魅力ある観光地づくり、誘客促進)	12.2	8.2	8.5	(5.6)	9.2	(8.8)	12.5
	自然環境の保全	10.3	10.5	7.8	(6.8)	5.7	(7.1)	0.0
	農林畜産業の振興	5.8	4.5	8.3	(8.5)	8.1	(8.2)	6.3
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	9.0	6.3	4.9	(2.3)	5.7	(4.4)	0.0
	伝統文化の保存・活用	6.4	4.8	4.5	(4.0)	5.3	(4.9)	0.0
	自然エネルギーへの転換	10.3	5.1	3.6	(5.6)	4.2	(4.9)	0.0
	郷土への誇り・愛着の醸成	1.3	3.1	1.6	(1.1)	3.9	(5.5)	0.0
	海外戦略(外国人観光客の誘致、地元産品の販路拡大、国際交流)	1.3	0.9	1.6	(2.8)	2.8	(2.2)	0.0
	文化芸術の振興	3.2	0.6	1.4	(1.1)	1.1	(1.1)	0.0
その他	3.8	3.4	1.4	(2.8)	1.1	(0.5)	0.0	
無回答	1.3	0.6	0.4	(0.6)	0.7	(0.0)	6.3	

【家族構成別】

- ・二世帯世帯（うち中学生以下の子と同居）は「少子化対策」の割合が最も高い。その他の家族構成は「医療・福祉サービスの確保」の割合が最も高い。

属性別集計（職業別）

		職業							
		農林畜産業	自営業	会社員・公務員・団体職員	パート・アルバイト・内職	家事従事者	学生	無職	その他
標本数（件）		60	140	462	229	93	15	346	28
今後の重要課題（％）	医療・福祉サービスの確保	33.3	34.3	43.5	53.7	47.3	40.0	52.0	53.6
	急激な高齢者の増加への対応	25.0	20.7	31.6	33.6	38.7	26.7	47.4	39.3
	少子化対策（妊娠、出産への支援、子育てしやすい環境づくり）	26.7	33.6	35.3	27.5	22.6	40.0	18.2	28.6
	人口減少への対応	26.7	27.9	25.8	20.1	24.7	20.0	27.5	17.9
	地震や豪雨災害などへの備え	25.0	19.3	24.5	23.1	32.3	40.0	28.0	17.9
	雇用の場の創出	18.3	20.7	26.6	27.1	18.3	20.0	15.6	28.6
	地域経済の活性化	16.7	36.4	21.9	17.9	16.1	6.7	15.6	39.3
	道路環境の整備や公共交通の充実	5.0	12.1	11.0	10.5	14.0	6.7	11.6	7.1
	安全安心の確保（消防、防犯、交通安全）	3.3	5.7	8.7	9.6	14.0	13.3	15.6	7.1
	学校教育や生涯学習の充実	8.3	9.3	12.8	14.8	8.6	6.7	6.6	7.1
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	15.0	11.4	8.4	8.3	9.7	0.0	9.8	10.7
	観光の振興（魅力ある観光地づくり、誘客促進）	1.7	15.0	11.0	10.5	6.5	6.7	4.9	7.1
	自然環境の保全	10.0	12.1	7.1	5.7	5.4	13.3	11.6	3.6
	農林畜産業の振興	48.3	9.3	5.4	3.1	3.2	0.0	5.8	14.3
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	1.7	8.6	5.6	5.2	3.2	6.7	6.1	7.1
	伝統文化の保存・活用	1.7	5.7	5.4	3.9	11.8	20.0	3.8	3.6
	自然エネルギーへの転換	10.0	5.0	5.2	2.2	6.5	0.0	5.5	3.6
	郷土への誇り・愛着の醸成	0.0	2.9	2.2	2.2	1.1	6.7	3.5	0.0
	海外戦略（外国人観光客の誘致、地元産品の販路拡大、国際交流）	0.0	5.0	0.9	0.9	1.1	6.7	1.7	0.0
	文化芸術の振興	1.7	2.1	0.9	1.3	0.0	0.0	1.7	3.6
その他	3.3	1.4	1.5	2.6	3.2	0.0	2.3	3.6	
無回答	0.0	0.7	0.4	0.4	0.0	0.0	0.6	0.0	

【職業別】

- ・会社員・公務員・団体職員、パート・アルバイト・内職、家事従事者、学生及び無職は「医療・福祉サービス」の割合が最も高い。（学生は「少子化対策」及び「地震や豪雨災害などへの備え」と同率）。
- ・農林畜産業は「農林畜産業の振興」が、自営業（商工業、サービス業、建設業）は「地域経済の活性化」の割合が最も高い。

属性別集計（定住年数別）

		定住年数				
		1年未満	1年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～20年未満	20年以上
標本数（件）		22	47	46	105	1,165
今後の重要課題（％）	医療・福祉サービスの確保	22.7	53.2	50.0	41.0	46.7
	急激な高齢者の増加への対応	13.6	12.8	28.3	28.6	37.3
	少子化対策（妊娠、出産への支援、子育てしやすい環境づくり）	40.9	25.5	50.0	32.4	27.1
	人口減少への対応	18.2	12.8	15.2	21.9	26.5
	地震や豪雨災害などへの備え	40.9	21.3	23.9	27.6	24.6
	雇用の場の創出	18.2	21.3	32.6	25.7	21.8
	地域経済の活性化	4.5	23.4	10.9	21.9	21.1
	道路環境の整備や公共交通の充実	13.6	19.1	13.0	9.5	10.7
	安全安心の確保（消防、防犯、交通安全）	13.6	0.0	10.9	12.4	10.7
	学校教育や生涯学習の充実	13.6	19.1	10.9	21.9	9.0
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	13.6	14.9	10.9	7.6	9.2
	観光の振興（魅力ある観光地づくり、誘客促進）	27.3	12.8	15.2	7.6	8.4
	自然環境の保全	4.5	14.9	8.7	8.6	8.3
	農林畜産業の振興	9.1	2.1	4.3	1.9	8.1
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	0.0	4.3	2.2	5.7	6.0
	伝統文化の保存・活用	31.8	2.1	4.3	2.9	4.9
	自然エネルギーへの転換	4.5	10.6	8.7	5.7	4.4
	郷土への誇り・愛着の醸成	0.0	0.0	0.0	2.9	2.6
	海外戦略（外国人観光客の誘致、地元産品の販路拡大、国際交流）	4.5	2.1	0.0	2.9	1.4
	文化芸術の振興	0.0	2.1	2.2	1.0	1.3
その他	9.1	2.1	0.0	1.9	2.1	
無回答	0.0	0.0	0.0	1.9	0.5	

【定住年数別】

- ・ 1年未満は「少子化対策」と「地震や豪雨災害などへの備え」の割合が最も高い。
- ・ 1年以上は「医療・福祉サービスの確保」の割合が最も高い。（5年未満～10年未満は「地震や豪雨災害などへの備え」と同率）

3 高山市の取り組みに対する満足度

- ・満足度の高い分野は、高い順に「上下水道」分野（93.0%）、「生活環境」分野（86.5%）、「消防」分野（84.7%）となっている。
- ・上位3分野について、初回調査（H26）からの順位の変化については下記のとおり
 - 「上下水道」：初回調査の2位以降は1位で順位が高い状態で推移
 - 「生活環境」：初回調査の1位から順位が低下
 - 「消防」：初回調査の3位から、順位が低下（最低7位）したものの、その後上昇傾向
- ・満足度の低い分野は、低い順に「商業」分野（30.0%）、「産業人材」分野（30.5%）、「土地利用」分野（30.5%）となっている。
- ・下位3分野について、初回調査（H26）からの順位の変化については下記のとおり
 - 「商業」：初回調査の33位から、最高で28位の時もあったが、近年低下傾向
 - 「産業人材」：H31の調査開始以降、最下位だったが、今回の調査で上昇
 - 「土地利用」：初回調査以降、下位から2位又は3位で推移
- ・前回（R2）の調査結果に比べ、特に「情報」分野、「防災」分野の順位が大きく上昇し、「海外戦略」分野、「観光」分野の順位が下降している。

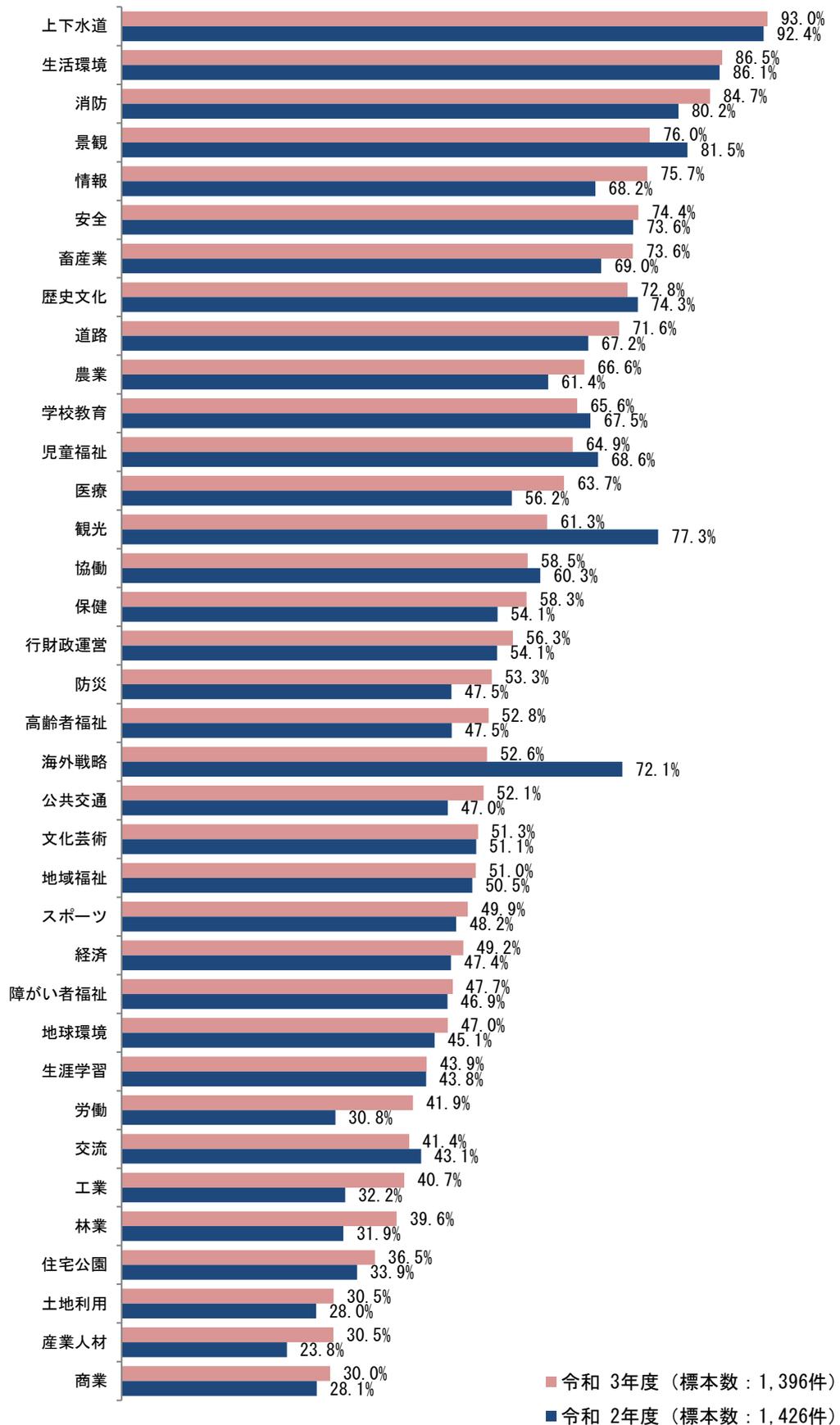
問3 あなたは、現在の高山市の行政サービスやまちづくりに関して、どのように感じていますか。
それぞれの分野の設問ごとにあなたのお気持ちに最も近いものを選んでください。
(それぞれの設問ごとに1つに○印)

(満足度の算出方法)

$$\text{満足度} = \frac{\text{「感じている」、「やや感じている」の合計}}{\text{「感じている」、「やや感じている」、「あまり感じない」、「感じていない」の合計}}$$

順位	満足度 (%)	分野	設問	回答数 (件)					前回調査 (R2)	
			満足度指標	感じている	やや感じている	あまり感じない	感じていない	無回答	順位	満足度 (%)
1	93.0%	上下水道	あなたは、「安全でおいしい水が提供され、污水处理が適切に行われている」と感じていますか。	716	570	79	18	13	1	92.4%
2	86.5%	生活環境	あなたは、「ごみ処理や分別収集が適切に行われ、良好な生活環境が保たれている」と感じていますか。	500	694	145	42	15	2	86.1%
3	84.7%	消防	あなたは、「消防・救急救助体制が整っている」と感じていますか。	468	694	170	40	24	4	80.2%
4	76.0%	景観	あなたは、「町並み景観や農山村景観など地域の美しい景観が保たれている」と感じていますか。	392	652	259	70	23	3	81.5%
5	75.7%	情報	あなたは、「テレビ、ラジオ、インターネットなどを快適に視聴・利用できる環境が整っている」と感じていますか。	423	616	260	74	23	11	68.2%
6	74.4%	安全	あなたは、「犯罪や交通事故などが少なく、安全に暮らせる環境が整っている」と感じていますか。	277	748	308	45	18	7	73.6%
7	73.6%	畜産業	あなたは、「地元の畜産物が広く消費され、畜産業が活性化している」と感じていますか。	326	685	298	65	22	9	69.0%
8	72.8%	歴史文化	あなたは、「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じていますか。	350	652	308	66	20	6	74.3%
9	71.6%	道路	あなたは、「安全で快適に移動できる道路環境が整っている」と感じていますか。	301	686	302	89	18	13	67.2%
10	66.6%	農業	あなたは、「地元の農産物が広く消費され、農業が活性化している」と感じていますか。	243	672	376	83	22	14	61.4%
11	65.6%	学校教育	あなたは、「学校・家庭・地域が連携した児童生徒の教育環境が整っている」と感じていますか。	223	672	396	74	31	12	67.5%
12	64.9%	児童福祉	あなたは、「子どもが健やかに育つ環境が整っている」と感じますか。	215	674	396	84	27	10	68.6%
13	63.7%	医療	あなたは、「安心して医療を受けられる環境が整っている」と感じていますか。	291	590	372	130	13	16	56.2%
14	61.3%	観光	あなたは、「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じていますか。	277	568	390	144	17	5	77.3%
15	58.5%	協働	あなたは、「市民、地域、行政が協働してまちづくりに取り組んでいる」と感じていますか。	194	607	460	109	26	15	60.3%
16	58.3%	保健	あなたは、「主体的な健康づくりや病気の予防に取り組む環境が整っている」と感じていますか。	181	622	472	102	19	17	54.1%
17	56.3%	行財政運営	あなたは、「効率的で良質な行政サービスが提供されている」と感じていますか。	185	588	481	118	24	18	54.1%
18	53.3%	防災	あなたは、「災害から命・財産を守るための準備や体制が整っている」と感じていますか。	148	583	543	98	24	23	47.5%
19	52.8%	高齢者福祉	あなたは、「高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせる環境が整っている」と感じていますか。	172	559	520	133	12	22	47.5%
20	52.6%	海外戦略	あなたは、「外国人で市内がにぎわい、海外との人や物の交流が進んでいる」と感じていますか。	224	499	451	200	22	8	72.1%
21	52.1%	公共交通	あなたは、「日常的に利用できる公共交通体系が整っている」と感じていますか。	235	482	441	218	20	25	47.0%
22	51.3%	文化芸術	あなたは、「文化芸術を鑑賞したり、活動が支援されて発表したりできる環境が整っている」と感じていますか。	163	540	552	115	26	19	51.1%
23	51.0%	地域福祉	あなたは、「地域で支え合い、安心して暮らせる環境が整っている」と感じていますか。	147	549	561	108	31	20	50.5%
24	49.9%	スポーツ	あなたは、「スポーツをしたり、楽しんだりできる環境が整っている」と感じていますか。	154	532	555	135	20	21	48.2%
25	49.2%	経済	あなたは、「市内で生産されたものが市内で販売、消費されるなど、地域内で経済が循環している」と感じていますか。	175	501	588	110	22	24	47.4%
26	47.7%	障がい者福祉	あなたは、「障がい者が必要な支援を受け、自立して暮らせる環境が整っている」と感じていますか。	152	500	584	132	28	26	46.9%
27	47.0%	地球環境	あなたは、「自然環境の保全や自然エネルギーの活用をはじめ、地球環境を守る取り組みが進んでいる」と感じていますか。	147	495	601	124	29	27	45.1%
28	43.9%	生涯学習	あなたは、「生涯学習に取り組む機会や学習成果を活かすことができる環境が整っている」と感じていますか。	119	481	645	121	30	28	43.8%
29	41.9%	労働	あなたは、「若者、女性をはじめ、働く意欲のある人の就労の場が確保されている」と感じていますか。	129	444	630	163	30	33	30.8%
30	41.4%	交流	あなたは、「国内外の都市と様々な分野において交流が進んでいる」と感じていますか。	126	440	647	154	29	29	43.1%
31	40.7%	工業	あなたは、「個性・魅力あるものづくりが行われ、工業が活性化している」と感じていますか。	113	444	639	173	27	31	32.2%
32	39.6%	林業	あなたは、「地元の木材が広く利用され、林業・木材産業が活性化している」と感じていますか。	154	389	602	226	25	32	31.9%
33	36.5%	住宅公園	あなたは、「身近に憩える公園があり、快適な住宅環境が整っている」と感じていますか。	125	376	574	299	22	30	33.9%
34	30.5%	土地利用	あなたは、「保全と開発とのバランスのとれた秩序ある土地利用が行われている」と感じていますか。	95	320	732	212	37	35	28.0%
35	30.5%	産業人材	あなたは、「地域産業が受け継がれるための人材の確保・後継者育成が進んでいる」と感じていますか。	81	334	764	182	35	36	23.8%
36	30.0%	商業	あなたは、「個性・魅力ある商店経営が行われ、商業が活性化している」と感じていますか。	90	322	694	267	23	34	28.1%

(単位：%)



属性別集計（年齢別）

		年齢					
		10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数（件）		92	131	191	221	272	468
取り組みに対する満足度（%）	上下水道	93.5	92.4	91.1	93.2	91.9	94.6
	生活環境	90.1	83.2	82.2	85.1	85.7	89.6
	消防	78.0	73.3	82.1	87.8	85.6	88.4
	景観	86.8	80.9	84.0	78.7	72.4	70.7
	情報	78.3	72.5	78.0	74.7	77.2	74.0
	安全	76.9	78.6	75.8	76.5	71.0	72.6
	畜産業	85.7	80.9	77.8	75.9	66.4	70.8
	歴史文化	78.0	73.3	69.5	73.3	65.8	76.8
	道路	68.1	64.1	74.9	71.5	66.5	76.1
	農業	82.4	71.0	70.5	67.0	58.3	65.3
	学校教育	70.3	61.1	69.5	62.4	59.6	68.5
	児童福祉	73.6	64.9	68.6	65.5	56.8	65.9
	医療	65.9	51.9	57.1	61.1	55.9	74.8
	観光	73.6	71.0	64.9	62.0	51.9	59.7
	協働	62.6	54.2	60.5	55.2	53.5	62.7
	保健	56.0	48.9	51.8	50.7	53.1	71.2
	行財政運営	60.4	51.9	55.5	53.4	47.4	63.7
	防災	61.5	48.9	53.7	53.4	47.4	56.6
	高齢者福祉	67.0	55.0	56.0	50.2	40.8	56.6
	海外戦略	58.2	61.8	61.6	51.1	47.4	49.2
	公共交通	58.2	54.2	49.7	44.3	48.3	57.9
	文化芸術	61.5	49.6	55.6	52.5	40.2	54.5
	地域福祉	70.0	50.4	63.4	48.2	40.4	50.9
	スポーツ	61.5	45.0	51.1	47.5	39.9	55.7
	経済	76.1	59.5	44.5	50.7	43.0	46.8
	障がい者福祉	58.7	45.8	51.8	48.0	36.8	50.9
	地球環境	63.7	48.9	53.7	48.4	33.7	48.1
	生涯学習	51.6	40.5	44.7	45.7	35.4	46.8
	労働	63.0	51.1	43.7	39.4	35.1	40.3
	交流	56.0	38.2	43.2	44.3	35.2	41.2
	工業	65.9	49.6	42.1	44.3	31.1	37.1
林業	70.3	65.6	51.6	40.9	30.6	25.7	
住宅公園	57.1	45.8	41.9	37.1	25.5	32.9	
土地利用	57.1	44.3	37.9	33.5	20.0	23.7	
産業人材	48.4	29.8	26.3	27.1	24.1	35.0	
商業	59.3	41.2	34.6	30.3	19.0	25.2	

【年齢別】

- ・全ての年代で「上下水道」の割合が最も高い。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域（高山地域）											
		高山地域	東地区	西地区	南地区	北地区	山王地区	江名子地区	新宮地区	三枝地区	大八地区	岩滝地区	花里地区
標本数(件)		901	69	78	105	151	132	57	96	38	87	10	78
取り組みに対する満足度(%)	上下水道	92.9	94.2	92.3	91.4	94.0	93.9	94.7	93.8	91.9	86.2	100.0	94.9
	生活環境	85.8	87.0	82.1	83.8	92.6	86.4	92.9	85.4	89.2	77.0	80.0	81.8
	消防	85.4	88.4	91.0	92.4	87.9	81.4	89.3	82.1	83.8	79.3	100.0	76.3
	景観	77.8	78.3	83.3	70.5	83.2	80.9	75.0	78.7	81.1	69.0	70.0	76.3
	情報	76.2	68.1	78.9	84.8	75.8	77.1	74.5	76.0	78.4	65.5	100.0	77.9
	安全	73.3	65.2	74.4	81.9	76.5	77.1	76.8	70.5	78.4	60.9	70.0	68.4
	畜産業	76.1	72.5	82.1	77.1	78.1	77.9	72.7	74.7	81.6	71.3	70.0	72.7
	歴史文化	76.3	81.2	78.2	79.8	74.0	80.2	73.2	73.7	73.7	70.1	70.0	77.6
	道路	70.9	73.9	69.2	75.2	69.1	73.8	67.9	64.6	75.7	69.0	100.0	68.8
	農業	68.8	68.1	69.2	65.7	71.6	71.8	73.2	67.4	73.7	62.1	60.0	67.5
	学校教育	65.0	58.8	67.5	64.4	68.2	71.0	67.3	66.0	64.9	55.2	90.0	57.9
	児童福祉	65.3	62.3	70.5	59.8	68.2	67.2	71.4	64.2	83.8	55.8	80.0	57.9
	医療	63.5	60.9	60.3	56.7	66.2	69.5	66.1	64.6	60.5	63.2	80.0	59.7
	観光	64.0	59.4	65.4	70.2	62.9	73.1	69.6	56.3	57.9	64.4	50.0	54.5
	協働	59.5	50.7	69.2	51.4	61.7	62.0	58.9	63.2	75.0	52.9	80.0	53.2
	保健	57.5	63.2	66.2	58.7	53.7	65.6	44.6	50.0	63.2	50.6	70.0	57.9
	行財政運営	56.3	56.5	64.1	58.7	56.8	64.1	46.4	51.0	62.2	46.0	70.0	51.9
	防災	53.6	46.4	62.3	55.2	54.1	62.3	53.6	52.1	54.1	39.1	50.0	52.0
	高齢者福祉	54.1	49.3	64.1	51.9	51.0	56.8	46.4	55.2	63.2	57.5	60.0	48.1
	海外戦略	55.1	52.2	57.7	63.1	52.3	66.9	60.7	49.0	44.7	49.4	30.0	48.7
	公共交通	53.2	52.2	63.6	49.5	56.8	64.6	42.9	42.7	67.6	41.4	70.0	47.4
	文化芸術	51.1	40.6	53.2	51.5	49.0	59.2	50.0	46.3	62.2	46.0	90.0	50.7
	地域福祉	49.2	49.3	50.6	52.9	45.6	54.6	50.0	50.0	50.0	44.2	20.0	48.1
	スポーツ	49.3	41.2	55.8	47.1	50.7	52.7	53.6	46.8	55.3	41.4	80.0	46.8
	経済	50.1	50.7	55.1	46.2	47.3	57.0	49.1	46.3	55.3	44.8	20.0	55.8
	障がい者福祉	48.0	42.0	51.3	46.1	40.8	57.3	36.4	51.6	57.9	47.7	60.0	48.7
	地球環境	48.5	40.6	57.1	45.2	51.4	60.8	44.6	42.1	62.2	29.9	40.0	51.3
	生涯学習	43.6	46.4	54.5	41.9	42.6	51.1	39.3	37.2	43.2	35.6	60.0	40.0
	労働	41.7	35.3	44.9	42.9	44.8	50.4	31.6	41.1	48.6	32.2	40.0	38.2
	交流	43.9	36.2	50.6	49.0	43.5	51.1	34.5	46.3	43.2	37.9	30.0	38.2
工業	41.4	42.0	50.0	35.9	40.9	52.3	44.6	40.0	40.5	31.0	40.0	32.9	
林業	43.6	50.7	57.7	35.2	39.5	48.1	41.8	46.3	50.0	34.5	30.0	41.6	
住宅公園	37.3	39.1	43.6	32.4	39.6	44.3	30.4	42.1	40.5	27.6	20.0	30.8	
土地利用	30.4	33.3	33.8	17.1	32.4	38.5	25.0	31.2	40.5	27.6	20.0	28.0	
産業人材	31.3	27.5	36.4	30.5	35.2	37.7	21.4	28.4	27.0	25.3	30.0	32.9	
商業	30.2	29.0	40.3	26.9	26.8	42.3	32.1	27.1	26.3	25.3	40.0	19.7	

属性別集計（居住地域別）

		居住地域（支所地域）								
		丹生川地域	清見地域	荘川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	奥飛騨温泉郷地域 上宝・
標本数(件)		61	32	28	45	57	33	12	116	52
取り組みに対する満足度(%)	上下水道	93.3	93.8	92.9	100.0	94.6	87.9	100.0	92.2	94.2
	生活環境	85.0	75.0	85.2	97.8	94.6	75.8	100.0	89.6	84.6
	消防	78.3	90.6	85.7	97.8	83.9	75.0	75.0	88.6	73.1
	景観	70.5	65.6	65.4	73.3	71.4	50.0	75.0	82.6	65.4
	情報	68.3	77.4	77.8	68.9	80.4	50.0	66.7	86.1	64.7
	安全	68.9	74.2	71.4	88.9	76.8	75.0	75.0	75.7	78.8
	畜産業	66.7	77.4	64.3	75.6	74.5	61.3	75.0	63.4	56.9
	歴史文化	64.4	71.0	64.3	82.2	66.1	46.9	83.3	65.8	57.7
	道路	67.2	81.3	75.0	75.6	78.6	69.7	66.7	79.8	48.1
	農業	65.0	45.2	60.7	77.8	65.5	46.9	72.7	64.6	48.1
	学校教育	67.2	68.8	64.3	60.0	69.6	50.0	75.0	66.7	63.5
	児童福祉	63.3	62.5	67.9	62.2	78.2	46.9	66.7	65.2	55.8
	医療	66.7	65.6	75.0	75.6	67.9	68.8	91.7	65.2	34.6
	観光	56.7	56.3	50.0	60.0	60.7	50.0	75.0	50.4	42.3
	協働	54.2	74.2	51.9	55.6	66.1	31.3	66.7	61.4	44.2
	保健	68.9	68.8	78.6	55.6	58.9	41.9	66.7	60.9	42.3
	行財政運営	55.9	53.3	70.4	53.3	62.5	51.5	75.0	51.3	50.0
	防災	42.6	46.9	64.3	60.0	62.5	31.3	66.7	54.9	50.0
	高齢者福祉	52.5	43.8	64.3	46.7	58.9	36.4	66.7	47.8	36.5
	海外戦略	52.5	50.0	46.4	43.2	39.3	41.9	66.7	46.0	40.4
	公共交通	56.7	35.5	55.6	44.4	50.0	33.3	66.7	63.5	26.9
	文化芸術	55.0	50.0	48.1	44.4	50.0	30.3	58.3	58.8	42.3
	地域福祉	51.7	62.5	64.3	50.0	57.4	45.5	66.7	55.8	38.5
	スポーツ	51.7	54.8	60.7	48.9	57.1	39.4	50.0	54.8	36.5
	経済	39.0	50.0	55.6	57.8	46.4	28.1	50.0	49.6	30.8
	障がい者福祉	52.5	43.8	53.6	33.3	47.3	37.5	66.7	52.7	25.5
	地球環境	36.1	38.7	40.7	53.3	48.2	31.3	75.0	38.1	50.0
	生涯学習	45.0	54.8	46.2	42.2	53.6	21.9	66.7	46.4	28.8
	労働	56.9	41.4	42.3	33.3	44.6	24.2	41.7	43.8	34.6
	交流	35.6	45.2	37.0	26.7	39.3	21.9	58.3	35.4	28.8
工業	44.1	33.3	46.4	40.0	40.0	25.0	58.3	38.4	27.5	
林業	28.8	16.1	35.7	46.7	23.6	31.3	25.0	31.3	21.2	
住宅公園	33.3	35.5	26.9	26.7	33.9	15.2	16.7	45.1	21.2	
土地利用	36.2	16.7	29.6	33.3	35.7	15.6	25.0	34.2	19.2	
産業人材	33.9	17.2	33.3	28.9	27.3	25.8	41.7	31.3	11.5	
商業	33.9	23.3	32.1	20.0	26.8	12.9	50.0	30.7	23.1	

【居住地域別】

- ・南地区で「消防」の割合が最も高く、その他の高山地域及び支所地域の19地域（地区）で「上下水道」の割合が最も高い。

属性別集計（家族構成別）

		家族構成						
		単身世帯	夫婦のみ	二世帯世帯	(うち中学生以下の子と同居)	三世帯世帯	(うち中学生以下の子と同居)	その他
標本数(件)		156	352	552	(177)	283	(182)	16
取り組みに対する満足度(%)	上下水道	85.9	93.4	93.8	(92.0)	94.3	(94.0)	100.0
	生活環境	86.5	88.9	84.5	(78.4)	86.5	(88.4)	93.3
	消防	83.7	88.7	82.2	(76.3)	84.7	(83.0)	80.0
	景観	70.4	76.1	76.6	(81.4)	77.9	(76.2)	100.0
	情報	67.5	75.0	76.8	(79.5)	76.7	(78.3)	86.7
	安全	65.8	75.7	75.1	(75.7)	75.5	(75.3)	73.3
	畜産業	70.6	70.1	75.2	(80.1)	75.4	(76.4)	76.9
	歴史文化	73.2	73.6	71.7	(67.6)	73.7	(72.4)	66.7
	道路	62.6	72.0	70.5	(71.0)	76.2	(77.5)	78.6
	農業	58.6	65.5	67.6	(73.9)	69.8	(72.9)	61.5
	学校教育	61.6	64.3	65.6	(70.5)	67.9	(69.6)	78.6
	児童福祉	63.8	63.9	64.6	(64.8)	66.3	(67.6)	84.6
	医療	68.2	66.7	59.1	(59.9)	65.8	(65.2)	66.7
	観光	59.5	62.1	60.6	(64.4)	63.1	(65.7)	42.9
	協働	54.9	58.3	58.1	(54.5)	60.1	(58.0)	78.6
	保健	58.8	61.8	55.6	(52.8)	57.8	(57.5)	66.7
	行財政運営	54.8	60.8	53.2	(55.7)	58.2	(59.7)	64.3
	防災	52.6	53.6	53.2	(53.4)	52.7	(54.7)	73.3
	高齢者福祉	52.6	50.9	51.7	(54.0)	56.4	(57.5)	60.0
	海外戦略	56.2	50.7	54.4	(58.8)	50.2	(53.6)	64.3
	公共交通	50.6	51.4	51.6	(52.3)	54.1	(56.4)	66.7
	文化芸術	51.3	51.2	50.1	(54.5)	53.7	(56.7)	53.3
	地域福祉	46.4	45.5	53.4	(55.1)	56.4	(57.8)	66.7
	スポーツ	51.0	50.4	48.4	(49.4)	52.5	(50.3)	40.0
	経済	46.8	47.5	50.6	(51.4)	48.8	(50.3)	57.1
	障がい者福祉	45.0	43.7	49.5	(54.0)	49.5	(51.7)	53.3
	地球環境	52.0	45.1	47.0	(55.7)	46.2	(46.1)	57.1
	生涯学習	40.5	42.1	43.6	(46.0)	45.9	(45.9)	57.1
	労働	39.3	39.9	43.8	(47.2)	42.1	(42.5)	42.9
	交流	41.1	40.9	42.4	(42.6)	39.3	(40.0)	50.0
工業	39.9	35.2	42.9	(51.1)	41.5	(44.0)	69.2	
林業	39.5	33.6	43.6	(54.3)	39.6	(40.3)	53.8	
住宅公園	45.8	27.4	37.5	(38.6)	39.9	(38.1)	42.9	
土地利用	27.2	26.7	34.3	(40.3)	31.9	(28.5)	14.3	
産業人材	30.0	31.9	31.1	(34.9)	27.0	(30.9)	46.2	
商業	32.9	25.4	32.4	(40.1)	28.3	(31.8)	42.9	

【家族構成別】

- ・単身世帯で「生活環境」の割合が最も高い。その他の全ての家族構成で「上下水道」の割合が最も高い。

属性別集計（職業別）

		職業							
		農林畜産業	自営業	会社員・公務員 ・団体職員	パート・内職 ・アルバイト	家事従事者	学生	無職	その他
標本数(件)		60	140	462	229	93	15	346	28
取り組みに対する満足度(%)	上下水道	91.7	92.1	93.3	93.0	97.8	93.3	92.4	89.3
	生活環境	85.0	83.5	84.2	88.6	93.4	86.7	87.8	92.9
	消防	83.1	90.6	82.1	82.5	84.8	86.7	88.2	78.6
	景観	71.2	69.8	81.7	82.1	71.4	86.7	69.0	78.6
	情報	79.7	74.6	77.1	74.7	76.7	73.3	73.5	84.6
	安全	72.4	76.3	77.0	73.8	73.6	73.3	72.3	78.6
	畜産業	73.3	72.1	75.5	77.6	72.0	86.7	68.2	78.6
	歴史文化	81.4	73.4	70.2	75.5	76.1	73.3	73.5	64.3
	道路	81.4	74.8	71.7	69.3	70.3	73.3	71.7	60.7
	農業	58.3	64.3	67.9	66.7	65.9	80.0	66.9	67.9
	学校教育	62.7	63.3	65.7	65.4	68.5	86.7	65.5	66.7
	児童福祉	62.7	65.5	65.7	62.3	67.8	80.0	67.5	46.2
	医療	64.4	63.3	56.3	59.4	73.1	80.0	74.1	64.3
	観光	68.3	59.0	63.3	58.8	61.3	80.0	60.9	46.4
	協働	66.1	56.8	51.9	64.5	65.9	53.3	60.7	66.7
	保健	63.3	59.0	49.0	58.8	69.2	66.7	67.1	51.9
	行財政運営	57.6	56.8	52.2	56.4	58.2	66.7	61.2	53.6
	防災	52.5	55.4	52.5	51.5	58.2	53.3	54.9	46.4
	高齢者福祉	56.7	54.0	51.2	48.0	60.4	73.3	55.1	46.4
	海外戦略	55.0	54.7	55.0	53.5	47.3	60.0	51.0	32.1
	公共交通	58.3	59.7	48.3	54.6	53.8	53.3	51.6	50.0
	文化芸術	58.3	52.5	48.9	50.9	50.5	86.7	51.0	57.7
	地域福祉	60.0	52.2	52.3	49.6	56.2	80.0	48.2	37.0
	スポーツ	50.0	48.2	50.2	47.8	52.2	46.7	52.8	34.6
	経済	39.0	38.8	49.1	55.7	53.8	86.7	48.5	50.0
	障がい者福祉	45.0	46.0	45.1	51.8	51.1	80.0	49.4	32.1
	地球環境	49.2	39.6	48.6	51.8	47.8	66.7	44.3	42.9
	生涯学習	58.3	40.6	39.1	45.2	53.3	60.0	44.6	51.9
	労働	42.4	36.0	44.7	42.8	39.3	66.7	40.9	30.8
	交流	51.7	40.3	41.2	39.5	38.6	66.7	42.3	44.4
工業	32.8	34.5	45.6	41.7	39.3	66.7	37.8	37.0	
林業	25.0	35.0	47.6	44.7	35.2	73.3	29.6	53.6	
住宅公園	38.3	34.5	41.6	32.5	31.9	46.7	33.1	44.4	
土地利用	28.3	27.3	35.6	32.0	27.8	53.3	25.6	29.6	
産業人材	28.8	25.7	26.9	36.4	29.2	40.0	33.9	37.0	
商業	28.3	20.9	32.7	31.0	35.2	53.3	26.6	33.3	

【職業別】

- ・その他の職業で「生活環境」の割合が最も高い。その他の全ての職業で「上下水道」の割合が最も高い。

属性別集計（定住年数別）

		定住年数				
		1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上
標本数(件)		22	47	46	105	1,165
取り組みに対する満足度(%)	上下水道	95.5	95.7	95.7	93.3	92.8
	生活環境	100.0	87.2	89.1	87.6	86.0
	消防	77.3	78.7	73.9	91.4	84.9
	景観	90.9	83.0	84.8	82.7	74.6
	情報	81.8	70.2	73.9	79.0	75.5
	安全	72.7	80.9	67.4	75.2	74.4
	畜産業	90.9	80.9	71.1	80.0	72.3
	歴史文化	86.4	74.5	67.4	78.1	72.2
	道路	72.7	66.0	53.3	75.2	72.4
	農業	81.8	83.0	64.4	68.6	65.6
	学校教育	72.7	66.0	57.8	75.2	64.7
	児童福祉	77.3	72.3	62.2	72.4	63.8
	医療	77.3	59.6	52.2	54.3	65.1
	観光	77.3	61.7	68.9	67.6	60.0
	協働	59.1	57.4	48.9	64.8	58.4
	保健	50.0	53.2	56.5	59.0	58.8
	行財政運営	63.6	66.0	62.2	63.8	54.9
	防災	59.1	51.1	60.9	56.2	52.8
	高齢者福祉	72.7	57.4	58.7	55.2	51.9
	海外戦略	63.6	48.9	57.8	60.0	51.7
	公共交通	50.0	53.2	41.3	51.4	52.8
	文化芸術	59.1	55.3	58.7	61.9	49.8
	地域福祉	59.1	57.4	56.5	61.0	49.6
	スポーツ	68.2	46.8	60.9	49.5	49.2
	経済	63.6	61.7	57.8	60.0	47.2
	障がい者福祉	54.5	53.2	45.7	52.4	47.1
	地球環境	77.3	53.2	55.6	52.4	45.4
	生涯学習	45.5	41.3	48.9	48.6	43.3
	労働	59.1	48.9	44.4	41.9	41.3
	交流	59.1	34.8	37.8	48.6	41.0
工業	77.3	51.1	48.9	43.8	39.1	
林業	81.8	63.0	55.6	49.5	36.3	
住宅公園	54.5	42.6	37.8	46.7	34.8	
土地利用	54.5	36.2	44.4	34.3	29.0	
産業人材	54.5	34.8	35.6	26.7	30.1	
商業	68.2	44.7	37.8	43.8	27.1	

【定住年数別】

- ・1年未満は「生活環境」の割合が最も高い。1年以上の定住年数は「上下水道」の割合が最も高い。

3 高山市の広報活動について

1 市に関する情報の入手方法

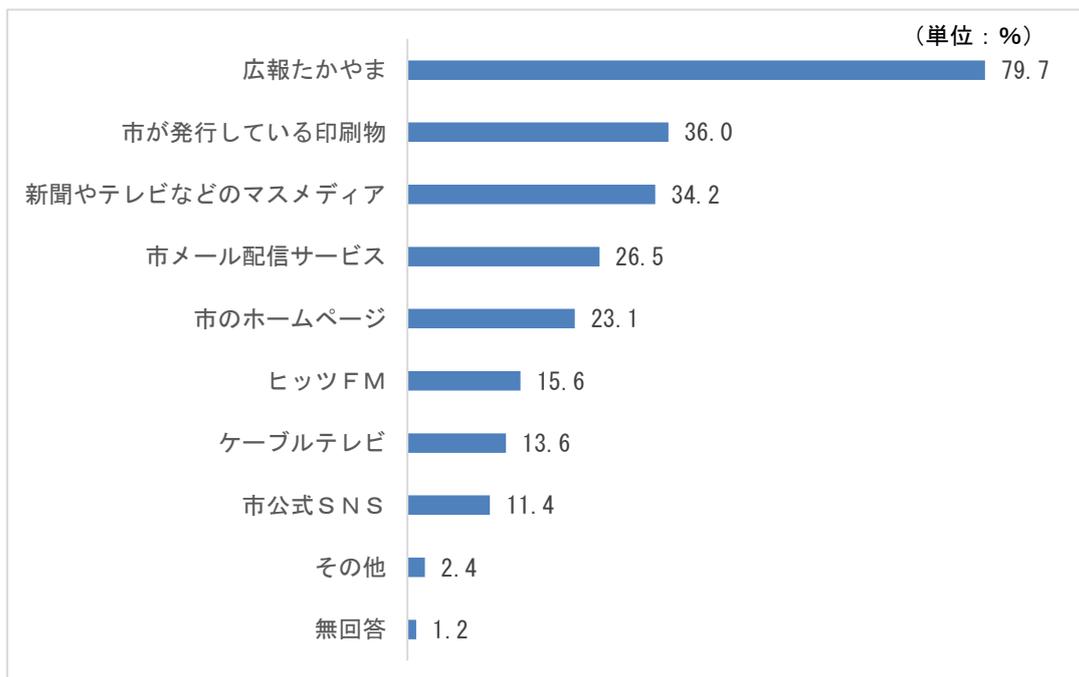
- ・ 広報たかやまから情報を入手している割合が最も多い。
- ・ その他、市が発行するチラシなどの印刷物、新聞やテレビなどのマスメディアから情報を入手している割合が高くなっている。

問4 あなたは、高山市に関する情報（事業や行事、お知らせなど）をどのような方法で入手していますか。（普段、利用している方法に○印※複数回答可）

順位		回答数 (件)	回答率 (%)
1	広報たかやま	1,112	79.7
2	市が発行している印刷物（チラシなど）	502	36.0
3	新聞やテレビなどのマスメディア	478	34.2
4	市メール配信サービス	370	26.5
5	市のホームページ	322	23.1
6	ヒッツFM（「シティガイド」など）	218	15.6
7	ケーブルテレビ（「ハイ、市役所です」など）	190	13.6
8	市公式SNS（LINE・Twitterなど）	159	11.4
9	その他	34	2.4
	無回答	17	1.2
	計	3,402	

（標本数：1,396件）

- ・ その他としては、「知人・友人の口コミ」や「ブログ」などがあつた。



属性別集計（年齢別、居住地域別）

		年齢					
		10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数（件）		92	131	191	221	272	468
市の情報の入手方法（％）	広報たかやま	54.3	58.0	72.8	80.5	87.5	88.7
	市が発行している印刷物（チラシなど）	20.7	17.6	20.9	30.8	41.9	49.8
	新聞やテレビなどのマスメディア	29.3	21.4	25.1	32.1	33.1	44.7
	市メール配信サービス	18.5	33.6	38.7	36.2	28.7	15.8
	市のホームページ	30.4	41.2	38.2	32.6	15.4	11.1
	ヒッツFM（「シティガイド」など）	13.0	8.4	18.8	14.9	20.6	14.3
	ケーブルテレビ（「ハイ、市役所です」など）	7.6	11.5	15.2	8.6	14.0	17.1
	市公式SNS（LINE・Twitterなど）	17.4	26.7	19.4	15.8	8.8	2.6
	その他	3.3	3.8	2.6	1.8	2.2	2.4
	無回答	1.1	0.0	0.5	0.5	1.1	1.7

【年齢別】

- ・年齢が上がるにつれて「広報たかやま」の割合が高くなっている。
- ・30代では、「市のホームページ」と「市公式SNS（LINE・Twitterなど）」を合わせた割合（67.9%）が、「広報たかやま」の割合（58.0%）を超えている。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域																					
		高山地域	東地区	西地区	南地区	北地区	山王地区	江名子地区	新宮地区	三枝地区	大八地区	岩滝地区	花里地区	丹生川地域	清見地域	荘川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	上宝・奥飛騨温泉郷地域	無回答
標本数（件）		901	69	78	105	151	132	57	96	38	87	10	78	61	32	28	45	57	33	12	116	52	59
市の情報の入手方法（％）	広報たかやま	77.0	66.7	79.5	86.7	78.1	76.5	75.4	70.8	63.2	85.1	90.0	74.4	80.3	90.6	89.3	86.7	94.7	84.8	66.7	88.8	86.5	64.4
	市が発行している印刷物	35.4	29.0	35.9	42.9	30.5	31.8	43.9	26.0	34.2	37.9	30.0	50.0	36.1	50.0	46.4	33.3	40.4	42.4	25.0	41.4	17.3	33.9
	新聞やテレビなどのマスメディア	33.9	24.6	29.5	39.0	39.7	37.9	26.3	32.3	28.9	28.7	40.0	35.9	31.1	37.5	28.6	37.8	43.9	33.3	25.0	37.1	34.6	28.8
	市メール配信サービス	27.0	23.2	30.8	26.7	21.9	31.1	24.6	26.0	36.8	35.6	10.0	20.5	36.1	18.8	7.1	26.7	31.6	15.2	25.0	21.6	21.2	39.0
	市のホームページ	24.5	21.7	20.5	24.8	25.8	31.1	24.6	26.0	31.6	24.1	0.0	15.4	19.7	6.3	35.7	17.8	21.1	18.2	33.3	22.4	9.6	27.1
	ヒッツFM	14.7	15.9	20.5	13.3	19.9	9.8	12.3	14.6	10.5	11.5	10.0	15.4	21.3	18.8	10.7	24.4	22.8	12.1	41.7	19.8	11.5	3.4
	ケーブルテレビ	11.5	11.6	9.0	6.7	11.3	12.1	14.0	7.3	7.9	20.7	60.0	9.0	6.6	12.5	25.0	20.0	29.8	30.3	50.0	19.8	0.0	10.2
	市公式SNS	11.5	14.5	14.1	16.2	9.3	9.1	12.3	11.5	10.5	10.3	10.0	10.3	11.5	9.4	7.1	11.1	21.1	6.1	8.3	9.5	5.8	15.3
	その他	2.9	7.2	0.0	3.8	2.0	2.3	3.5	3.1	0.0	1.1	10.0	5.1	3.3	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.9	1.9	5.1
	無回答	1.1	4.3	0.0	0.0	0.0	1.5	3.5	2.1	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	6.1	8.3	2.6	0.0	0.0

【居住地域別】

- ・全ての地域（地区）で「広報たかやま」の割合の最も多くなっている。

2 媒体別の利用状況

- ・ 広報たかやまでは、「よく見る（聞く）」の割合が最も高い。
- ・ ヒッツFMでは、「あまり聞かない」の割合が最も高い。
- ・ ケーブルテレビでは、「見たこと（聞いたこと）がない」の割合が最も高い。

問5 あなたはどの程度、広報紙や市の情報番組を見て（聞いて）いますか。（あてはまる番号それぞれ1つに○印）

(ア) 広報たかやま

	回答数 (件)	回答率 (%)
よく見る（聞く）	796	57.0
たまに見る（聞く）	412	29.5
あまり見ない（聞かない）	130	9.3
見たこと（聞いたこと）がない	39	2.8
無回答	19	1.4
計	1,396	

(標本数 : 1,396 件)

(イ) ケーブルテレビ（ハイ、市役所ですなど）

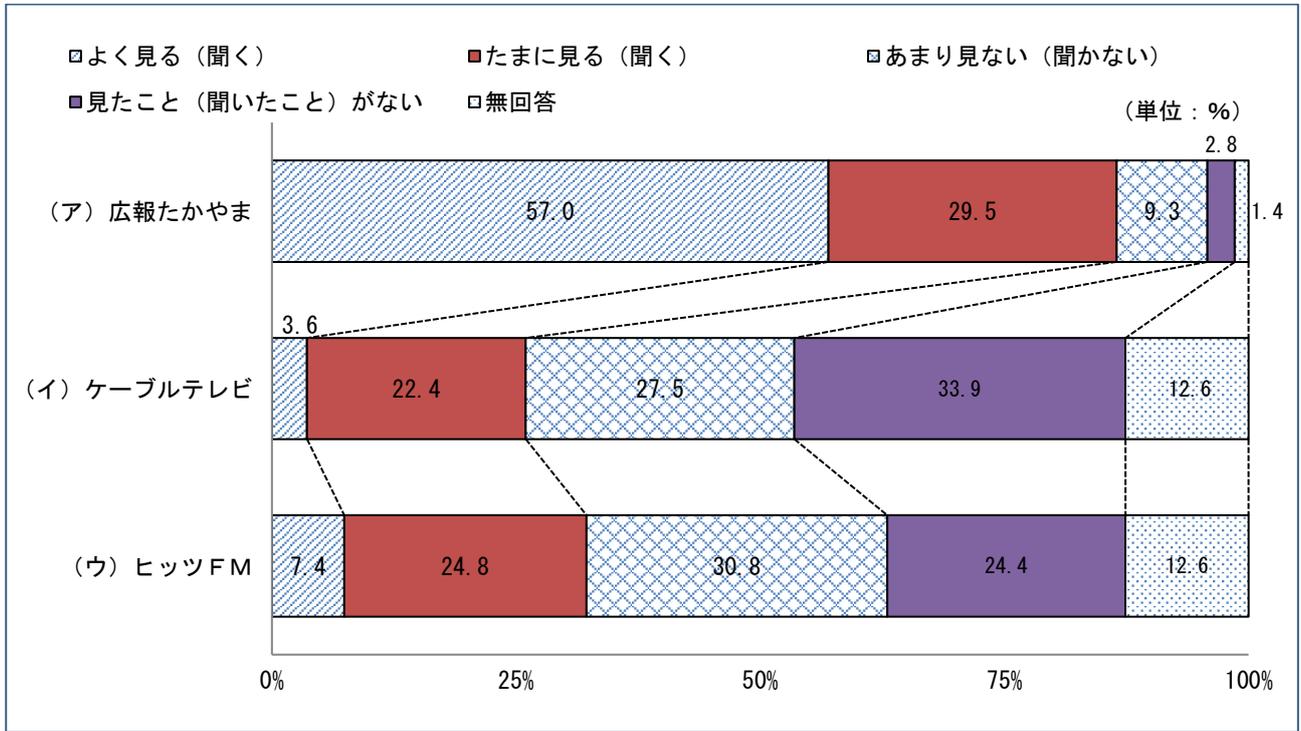
	回答数 (件)	回答率 (%)
よく見る（聞く）	50	3.6
たまに見る（聞く）	313	22.4
あまり見ない（聞かない）	384	27.5
見たこと（聞いたこと）がない	473	33.9
無回答	176	12.6
計	1,396	

(標本数 : 1,396 件)

(ウ) ヒッツFM（シティガイドなど）

	回答数 (件)	回答率 (%)
よく見る（聞く）	103	7.4
たまに見る（聞く）	346	24.8
あまり見ない（聞かない）	430	30.8
見たこと（聞いたこと）がない	341	24.4
無回答	176	12.6
計	1,396	

(標本数 : 1,396 件)



属性別集計 (年齢別)

(単位: %)

		標本数 (件)	利用頻度 (%)					
			よく見る (聞く)	たまに見る (聞く)	あまり見ない (聞かない)	見たこと (聞いたこと) がない	無回答	
年齢	広報たかやま	10代・20代	92	14.1	55.4	19.6	10.9	0.0
		30代	131	26.7	40.5	24.4	7.6	0.8
		40代	191	46.6	37.7	11.5	3.1	1.0
		50代	221	49.3	37.6	10.9	1.8	0.5
		60代	272	64.7	26.5	6.3	1.8	0.7
		70代以上	468	76.7	16.2	3.6	0.9	2.6
	ケーブルテレビ	10代・20代	92	4.3	18.5	35.9	40.2	1.1
		30代	131	0.0	26.7	34.4	37.4	1.5
		40代	191	2.1	30.9	33.0	30.4	3.7
		50代	221	2.3	17.6	33.5	41.2	5.4
		60代	272	3.3	21.7	28.7	35.3	11.0
		70代以上	468	5.8	20.9	19.4	29.9	23.9
	ヒッツFM	10代・20代	92	8.7	18.5	31.5	40.2	1.1
		30代	131	5.3	24.4	38.2	30.5	1.5
		40代	191	6.3	31.4	35.6	24.1	2.6
		50代	221	6.8	26.2	40.3	22.2	4.5
		60代	272	9.9	30.5	29.4	20.6	9.6
		70代以上	468	6.8	19.7	23.9	23.9	25.6

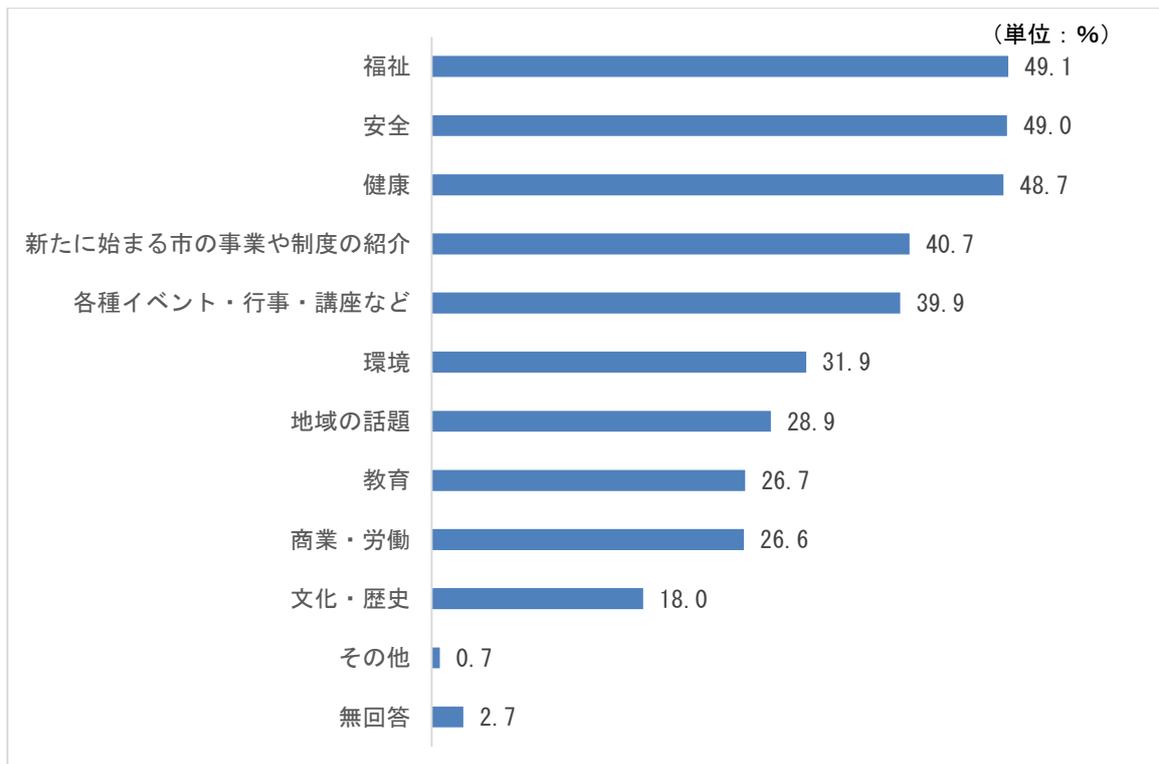
3 知りたい市の情報

- ・「福祉（介護、子育てなど）が最も高い割合となっており、次いで「安全（防災、防犯など）」、「健康（健康づくり、医療）」が高い割合になっている。
- ・「文化・歴史（文化芸術、伝統など）が最も低い割合となっており、低い順位から「商業・労働（地域経済、雇用など）」、「教育（学校教育、生涯学習、スポーツなど）」となっている。

問6 あなたが日頃、知りたい市の情報はなんですか。（あてはまるもの全てに○印）

順位		回答数 (件)	回答率 (%)
1	福祉(介護、子育てなど)	686	49.1
2	安全(防災、防犯など)	684	49.0
3	健康(健康づくり、医療)	680	48.7
4	新たに始まる市の事業や制度の紹介(各分野)	568	40.7
5	各種イベント・行事・講座など	557	39.9
6	環境(自然環境、ごみなど)	445	31.9
7	地域の話(名所・景勝地、活動の紹介など)	403	28.9
8	教育(学校教育、生涯学習、スポーツなど)	373	26.7
9	商業・労働(地域経済、雇用など)	371	26.6
10	文化・歴史(文化芸術、伝統など)	251	18.0
	その他	10	0.7
	無回答	37	2.7
	計	5,065	

(標本数:1,396件)



属性別集計（年齢別）

		年齢					
		10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数（件）		92	131	191	221	272	468
知りたい市の情報（%）	福祉（介護、子育てなど）	40.2	61.8	46.1	44.3	54.8	47.2
	安全（防災、防犯など）	48.9	49.6	47.6	51.1	49.3	49.1
	健康（健康づくり、医療）	30.4	43.5	39.3	44.3	48.9	59.0
	新たに始まる市の事業や制度の紹介（各分野）	39.1	42.0	44.0	44.8	48.2	34.2
	各種イベント・行事・講座など	44.6	55.7	51.8	42.5	38.6	30.6
	環境（自然環境、ごみなど）	26.1	28.2	26.7	34.4	36.8	32.5
	地域の話（名所・景勝地、活動の紹介など）	30.4	32.1	30.9	24.0	27.2	30.6
	教育（学校教育、生涯学習、スポーツなど）	32.6	51.9	48.2	25.8	22.4	13.7
	商業・労働（地域経済、雇用など）	37.0	35.9	31.4	33.9	32.7	13.7
	文化・歴史（文化芸術、伝統など）	20.7	19.8	17.8	13.6	18.8	18.8
	その他	1.1	0.8	0.5	0.5	0.4	1.1
無回答	4.3	2.3	1.0	2.3	1.1	3.8	

【年齢別】

- ・ 10代・20代、50代は「安全（防災、防犯など）」の割合が最も高い。
- ・ 30代、60代は「福祉（介護、子育てなど）」の割合が最も高い。
- ・ 40代は「各種イベント・行事・講座」の割合が、70代以上は「健康（健康づくり、医療）」の割合がそれぞれ最も高い。

4 広報全般への意見

問7 高山市の広報全般について、ご意見等がありましたらお書きください。

広報紙(広報たかやま)
・他の自治体のように全世帯に広報紙を届けて欲しい。新聞を購入していない世帯もある。
・広報たかやまは毎月隅から隅まで読んでいます。最近の広報はカラー写真も多く楽しい広報になっている。9月の表紙は「広報たかやま」だけで、takayama は要らないと感じ「広報たかやま」を大きくする。
・わかりやすい内容で全部がよく分からなくても、高山市のことが少しでもわかる時があるので読むのが楽しい。
・広報たかやまなど紙ベースのものは PDF などの電子媒体で配布してもらいたい。配布が大変。
・広報たかやまについて、行政が伝えたい情報が定型的に載っているだけで、市民のほしい情報が伝わりやすく編集して載っている感じがしない。
・毎回楽しみに待っている。
・広報たかやまを月2回に戻してほしい。
・広報たかやまが、新聞とらないと配付されないのはおかしい。
・我が家には高山の広報誌が届いていません。最近、引っ越しをしたためと思われれます。引っ越しをした際に、新しい住居にも広報誌が行き渡るようにしてほしい。
・広報を前みたいに1日と15日の月2回にしてほしい。
・高齢者はメールやヒットネットからの情報収集は難しい。広報たかやまはこれからも重要な情報獲得手段だと思いため、今後も広報誌の充実を期待する。
・月1回で充分である。
・広報たかやまはよく編集されている。広報たかやまを見ればとりあえずすべての情報が網羅されている、そういう広報誌であり続けてほしい。
・広報たかやまは以前より読みやすくなった。以前は文字ばかりで全く読まなかったが最近では出来るだけ読むようにしている。広報は知らせる事を目的にしているから難しいかもしれないが、プレスやさるぼぼ等の地域誌とコラボすれば楽しみが出来る。
・「広報たかやま」の「Takayama」はやめてほしい。日本に「Takayama」と書く市はない。伝統や文化を尊重して「高山」と書いてほしい。
・最近特に紙面づくりが良く、内容も充実しており良い。ただ予算、決算等行政用語等については、素人でも分かるよう丁寧な解説をお願いしたい。
・広報たかやまはよく見ている。これからも内容の濃い情報をお願いします。
・広報たかやまは見やすく内容も分かりやすいので助かっている。
・広報たかやま月1発行になってページ数が多くて読み難い。必要な時は15日号も出すといい。
・広報たかやまで市の情報を見ている。ネットが主となる時代だが、高齢者のためにも紙面での発行が続いていくことを願う。スーパーなどに置いていただくとより広がる情報になる。
・まちの情報が割と早く、分かりやすく広報されていると思う。身近な情報はとてもありがたい。(けれどコロナのせいで公共施設やお店が開いてないことが多く、残念)
・「広報たかやま」の内容が良く満足している。
・新聞をとってないので広報たかやまが見れないので不便です。何も分かりません。
・合併する以前(かみたから広報)は私たちの住む上宝の生活模様が身近に感じて良かった。
・広報が市役所で申し込みをしないと届かないことを知らなかった。周知してほしい。
・広報は今のところこれで良いのではないか。
・広報たかやまの表紙を以前のようにしてほしい。現在のデザインは好ましくない。
・前回の様な月2回発行の方が情報の正確さがあるのではと思う。
・なるべく月末までに配布してほしい。
・市民全体に情報を伝えるためなら、高齢者のことも忘れず、広報誌を大切にしてほしい。SNSは便利であるが、高齢者が取り残されるなど平等に情報が伝わらない。アナウンスも助かっている。

・広報たかやまなど何でも横文字にするのが多すぎる。良い日本語であるので日本語で表紙等も作ることが良い。高年齢のためにも良い。
・広報たかやまをさるぼぼやブレスと協力すれば経費を少なくできないか？
・発行回数を増やして、新鮮な情報がほしい。
・年齢的にもインターネットなどに弱く、活字の広報紙が大切である。
・号外は、発行される度合いが少ないと感じる。内容が大変分かりやすいので多く発行してほしい。
・月に2回の定期発行は、1回に減しても良いと思う。非常時(コロナ等)は号外で対応すれば良い。
・広報たかやまは、月1回でページ数が多くなったのでかえって見なくなった。今までどおり月2回発行のほうが良いと思う。
・何でもオンラインと済ませようとするが、インターネットをやってない人もいるので、広報なども願います。機械化が全てではない。
・広報たかやまの紙面作りは、見やすく、記事内容も良いと思う。また、今回のコロナ対応の臨時号の発行も良かった。この様に適宜に大切な事を知らせて頂きたい。

メール配信サービス
・市のメール配信サービスは結構便利で見やすいし、メールを見ることができる環境がある人ならだれでも見られると思うので、もっと配信サービスを広く周知するとよい。

SNS(LINE・Twitter など)
・LINE はワクチン接種にとっても役立った。コロナ情報などは毎日確認している。
・SNS でのお知らせは早く情報を知ることができるのでありがたい。テレビやラジオは自分は普段使わないのでもったいないと思いますが、他の多くの方にはそちらが主流なのではないかとも考える。
・公式 LINE の更新頻度が多くありがたい。
・高山市公式 youtube はよく見る。
・LINE、Twitter などの情報は若者達には良いと思うが、年配になってくると端末を操作することが大変になるので、市で年配者に向けての端末の講座などを手がけると良いと思う。
・LINE での情報提供があると良いかもしれない。
・SNS で配信していただける事がとてもありがたい。目にし易くなった。
・SNS での情報発信は早くありがたい。

ホームページ(市公式ホームページなど)
・行政のホームページは、もう少し見やすいホームページだとありがたい。どうしても、階層を次へ次へと見に行くので、ページトップに近いところで、必要な情報があると良い。
・市のホームページにおくやみ情報をのせてほしい。年を取るにつれ、情報が入りづらくなっている。いつでもパソコンで確認できるようにしてほしい。飛騨市ではホームページにのっている。
・市のホームページで、以前答えが見つからず、他市のHPで情報を参考にしたことがあった。大きい都市のHPを参考に頑張ってもらいたい。
・高山市のホームページは見にくい。検索しにくい。見たいページ(情報)になかなかたどりつかない。

屋外放送(広報たかやまなど)
・放送が場所によって非常に聞きづらい。
・メール配信して頂いているので、満足である。広報たかやまの放送は相変わらず。聞き取りにくいです。
・広報たかやまの音声は室内にいと聞こえない。
・市内の放送が聞こえない。何を言っているか分からない。災害の時など必要な情報を得られないので、改善策を検討してほしい。
・防災無線をもっと活用してほしい。コロナ関係の情報がスマホ、ネット以外でも発信してほしい。

・放送が山に響いて聞こえにくい。
・広報たかやま等の情報を流すスピーカーの設置数をもう少し増やしてほしい。外にいても聞き取りにくい場所もあり、緊急情報の場合にはとても困る。
・広報たかやまの放送が、声が反響して何を言っているのか分からない。
・防災無線について、緊急事態情報が流れるが、各スピーカーの音声が重複して何を言っているのか理解できない。各地設置スピーカーの方向、音量調整で対応してほしい。
・広報の市役所の呼びかけが全く聞こえないこともある。
・広報たかやまの放送が聞き取れないことが多々あるので、スピーカーの数を増やすなどの対策をしてほしい。
・スピーカーから流れる広報たかやまが聞きづらくて分からない。
・旧高山市内に設置してある広報のスピーカーが全く聞こえない(聞きにくい)。何を言っているのかわからない。音量を下げてでももっと多くの場所に設置してほしい。外にいるときに何を伝えているのか分からないので緊急放送時は役に立たない。
・広報たかやま(無線)が何を呼び掛けているのか聞き取りにくい。緊急時には役に立たない。早急に改善していただきたい。
・広報たかやまの放送が聞こえない。
・広報たかやまのお知らせの放送が聞きにくい。(エコーがかかる、間があきすぎる。声のトーンなど)聞き耳を立ててよく聞かないと分からないことが多い。何をしても自然に耳にできなければ効果は薄いと思う。
・防災無線による広報が、前は分かりやすかったが最近は少し早口になっている感じがする。
・広報たかやまは、まったく何を言っているのか聞き取れない。一度どのような感じで流れているのか(聞こえてくるのか)確認されたいかがか。
・防災行政無線は聞き取れないことが多く、役立っていない。
・広報たかやまの緊急時等の放送ですが、非常に聞き取りにくく、全く聞き取れない時もある。もう少し聞き取れるとよいが、何か良い方策はないものか。
・市の連絡広報が聞き取れない地域がある(こだま)。緊急時は困る。
・夕方5時のチャイムは、よく聞こえる。昼間でも時を知らせるリズムなどを流したら和むのではないか。緊急を知らせる音声は、こだまして聞きにくい。町内会の班に1つとか小分けして設置できたらいい。
・広報の声が聞きにくい。窓を開け、静かに聞かないとわからない。多くの人が感じている。災害があった時、市民全員が聞きやすいものにしてほしい。
・何を言ってるかわからない。同じ内容を同時にラインやメールで配信した方が良い。火事や大きい事故、災害箇所などは、だいたいの場所がわかるようにしてほしい。
・スピーカーからのお知らせは何を言っているかほとんど内容が分からない。何とかならないものか。
・以前、災害時の避難指示の無線の放送が全く聞き取れなかった。

知りたい情報
・高齢者の体力維持の施設や交流場所をPRして頂きたい。どこにどういった施設、また、申し込み方法など案内してほしい。
・支所地域単位での情報発信が不足している。
・元々住んでいないとどういう情報があるかわからないので、引っ越してきた際に情報の一覧があると良い。
・子どもの健康診断などの情報をもっと早く知らせてほしい
・もっと母子家庭について支えになるような記事がほしい。スポーツにみんなが興味持てるように沢山載せてほしい。
・疾患で病院に通っているのに、コロナウイルスワクチン接種がまだできず、ワクチンセンターに問い合わせても対応が曖昧である。言い訳ばかりでうんざりする。
・高山市内の就職情報をもっと知りたい。
・高山市議会議員が普段どのような仕事をされているのか、高山市の発展のために行った実績を知りたい。

・市民の功績など、良いニュースを紹介していくと、シビックプライドがどんどん向上すると思う。
・各課の補助金やサービスなど、相談に行かないと分からない(聞かないと手続きしない)。しっかり知らせてほしい。
・各担当部署がそれぞれの得意な分野を活かして市民にとっても観光客にとってもより分かりやすく役に立つ情報を発信してもらえると嬉しい。
・コロナの情報をもうすこし分かりやすく早く案内してほしい。
・結果中心の記事ではなく、先をみる記事が多くほしい。
・コロナの予防接種などの情報をもっと詳しく、早く知りたい。まだ受けてない人もたくさんいる。
・ワクチン接種予約の整備やコロナ感染情報の充実化が必要である。(コロナ禍で市民は怯えている。感染予防対策の強化により安心した生活環境を取り戻し、その成果により市民は活性化して市政によるまちづくりが実現すると考える。)
・昨年の春からコロナの影響によりイベントの中止が相次いでいる。インターネットやスマートフォンを持っていないため広報たかやまやヒッツ FM で見たり聞いたりしている。市内の雇用状況の発信にも取り組んでほしい。
・広報は毎回見ているが、現在はコロナ情報などについて、もう少し情報を出してもらいたい。
・補助、援助、保償など、市関係のほか、国、県の情報をもっと入れてほしい。
・オリンピックによる休日の移動について 国民全員に関係するのに、当日になっても気付けなかった。ものすごく大切な事だと思うので、他の事も(コロナ関係等) 早め早めに重ねて教えてほしい。
・減税を心掛けていただきたい。市は身近に感じるが県の姿がよく見えない。県税について説明や特集をしてほしい。

その他
・多方面にわたる記事を毎回載せてくださりありがたい。
・市の防災ラジオを全世帯に無料で配布してほしい。
・そもそもよく知らないことが多い。
・デザイン等を高山市(または飛騨地域)以外に委託するのは、極力減らすべきだ。
・素晴らしい取り組み、いつもありがとう。
・いつも、多方面にわたり情報提供していただき、とても満足している。
・コロナ禍における高山市の情報公開のあり方には、正直失望した。
・ケーブルテレビに契約しておらず、地元のケーブルテレビを見ることがない。ラジオの方が多くの人が情報を得やすいと思う。
・広報誌は旧高山市内・支所地域を分けるなどしたほうが見やすい。行政情報(周知事項)と事業関連・行事報告をもっと明確に分ける。紙面は災害時広報のあり方に課題あり。屋外放送はほぼ役立たない。豪雨時や冬期は防災ラジオの普及に積極的に取り組むのか、他の方式なのか方針が不明確である。考え方がケーブルの光化等民間事業者に追い付いていない。必要な場合は、今回のコロナ特別広報のようにもっと臨時広報を多用すべき。
・広く、細部にわたって広報されていて理想的である。
・どこの行政機関でもスムーズに、誠実に対応して下さる。いつもありがとうございます。
・新聞やテレビなど広告媒体を活用すべき。
・大きい字で読みやすく。
・いつも親切に分からないことを教えていただいている。
・少し文字が多くなり、見にくくなった気がする。
・ゴミについて、新聞を取ってない家にはどうやって知らせているのか。可燃ゴミの所に不燃ゴミ、缶収集など置いている人がいる。
・内容がマンネリ化しているので、創意工夫を大胆にしてほしい。
・防災ラジオを熊情報だけでなく、今だったらコロナのことを知らせてほしい。
・「ハイ、市役所です」をもっと市民の生活実態に合った企画にしてほしい。
・ケーブルがきていないため、ケーブルテレビが見えない地域がある。そういうところなくなるよう努力してもらいたい(古い町並み)。メジャーな放送局は NTT を通じて入っているが、市の番組を見ることはできないのではないか。
・年齢が高くなりあまり実感がしない。

・以前より分かりにくくなったと思う(特に高齢者の方など)。イメージなど一新し努力されていると思う。
・支所での対応は、その地区の職員が行ってほしい。
・県外への情報発信を拡大したらどうか(観光・農産物・工芸品・イベントなど)。
・満足である。
・広報は来ないし、ケーブルテレビも契約していないので見ることができない人も多数いるのではないかと思う。
・コロナ禍の中、担当者の方々、お疲れ様です。
・飛騨高山の良い所をもっと全国に発信してほしい。
・スマートフォンやPCを使える人達は情報が入りやすいが、それを使えない世代や独居の人への情報提供を考えてほしい(新聞をとってない人もいる)。
・高齢者の施設の入所や高齢者が多くなか、施設の値段や市外からの入所について考えてほしい
・防災ラジオでは、両隣の地区は避難指示が出ているのに間に挟まれた私の地区は指示が出ていなかった。決める基準何か。
・月日が決まってお仕事の間合間にできないので、もっと気軽にできる健康づくりの機会を増やしてほしい。
・コロナ禍が2年目に入り、出口の見えないまま1日1日がモンモンと過ぎている今日この頃、感染対策に気を付けながらストレスが高まりつつも守らなければならないし、楽しみにしていたイベントも中止ばかりである。
・私の住んでいる場所は高齢者が多く、この先どうなるのだろうと不安もあるが、近隣同士仲良くやっていたらいいと思う。
・住みやすいまちづくりを期待する。

4 高山市のまちづくりに関するご意見など

問8 その他、ご意見、ご提案などがありましたら、ご自由にご記入ください。

労働・産業
・企業の誘致や畜産系大学の創設などにより、若い世代が働き学べる場所を作ってほしい。
・観光に頼るまちのため、観光やそれに携わる産業に対してのPRに力が入るのは理解しているが、それは充分と思う。就業などは観光以外の業種での誘致をしないと働く場が少ない。これから高齢化がすすみ、元気な高齢者が多くなる。観光客が激減しているコロナ禍でもあり、生活に密着し安定した企業を誘致して労働環境の確保にも取り組んでいただきたい。
・高齢者雇用を充実してほしい。
・在宅勤務が中心になってきている部分もあるが、自宅以外でも低額で在宅勤務ができる場所があるとよい(レンタルオフィス(時間制)など)。
・物価を下げてほしい。観光ばかりに力を入れず、地元の事をもっと考えてほしい。給与が上がらなければ若者が出て行く。
・IT企業の誘致やフリーランスが働きやすいように、ワーキングスペースを立地のいいところにオープンしたり、5Gのような高速インターネットの環境整備をしてほしい(早期にやれば誘致につながる)。
・働く場所が少ない。企業を誘致し、雇用促進を図り、所得アップを願っている。
・観光に特化し過ぎた行政は、コロナ禍では経済が行き詰ってしまう心配がある。新しい地域産業の開発(地熱の活用など)にもっと力を注ぐべきである。
・飛騨高山というブランドを世界に向けて発信していただいたことで、海外からたくさんの観光客を誘致することが出来ていると思う。また、飛騨高山産の農産物や畜産物の評価も高くなっている。ただし、観光産業、農業、畜産業以外に対する産業支援が少ないように思われる。コロナ禍で、地域経済を支えるのは観光業やその関連産業以外の産業だと思う。観光業に対比すれば地味だと思うが、そのような産業に対しても支援していただきたい。
・後継者の育成、地域産業の振興、魅力的産業発展、過疎対策が大切かと思う。
・高山市へ大企業の誘致ができればと思う。位山に夏冬利用できるスポーツ公園の整備をお願いする。
・子育て世代が働きやすい就職先が少ない。のびのび遊べる大きな公園、遊具がほしい。
農業・畜産業・林業
・畜産業を守るため、飛騨牛が市民に安価で供給されるよう、消費に助成してほしい。飛騨牛をたくさん食べたい。
・歩いて町内を見回してみると、田畑の荒れた休耕田が山間部でなく民家のそばでも多く見られる。シカやイノシシ、タヌキが多く困っている。草の刈り手不足、若者の無関心など、このままでは、野生動物の住処になってしまう。補助金を出すなど良い方法はないか。
・木材の利用促進や適切な管理のため、林業への支援を検討し、開発で森林が減らないようにしてほしい。
・豊富にある森林資源をベースに、林産物を根幹とした産業連関を強固にする。そしてその森林資源を価値として地域通貨 Enepo のように回すことにより、本当に意味での地域内循環経済となる。
・面積の70%が山林なのになぜもっと保全に力を入れる人がいないのか残念だ。里山のスギ、ヒノキは手の届く所から枝が張り出し、うす暗い。自分がもう少し若ければと、歯がゆい思いである。NPO法人で活動しており、仕事はきついが楽しい。枝打ちして間伐した山林は明るく気持ちいい。どうか若者達が山仕事を喜んでできるよう、力を貸してほしい。
・山林の手入れが皆無と言っていい。林業の振興に力を入れてほしい。
・森林造成に一生懸命頑張ったが、今は何の価値もなく残念である。
・山の整備をすすめてほしい。

商業
・古い街並などを散歩していると、お洒落な宿泊施設やお店が知らないうちに増えている。コロナ禍で今はなかなか厳しい時期だが、こういった所を特集したサイトがあると市民でも行ってみたいと思う人が増えると思う。
・娯楽施設や商業施設が増えると嬉しく思う。
・高山の中で観光地となっている同じ場所でも繁盛しているところと廃っているところの差が激しいと感じる。以前、大学の卒論の関係で高山に来た観光客にアンケートを取った際も同じように思う人が一定数いた。廃る理由はまちの作りが悪いとか言う人もいますが、きっとその店を営んでいる人の問題が一番大きいと思う。
・商店街としては市が補助金を出すような対策ではなく、本当にまちを良くしたいと思う人を集め、ムーブメントを起こしていくことである。SNS 発信にしろイベントにしろ、やっている人の本気度が大切である。
・企業の誘致活動をすすめてほしい。
・本町などシャッター通りとなり、淋しいと思う。
・若い世代が楽しめるような商業施設を作ってほしい。また、本町商店街をはじめとした商店街通りは、夕方以降になるといつも寂しい雰囲気を感じるため、観光客だけでなく、地元の人も歩いているような活気のある場所になってほしいと思う。
・外食産業を誘致してほしい。
・ショッピングモールやチェーン店、映画館、コンビニも偏りがあり、不便を感じる。
・商店街をもっと利用したいが、道路が狭かったり、駐車場が利用しにくく、なかなか行けない。
・商店街は観光客用になっていると思う。駐車場もないが、市民が日常的に行くような通りになれば全体的に活性すると思う。範囲が広いのにもったいないと思う。
・長引くコロナ禍において、ぜひもう一度プレミアム商品券を実施してほしい。給付金より消費者にもお店にとってもとても良いと思いました。
・プレミアム商品券の発行願う。
・第3回目のプレミアム商品券を発行してほしい。
・商店街は観光客用になっていると思う。駐車場もないが、地元民が日常的に行くような通りになれば全体的に活性すると思う。範囲が広いのにもったいないと思う。
観光・海外戦略
・コロナ禍を除けば観光産業は順調だとは思いますが、ホテルの建設が多く、昔からの旅館が大丈夫か気になる。
・市長と環境大臣とのオンライン会談で興味を持ち、松本市との連携により大きな観光に結び付けられたら良いと思う。
・特に支所地域で、観光や飲食業者が厳しい状況にあり、支所地域に観光に行くようなことがあったら面白いと思う。
・昭和 30 年代から高山の観光のシンボリックな存在だった飛騨の里やその周辺が非常に寂れているのに、宣伝物には出ているため、訪れた人たちはがっかりしている。もう見るだけ見せるだけの観光はダメであり、特産の家具や生産品を販売したり、観光客が参加できるミニテーマパーク的なものに再開発して、観光に寄与するようにしたらどうか。
・「松本高山 Big Bridge 構想」や自然再生エネルギーの活用などは大賛成だ。新たな市の観光・産業の取り組みをもっと活発に宣伝し、実現に向けて、ぜひ積極的に取り組んで頂きたい。
・飛騨の里近くにいるため、今後の周辺の開発に期待する。
・飛騨高山スキー場の整備について、子ども達が安全に楽しめる場所なので早く整備してほしい。また、雇用についても、まだ滑れる場所が限られていると思うが、1日は1日なので運営規模に限らず賃金は今まで通りの賃金でお願いしたい。また、場内の整備にも滑りやすいよう、整備費を投じて安全に留意してほしい。
・観光については、夜遊べるところが少ない。外国人は夜も行動することから、夜遊べるところがあるといい。また、近年はキャンプ、特に高級キャンプの需要があるため、田舎ならではのキャンプやグリーンツーリズムのように楽しく体験する観光をすすめるべきだと思う。

<ul style="list-style-type: none"> ・昨年春頃までホテル業界で仕事していた。緊急事態宣言が出てしまい観光業界も悲鳴を上げている。飲食店も休業中で気の毒である。日本全体で経営が厳しいようだ。今年は春と秋の高山祭も中止になり、ゲストハウスの面接を受けようと思ったが残念ながら見送りになってしまった。早く、高山にもたくさんのお客客に来てほしい。活気あるお客様に楽しんでもらえるようにしたいものだ。
<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境が整った地域であり、自然を利用した観光地の整備、レジャー地域の造成(子どもたちが存分に遊べる場所)、若者たちの知恵(中学生、高校生の意見を聞く)を活用する。例えば、松倉山を桜、もみじの名勝地にする、原山を子どもが遊べるレジャー施設を作るなどしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・国内外から年々増加していた観光客の足がパタッと止まった。今後の課題として市民一人一人が今の生活を当たり前として暮らし、感染者ゼロを更新し、安心して観光に来てもらえる努力をし、高山は安全であることをアピールする。創意工夫で客足が増えることを考えてはどうか。例として旅行各社に対し、「ひだ高山へよ～きてくれんさったなあ～」キャンペーン、観光バスで30人以上かつ市内1日の行程で観光される客に対し、抽選で名産品(飛騨牛、工芸品、お酒)各5千円程度が3名に当たるなど、いかがか。緊急事態宣言が解除となったらスタートしてはどうか。
<ul style="list-style-type: none"> ・観光ばかりに力を入れ、他の事が二の次になっているように思える。産業・工業など他県と比べ給料も少ないように思われる。また飛騨牛製品等はブランドのみで高くなりすぎている。何でも飛騨牛とすれば高くても良い考えがあるように思える。観光時子どもが見たり遊んだりする所が少ない。小1の子どもが三之町を見ておもしろいのか、お土産だけでないか。
<ul style="list-style-type: none"> ・観光に頼り過ぎている姿勢が大変危険であると感じている。近頃のホテルの乱立など、本当に計画性のあるまちづくりが考えられているのか大いに疑問を持つ。観光資源を生かすことは大切な事とは思いますが、もっと人が根を張って生きられる産業を創り出すとか環境を整えることに目を向けていけないものか。
<ul style="list-style-type: none"> ・市長と環境大臣が話していた山岳リゾートとして観光とともに環境にも力を入れてほしいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・高山スキー場のリフトの復旧を早急にしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺にホテルがありすぎる。景観的にどうなのか、高山らしさとは少し違う。目先の利益にとらわれず、もっと長い目で見たらどうなるのか。ホテルを建てれば、雇用が生まれるが、果たしてそれは長く続くものなのかは疑問である。
<ul style="list-style-type: none"> ・海外戦略を強化してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・市が観光ばかりに一生懸命のように思う。私達には関係ない。まちへ出かけても観光客ばかりで地元の方が小さくなる。観光に関係なく小さな職場でも若い人達が頑張っている。

<p>経済</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飽きられないまちづくり、新しいブランド特産物、高山市外からの若者が住みやすい手厚い補助などをしてもらいたい。 ・塾や進学に必要な支出に対する補助が出るとありがたい。 ・ホテルの建設など、観光ばかりに力が入っている。 ・重複する業務や簡素化できるものを変えて、その分の余力を福祉や経済の活性化へ力を注ぐことができると思う。世の中がどんどん変化している。 ・物価を安く、給料を高くして頂きたい。 ・地元の人だけで回していける経済が必要である。観光は+αで考えることが大切だ。
--

<p>保健・医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外との交流も必要かもしれないが、まずは、市内の雇用やインフラ整備、医療や福祉などに力を入れるべきではないか。特に医療過疎の地域であることの認識をしっかり持って頂きたい。 ・コロナ対応について、PCR検査等は飛騨市のような体制を整えてほしい。 ・基本的には景観も良く、とても住みやすい土地だと思う。ただ、他地域からの移動が不便な分、少し閉鎖的な印象もある。新しいことに色々チャレンジしていくことを期待している。高齢化等から医療費・介護費が増大しているなか、青年期からの生活習慣病対策などが必要になってくる。本人の改善に頼るだけでなく、行政での健康施策や企業の健康経営など、環境から健康意識が高まるような取り組みを推進して欲しい。 ・ベビースケールなど子どもの身長体重を気軽に測れる場所をもっと増やしてほしい。大型商業施設や児童館などに設置してほしい。 ・わざわざ他の地域へ行かなくても、高度医療が受けられるように、現在の病院を整えてほしい。

<p>・公共建物で利用率の低い屋内スポーツ施設等は、改装改良など行い利用範囲を広げ、雨や冬季時の健康増進に役立てほしい。</p>
<p>・コロナについて詳しく公表した方が予防になると思う。</p>
<p>・コロナウイルスで大変な時でワクチン接種を確実に年齢の高い者や疾患のある者から確実に接種してほしい。若者に接種して県外に出かけてウイルス持ち込まれても困る。</p>
<p>・若者のコロナワクチン接種を早く進めるべき。</p>
<p>・飛騨市と比べると市民ファーストが感じられない。コロナのワクチン接種も遅いし、無料検査もない。飛騨市より、規模が大きいのに疑問に思う。</p>
<p>・今一番困っているのはコロナワクチンが接種できないことである。抽選と聞いたが、他地域へ行けばいいのか方法があるなら市から知らせてほしい。</p>
<p>・高山市のワクチンが足りないなんておかしい。住所のある高山の方全部の人に早めに用意してほしい。10月にしかない、11月にしかない、などと言われて、一体いつになったら全員打てるのか。早目に手を打ってほしい。</p>
<p>・コロナワクチンの取り組みを強化していただきたい。家族でワクチン接種が終わっていないのは私だけだ。10代～30代は当然まだと思う。ワクチンの確保を何よりも早急に行っていただきたい。ブレイクスルー感染を最近耳にしますが、ワクチンを全市民に届けないことには何も始まらない。</p>
<p>・日本赤十字社が市内にあるが少し施設的に古いように思える。救急車も飛騨市には1台しかないとネットで知った。飛騨地方(飛騨市、高山市、下呂市等)の医療体制を良好にするためにも、連携して医療体制を整えていく必要があると思う。久美愛病院は設備も人材もとても充実しているが、1つだけではやはり重荷であるし、高齢化やコロナなどの感染症、登山や山道、川などの救出に対応するため、日赤を整備して(特に救急体制)医療強化を計っていくのが望ましい。またコロナのワクチン接種について、これからはワクチンを打ちたくても打てない人、ワクチン接種を希望しない人を除いて、希望する人から接種を受けられるよう考えていただきたい(医療従事者、学校保育園、ホテル・旅館・接客業、運送業など職場接種が可能になると良いと思う)。一日一人か二人しか人に会わない人と、一日何十人、何百人接する人とは一緒にはならないと思われるので、接種が必要と思われる人は希望すれば早く受けられると良いと思う。高山は空気、水がきれいなのでずっと保ってほしい。</p>
<p>・病気の検査、入院、手術等の必要が生じた場合には、住所の異なる人の保証人が必要となるが、頼める人がいない場合はどうしたらよいか。現在は市内に住む身内に頼んでいるが、事情があり今後頼めなくなったので、どこに頼むといいのか分からない。窓口があったらぜひ教えていただきたい。病気は待ってくれないので不安な日々を過ごしている。</p>
<p>・コロナの予防接種が他より遅れているように思う。一日も早く皆が安心できるようにお願いします。</p>
<p>・コロナのPCR検査などは、飛騨市のようにできないか。</p>
<p>・コロナワクチン集団接種は、予約枠が300人と少なく、予約開始の時間設定では働きながら電話をかけることになるなど無理がある。私は電話をかけ続けたが、予約できなかった。市民公平に受けられるようなやり方をお願いしたい。</p>
<p>・上宝・奥飛騨温泉郷地区には、スポーツ施設として奥飛騨トレーニングセンタープールと上宝町のグラウンド程度であり、運動する機会が制限されている。そんな状況の中、「水中歩行券」の制度が無くなり、ますます運動する動機付けの機会が減少している。水中歩行することにより足腰膝の具合が良くなった事例があり、この制度が廃止されたことに対して惜しむ声も聴かれる。地域住民の健康維持、増進のためぜひこの制度を復活させていただきたい。</p>
<p>・新型コロナウイルスワクチン接種の申し込みについて、電話が全くつながらず、HPも待ち時間が長く、結局申し込みできなかった。これが平日でなく土日なら申し込みができたかもしれないので、もう少し手法を検討してもらいたい。</p>
<p>・現在コロナ禍のなか、若い方にワクチンを打ってもらい、高齢者も安心して行動できるように願っている。</p>
<p>・例えばコロナワクチンの予防接種について、特例などに備え、臨機応変な対応ができる市であってほしいと強く願う。決まりだから、あれはできないこれはできないでは、良くならないと思うので、対応したいという気持ちだけでも見せてほしい。</p>
<p>・コロナ対策に関しては、昨年の初動が遅く感じた。新規感染者が出続けているなかでは、以前あった県境で「今は来ないでください」と広報するとともに、市民にも他県への移動を今は我慢してほしいと強いアピールをしないと、市内の医療もひっ迫すると思う。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響で人との関わりが減り、淋しい。コロナと上手に付き合うために、まず、医療、救急に力を入れていただきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナワクチン、高齢者は早く実施していただき有難かったが、若年層のワクチン接種の進捗があまり良くない気がする。高齢者の時のように、集団接種などにより早く進めていただきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナワクチン接種が遅い。
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナワクチンの接種がもう少し若い人達にも受けられる様であれば良かった。飛騨市とは大ちがいで。予約をしたために9時からひっきりなしにコールセンターへ電話をするが全くつながらず。やっとつながったと思ったら、終了と言われ、せっかく仕事を休み電話したが無駄になった。もう少し方法を考えてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス拡大のため各行事が中止になり人との絆が薄くなった。いつ終息するか分からない。そんななか町内の公民館を利用して、少人数での学びや健康づくりができないか市から助言や補助等をしてもらえないか。細く長く週一回とか月二回とか続けることが大事である。
<ul style="list-style-type: none"> ・ワクチン接種のスピードが遅い。海外戦略よりももっと身近にある問題に目を向けてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・子どものことだけでなく、ペット(地域猫)などにも力を入れてもらいたい。飛騨市みたいにもらいたい。保護猫の活動や犬とかも散歩しやすい地域になってほしい。例えば、老人ホームなどにセラピーペットとして保護猫や保護犬とふれあうことをすすめることはどうか。
<ul style="list-style-type: none"> ・大規模な市営の医療機関がないため、久美愛、日赤との関係の強化が必要である。今後生じてくると思われる、日赤の新築、移転等の計画の協同強化について十分な支援協力をすべきではないか。
<ul style="list-style-type: none"> ・健康なまちづくり「歩きながら健康づくり」 日常生活において歩くことを基本に、習慣化する風土をつくる。車等に頼ることの多いなか、高齢者は時間があるので、歩いて生活の豊かさを追求したい。医療費、介護費の上昇を止めるため、体を動かす生活を基本としたい。薬で健康を保つことから、体を動かし、健康な体を維持する社会的治療を確立してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症について、感染の状況(家庭内感染、職場、会食によるものなど)やカクテル療法・酸素ステーション等の導入状況を知らせてほしい。約1年半の自粛に耐える毎日のため、そういった情報の提供が安心感につながる。いつでも誰でも安価で受けられるような検査体制の構築に努めていただきたい。連日のコロナ報道により、医療の提供だけでなく、例えばオンライン授業ができなかったこともあり、改めて都市部との格差を感じた。市のICT教育が遅れていたためか。観光に力を入れるのも良いが、都市部との格差が是正されるような施策をお願いしたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナワクチンですが、観光業に携わる人が多いのに、そういった方々がワクチン接種するのが遅すぎると思う。下呂市は、観光に関係がある人は65歳以上の次に打てたはず。この辺りを市役所はどのように考えているのか。
<ul style="list-style-type: none"> ・救急病院について(高山市外の病院へ行きたい時)、時間や曜日を問わず、対応してもらえるようにしてほしい。高度な医療を受けられるように、設備、体制整備に税金を使ってほしい。ドクターヘリは天気に左右され、夜間の使用はできず、遠方だからという理由ではあまりにも理不尽である。
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナに対する取り組みについて、PCR検査はもっと積極的にしてほしい。飛騨市や下呂市の話聞いてもうらやましいことばかりである(帰郷する人には無料でPCR検査や、補助金を積極的に出している)。大変な状況だからこそもっとお金を使って住民に安全安心を与えてほしい。

<h3>高齢者福祉</h3>
<ul style="list-style-type: none"> ・単身高齢者の増加に伴い、孤独死に対する地域単位で協力し合う方法を検討してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の雇用がすまない。
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が多くなり、買い物支援は必須だと思う。移動販売車への補助をして、高齢になっても、選んで購入できる環境を支援してもらいたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が増加しているなか、今まで市に貢献してくださった方だと思う。一人世帯が多いと思うが、施設の順番待ちや高額で入居できない場合には、家族が働けないと生活ができない現状にあるため、改善をお願いしたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者で年金生活のため、福祉などに感謝している。
<ul style="list-style-type: none"> ・市内の病院(特に医者の技術)に関して疑問を感じている。4人暮らしで3人介護しており、将来が心配である。

<p>・家族が認知症になり、車いす生活で入退院を繰り返した。デイサービスの昼食後、脳梗塞になり、救急搬送され、現在も意識が戻らず食事も自分で取れないため、鼻よりチューブで栄養を入れている。一人で家事一切をやっており、子どもは東京と愛知に生活しているが、最近私も体力に自信がなくなってきた。何かあったときには隣近所の人や民生委員の方へ連絡する方法を考えてもらえるとありがたい。他にも同じ心配をしている方もいると思うので、ご一考をお願いしたい。</p>
<p>・高齢者の見守りについては、市役所と社福協が同じような事業をしていないか。すりあわせて協働すればより良いものになると思う。</p>
<p>・市営老人ホームへの入所を希望しても、順番待ちでなかなか入れないと聞く。この辺をもう少し充実していただけないか。(ほかに介護施設等があるが、料金面が課題)</p>
<p>・一人暮らしであり、将来に向け、いろいろ心配している。子どもには頼れないため、地域の方々と仲良くやっている。まずは、健康に気を付け、できることを無理せず一歩ずつがんばりたい。</p>
<p>・市街地とは1時間も離れているため、情報が伝わりにくい。高山は広い面積の地域のため、市街地まで出かけることも月に1回程度である。いくら興味があるイベントがあっても、1時間かけて車で出かけるには大変である。事情があり、家庭を留守にできない人もいると思う。高齢者ばかりの地域のため、病院も遠く、買い物も車で出かけなければならないし、運転ができなくなると死活問題である。まちづくりよりも田舎の高齢者世帯に目を向けて、病院送迎サービス、買い物ができるサービスなど、高齢者福祉に力を入れていただきたい。</p>
<p>・地域医療構想を推進しているなかで、独居の高齢者も多く、その人たちが健康で暮らせるような、イベントや教室が少ない。ロコモやサルコペニア予防、転倒予防でき、楽しんでできる教室を増やしてほしい。平日しかやっていないなど、開催日も少ない。これから認知症も増え、その方々を介護する人も少なくなることがとても心配である。2040年問題もふまえ、市民全体が意識できるような取り組みが必要だと思う。2025年問題も、とても温度差を感じる。</p>
<p>・タクシー料金の値下げ、一人暮らしの人のサポートに力を入れてほしい。</p>
<p>・介護を経験して思うことは、ケアマネジャーにたどりつく前(介護が必要になる前、なりそうな時)に、気楽に相談できる所がほしい。あるのであれば分かりやすく案内してほしい。ケアマネに相談する前に知りたいことは多く、免許返納後は、1年だけでなくずっと割引チケットを提供してほしい。高齢になり、家から出なくなり、刺激がなくなってしまった。日赤に医師や看護師を確保してほしい。特に看護師は給料も低く、休みもなかなかもらえず、結果、若い看護師は都会へ行ってしまふ。特に子育てしている母親は離職している。医療崩壊はコロナの前から始まっている。</p>
<p>・膝肩腰元気教室は、65歳以上と年齢を限らず、もっと若くても老化防止に興味のある方達広げるのはどうか。基本的なことは1時間半の説明や実技時間が必要かもしれないが、後は30分程度とするなどでハードルを下げて大勢の方に参加してもらえの方が良いと思う。</p>

障がい者福祉

<p>・耳に障害がある叔父は、長い間補聴器を使っているが、県の補助金があることを知らなかった。年金で買うには高いため、市の窓口でこちらから聞いて書類を出してもらいましたが、聞かないとやってもらえないのか。</p>
<p>・障がい者で最低賃金がもらえるA型作業所があって助かっている。安心して作業を楽しんでいる。高山は福祉が整っているのがありがたい。</p>
<p>・車椅子に乗っているが、歩道の舗装が悪くて乗っているとガタガタとして大変だ。市長には車椅子に乗って市内を見てほしい。</p>

地域福祉

<p>・ボランティア活動の輪をもっと広めるよう考えてもらいたい。会社勤めのころ、会社ぐるみで年1回程度様々な施設の大掃除や窓ふき、ストーブの取り付け、他ボランティアを行った。介護の方や弱者の方へ会社ぐるみ、地域ぐるみ、公民館ぐるみなど、声をかけボランティア活動しやすいしくみをつくってほしい。</p>
<p>・弱い立場の高齢者、障がい者が安全に安心して暮らせる市になってほしい。市と病院、地域が協力できる体制の充実を図ってほしい。</p>
<p>・高齢になって車の免許を返上した場合や体が不自由になった場合の移動、生活の助けなどのサービスの向上を願う。</p>

・支所の特色ある地域づくりについて「福祉の街をめざす」国府町のどこに視点を置き、どう伸ばしていくのか。目に見えて何に力が入っているのか明らかでない。「福祉の町」として、他にない実践をし、他の地区の模範としてみたらどうか。一点突破で是非お願いしたい。長寿会をはじめ今後の高齢化に備え、今から理想郷を形成することが望まれている。

児童福祉

- ・動物園、公園など子育て世代が利用できる場所を増やしてほしい。
- ・子育て支援について、環境が良く、金銭面、健康面、市の対応の速さなど、他市の方から羨ましがられるほどで、ありがたい。
- ・地元の有機野菜や食材を今以上に使うなど、子どもの食についてもっと考えてほしい。観光を中心に考えるのではなく、地元力を向上させることに力を入れてほしい。
- ・経済的理由で子どもを産まない家庭があるので、子育て支援をもっと充実するべきだ。
- ・現在未滿時と未就学児の2人の子どもを育てているが、高山市はとて子育てしやすく制度もしっかりしており、大変感謝している。しかし子育て支援金だけでは厳しく、正直それだけでは足りない。もう少し月の支援金を増やす提案と見直しを強く求める。おそらく他の方も思っている。早期改善をお願いしたい。
- ・子ども達の将来を一番に考えたまちづくりを考えていただきたい。
- ・福祉(子育て系)に関する相談場所(専門的な知識のある方がいらっしゃる)が少なく感じる。子どもの心クリニック等の様な所があると、かなり救われる親子が増え、“生きづらさ”が少しでも減少すると思う。子本人だけでなく、親、同居家族も試行錯誤しながら、悩みながら、また、病みながら子育てしている家庭も少なくないと思う。また、療育が必要なのに待機の子どももいる。保育士として、もっと援助が必要だと思う子どもが増えていると感じる。園との関係を常に取りながら支援の必要な子(二歳児検診とか)がもっと気づいてもらえる環境が必要だと思う。スルーしてしまう子どもがあまりにも多過ぎ、せつかくの検診なのにもったいないと感じる。検診の前に、あらかじめその子がどのような特徴があるかを園から伝えておくシステムがあれば、伸ばせる部分を十分に伸ばしてあげられる子がたくさん出て来ると思う。こういったシステムがあると相談出来ず、悩んでいる親も救われると思う(私は2人ともに療育に通わせてもらい、助かった)。
- ・第3子へのお祝い金が10万になったことがとても残念だ。少子化ということで第3子に手厚くしていただきたい。出産には、保険の42万円を除いても10万以上かかるので、お祝い金の第3子20万にもどしてほしい。
- ・子育て支援金やブックスターの事業は、これからも続けてほしい。
- ・古い町並み、飛騨の里など観光の他は何もない。その一方で、あまり行くところがない子どもと一緒に遊べる場所をもっと考えてもらいたい。
- ・私は高山で生まれ高山で育ち、中学卒業後に地元を離れ、20代後半で高山へ帰ってきた。その後、結婚し、子育てするなか、もう少し市民が楽しめる所が近くにあればいいなとずっと思っている。夏休み、冬休み、休日に子どもも近くで遊ぼうと思ってもあまりなく、県外へ出て行くしかない。公園も少なく感じる。子ども同士で体を動かすところも近くにない。高山で体験できる場所(科学、工芸、自然、スポーツ)など作ってほしい。
- ・少子化対策として出産手当として第1子について300万円、第2子について200万円、第3子について300万円の手当を支給するのも一方策ではないか。
- ・高齢者の施設は充実しているが、子どもたちの施設が少なく思える。将来の宝である子どもたちに投資しない限り人口減少に歯止めがかからない。産業の誘致を含め、根本的な対策を講じてほしい。働く現役世代をもっと大切に意見を聞き、実行に移し、豊かな心で高齢者を支えていくのが理想である。
- ・子どもたちが安全で、のびのびと行動の出来る環境と場所の確保を望む。
- ・子どもの遊び場があまりにも少ない。子どもたちに良い思い出の場を作してほしい。
- ・もう少し子どもへの支援を充実してほしい。子どもたちの生活や育てることに少しは市の人達も協力してほしいと思う。子どもがもっといい生活ができる環境を整えていただきたい。
- ・家庭、学校、社会の中で、時間がかかっても子どもの教育に今以上に取り組んでいただきたい。将来の地域のリーダーとして託せる人材育成の環境整備に尽力してほしい。地域愛が強く、見識の深さ、視野の広さの若者が育まれる教育環境は、地域経済、文化、教育、医療、福祉等の体制整備のもと、すべて人間力だと思う。

・ベビーシッターやチャイルド minder など子育て支援を市全体で取り組む姿勢をみせてほしい。

学校教育

・特別支援学級や通級指導教室を望むすべての児童・生徒に学校での適切な教育を受けられるようにしてほしい。小規模校だから開設できないとの理由で中心部まで親の送迎で通わせているが、親は毎週半日休みを取って往復しており、負担が大きい。

・次の世代を担ってくれる子ども達の教育環境をさらに充実してほしい。

・学校の部活について人数制限があって好きな部活に入れないので、学校同士協力して部活ができればいいと思う。学校で認めていない部活も他の学校で自由にできたら良いと思う。

・グラウンドの整備が悪い。行事があるたびに小学校のグラウンドが駐車場になっているのはどうなのか。

・学校への通学路に危険な箇所がある。他にもあると思うので、今一度総点検をしてほしい。事故が起きたあとでは遅い。

文化芸術・スポーツ

・高山市には映画館がないので、ぜひ作ってほしい。市民会館などで、ワンコインで見える映画や芝居などを観たい。

・芝生のサッカー場が少ない。

・市民プールの改修がされるとありがたい。

・複合型スポーツ施設を充実してほしい(野球場、サッカー場、テニスコート等)。

・ブラックブルズが地元にあることは意義が大きいが、アマチュアでいいのでサッカークラブも発足したらスポーツ文化が栄えて楽しい。

・地元で高校野球ができるように、中山公園球場の整備を望む。

・スポーツにももっと力を入れてほしい。子どもたちがかわいそう。

・健康や体づくりのため、様々なスポーツをやっているが、生涯スポーツのための施設面は遅れている。

・市民プールをきれいに整備してほしい。

・数年前から夏休みに孫達と市民プールを利用しているが、危険がいっぱいであると毎年思う。サイドは足が痛いほど傷んでいるし、更衣室、トイレは汚く、いつも臭い。今時不潔じゃないか。ましてや利用するのは子どもたちであり、何かあってからでは遅い。せめて一部修理などの検討をお願いしたい。

交流

・人口減少に伴い移住を進めていくうえでは、地域集落との協力など課題があると思う。これまでの慣習が全てではないと思うため、農山村における成功例を活かす方法など、町内会長を通じ広めてほしい。

歴史文化

・高山城の寄付金はどうなったのか。高山城は再建すべきと思う。

・高山市の祭りなどずっと続いてほしいため、正しく伝えて残していってほしい。各地域の祭りなども含めてあいまいやいいかげんな伝え方ではなく、本物のおどりやしきたりなど正しく伝わるような体制を整えてほしい。

・松倉城を歴史遺産として残すように努力をしていただきたい。市民が楽しめる自然公園、大規模なハイキングコースとして残してもらえないか。

協働

・付き合いと思って町内会に入っているが、近所では入っていない家庭も増えている。同じ地域に住んでいるのに、入っている者と入っていない者がいる。町内会の集金は不公平だと思う。町内会自体は規律のためにも必要と思っているが、このままだに入っていることに意味があるのか。お金もかかることもあり、辞めたくなる。入っていない者に何か罰則、例えば市民税を追加するなどして、公平にできないか。

<p>・市内で行われる行事等、過去から続くものに加え新たに行事はあまり増やさない方がいいと思う。人が多い地域はいいとしても、少ない地域はすべてにおいて参加協力を依頼され、負担になってくる。そういったことで地域を離れたと考え出す人が増える。</p>
<p>・近年のまちづくり協議会設立以降その運営等、本来行政の役割と思われるものまで市民に投げ出しているのではないか(災害対応・防災・環境整備等)。もっと行政のリーダーシップ・専門的見地からの地域指導が必要だと思う。</p>
<p>・まちづくり協議会が文化・芸術を主体に活動しており、道路事情や産業・農業・高齢者対策などの施策がなされていない。</p>
<p>・まちづくり協議会の会費が高すぎる。年金だけの高齢者にはかなり大変である。イルミネーションなどにお金を使うより、皆の生活を考えてほしい。</p>
<p>・「サロン花里」では各種のイベントや花いっぱい運動など取り組んでもらっている。大変ありがたい。高齢のため参加はできないが、役員の方や関係者の皆さんに感謝している。</p>
<p>・空町地区に住んでいるが、年々人口が減っており、高齢化社会がすすんでいる。今後どうなるか心配だ。このままでは町内運営、お祭り等の催事が行っていけるか心配だ。町内会等の合併も必要ではないか。</p>
<p>・空町地区は市内で高根地域に次ぐ2番目に高齢化率が高い。老々介護の家庭が多く、まち協に参加される方は高齢者ばかりといっても過言ではない。祭礼等は空三社があるが、子どもが参加する太々笛、太鼓鐘、たたき采女等20名ほど必要だが、若者が少なく数が減る一方で、この先が心配である。この地区に限ったことではない。駅西地区は発展しているが、歴史ある空町は集いの場もなく寂しい限りのため、良い知恵があるのであれば教えてほしい。</p>
<p>・まち協の発足より今後の活動に疑問を感じていたが、これから活動が不可能になってくると思う。今一度、まち協のあり方について、市として検討する必要があると思う。支所地域ごとに意見交換会等を開催し、市民の意見を聞くと良い。</p>
<p>・花里地区では、春・秋に花の苗を配布しているため、家の前に必ず花の鉢があり、他の花も並びとてもきれいである。三之町も夏はあさがおなど、どの家庭でも家の前に並び美しい。最近少子高齢化が進み、町内会活動では役員選出が難しくなってきた。しかし、子ども会、町内会、ご近所付き合いから広がるまちづくりは、とても効果がある。町内会活動を活性化させることが、とても大切であると考えます。</p>
<p>・どちらの行事も参加しているが、まち協と町連の関係が分かりにくい。</p>
<p>・まちづくり協議会の方針が明確でなく、分からない。沢山の税金が使われているようだが、市民の福祉や環境整備など、明確に分かるようにしてほしい。</p>
<p>・祭りや作業など行事が多すぎる。人数が少ないため、回数を減らしてほしい。</p>
<p>・町内会について 少子高齢化により町内の戸数や人数が減り、高齢者の増加により町内会の組織運営も厳しくなっている。特にコロナ禍で近所の方と顔を合わせなくても不都合はなくなった。そのようななか、まち協、市、神社からの行事案内、お札注文、特に読まなくてもよいと思われる回覧は迷惑だ。町内会がなくても、テレビ、ラジオ、新聞、スマホ、SNS等で十分情報は得られ、町内のどの家庭に子どもが居るのかも判らず又判る必要もない。護国神社、日赤、神社など半ば強制的な寄付は必要なく、町内会を通じなくても寄付等は自分の意志ですればよい。町内会の回覧によるつきあいの要請制度は必要か。町内会制度は、住民登録上の表示制のみでよい。市への要望等は、市長に直接話しさせて頂け、手紙もだせる制度があり、この制度だけで充分である。町内会は必要ない。</p>
<p>・まちづくり協議会は分かりにくい。関わりのない人にはメリットがない。</p>
<p>・なぜまち協で「ワイン講座」をやらなくてはいけないのかさっぱり分からない。高齢者を敬う心は大切だが、もう少し飲み食いはやめて、もっと観劇などの文化的なものや災害に対するものにお金を使っていたきたい。</p>
<p>・高山市は大きな面積の中で、「まちづくり協議会」を中心として、地区の特性を活かしながら活動をしている。そういった活動を、他の地区にも共有し、繋がりを広めていくことが大切だと思う。関係者だけでなく、思いのある人達の情報交換・交流の場が作られると良い。以前に『高山市芸能発表会』があり、それぞれの地区が芸能文化を発表し、交流を深めたことがあった。現在行うのは、なかなか難しいかもしれないが、市全体の枠組みの中で、地区同士の交流の場ができると良い。</p>

・旧高山市内のまちなかに住んでいるが、行政や商業地、病院、学校等が近く便利がよく、景観もすばらしいと感じている。しかし、若い世帯が非常に少なく、町内会の役員の受け手に困っている。近年も若者の中には、住まいはあるが、役が当たるという理由で転居する者もいたり、何としても役を受けないと言う者がいたり、以前の町内会の面影は薄れてしまっているのが現状である。

生涯学習

・まちづくりは環境整備、防災、その他様々なことがあると思うが、人づくりも大切だと思う。物資面だけでなく、子どもの育成について考えていただきたい。地域学習を通して、生まれ育ったまちを誇りに思えるまちづくりが大切だと思う。学校も多様化しており、大変だと思うが、口先だけでなく、もっと地域と親しみ、会話の中から学べるころも沢山ある。その中で子ども達に伝え教えていただけることで人づくりにもつながると思う。大人の姿は子どもに伝わる。地域の中でも一生懸命子ども達のためにやっていたりしている方もおり、本当に頭が下がる。

住宅公園

・支所地域で人口減少や高齢化により、空家が増加しており、進行すると荒廃した土地が増加してしまうため心配だ。

・若夫婦が家を新築する際の固定資産税を減額してほしい。木を使った家の補助金については継続してほしい。

・耐震の補助制度について、1～2人の世帯が多くなっている現在、一部改修でも補助が受けられるようにしてほしい。

・他県への移動が制限され、遊ぶところがなく、公園を利用する人が増えたが、狭かったり、どの公園も人でいっぱいとなっていて不便を感じる。

・子ども達が遊べる公園を整備してほしい。高齢者向けのゲートボール場があるが、使用されているのを見たことがない。遊具があるのは学校だけで、休日はスポーツ少年団が使用している。

・公園を充実してほしい(アスレチックを増やしてほしい)。

・せつかく山岳地帯が多くあるのに、その地形を活かした公園が無い。城山公園や原山公園がその例だが、山の自然と触れ合える公園が増えれば楽しいと思う。

・少子化対策の子育てしやすい環境づくりについて、子育てしている若い方の声を聞くと、高山には子どもが安全で楽しく遊ばせる公園が少ないということと、市民プールが余りきれいでないということだった。目に見えないコロナウイルス感染拡大で今までにない状況が現実になっており、子どもたちの一番大事な時期に、コロナの影響で幼稚園、保育園、学校生活が今までと違ってしまった。そんななか、親子で遊べる場としては、公園やプールなどであり、公園、市民プールの環境づくりは必要だと思う。

・公園やスポーツ施設など子どもが活動できる場所をもっと整備してほしい。

・子育て世代だが、休日に遊びに行こうと思える公園が少ない。富山をみると、高岡にあるおとぎの森公園は規模がとて大きく、丸一日居ても遊びつくせないほど楽しめる。他県民である私が行っても楽しめる。高山にこういった施設があればまちおこしの目玉としてとてもよいのではないか。少子化も進んでいる昨今、このまちで子育てしたいと思えるまちづくりをしてほしい。

・旧高山市北部(桐生町、本母町)方面に子どものための施設、児童センター、大型遊具のある広い公園(桐生福祉センターの公園は狭い、宮川緑地公園には遊具がない)があると子どもが健やかに育つ環境ができる。

・高山市は公園が少ない、もう少し市民が楽に行ける所がほしい。高齢者がスポーツできる場所が少ない。

・地域の公園を整備してもらえると良い。

・子どもが遊べる公園(アスレチックがあるような公園)を作り管理してほしい。以前、四十八滝にアスレチックがあった頃、すごく楽しかった。

・大きい公園は整備が行き届いているが、小さい公園は遊具が古いなど整備が行き届いていないところがある。

・子どもたちがのびのび遊べる公園が少ない。公園があるにはあるが、規模が小さい。例えば、美濃加茂市の前平公園のように、大きな芝生広場がある公園が良い。

・公園を増やしてほしい。赤保木公園に続く道路を2車線にしてほしい。

<p>・観光客中心ではなく、市民のための市をつくってほしい。もっと地元の人が外に出て楽しめるようなまちづくり、公園等散歩ができる環境、遊歩道の整備、中高年・高齢者が増加しているのならそのような場所の整備は重要だと思う(健康促進)。観光客や外部の人が楽しめるだけでなく、やはり地元の人たちで活気が出る環境を作っていかなければ衰退してしまう。地元民が他県の人にここがすばらしいと自慢ができるようになってはいけない。現状では古い町並しか説明できるところがない。ガイドブック等でも城山公園は景色の良いスポットとして紹介しており、他県ナンバーの車等もいるが、全く景色が見えずさびれた雰囲気でもともはずかしい。地元の人が進んで足を運べることで地域の活性化につながるのだと思う。ホテルばかり建てるのではなく、もっと地元の人を大切にしてほしい。このままでは若い人が離れていくことは目に見えている。若い人達にも愛されるような古き良き飛騨高山を目指したまちづくりをしてほしい。スカイパークのような車でないと行けないような公園は全くの無駄である。</p>
<p>・城山公園周辺の無断駐車について、二の丸に駐車し、毎日のように城山へ散歩しているが、車が停められなかったとの苦言が多数ある。立て看板はあるが無視されている。いつも同じ車なのですぐわかると思う。特に土日が多い。大勢の人が迷惑しているの、何とかしてほしい。毎日散歩に来る人は高齢者等が多く、車で来る人が多いので、車を停める所がないと困る。小さい子ども連れや足の悪い人も多い。</p>
<p>・公園などの遊具が使えなくなっている期間が長い。修理等する気配が感じられず、子育て支援をうたっているけれど情けないような気がする。</p>
<p>・観光客だけでなく市民が気軽に憩える公園などの場所を整備してほしい。</p>
<p>・大規模な公園の整備により、沢山の人がくつろげる場所作りをしてほしい。</p>
<p>・地元の人たちの楽しめる公園などを作ってもらいたい。</p>
<p>・子どもが安全に楽しめるような広い公園など作っていただきたい。また、雨天の時出かける場所がない。市民プールの老朽化も気になる。</p>
<p>・子どもや子育て世代にとって魅力的な公園やプールなどの施設を作っていただきたい。コロナで県外などに行けなくなって特に感じている。</p>
<p>・公園に設置されている遊具が充実していない。</p>
<p>・新たな公園と遊具の整備をしてほしい。</p>
<p>・市内に公園がない。</p>
<p>・城山公園は、市民の健康と保養に良い所だ。市民だけでなく、観光客、若い外国人、ヨーロッパの高齢者グループの散策を何度か見かけた。昭和30年～45年頃は、城山公園から市内の町並みが見える所が沢山あったが、今は景観が悪くなっている。城山頂上・月見平・こぶし平からは乗鞍岳が見え、金龍が丘で休んでいるとひまわりの種を求めて小鳥のヤマガラが手のひらに止まる、照蓮寺の上にある展望屋形からは宮川や町並みが見えた。城山公園は風致地区、野生動植物の生息地だから守りたい。自然に任せて管理しないと、針葉樹と広葉樹の生息は500年サイクルで、入れ替わる説もある。城山公園の一部に植林したい部分もある。近年は管理(間伐)しないと災害につながる可能性もある。外来種の植物や小さな針葉樹が増えている。これらを放置すると、針葉樹が大きくなり城山公園が暗くなり、今いる小鳥(ヤマガラ)やリス、小さい動物が住めなくなる。市民が春の桜・藤の花や秋の紅葉を楽しめる公園にしてほしい。城山公園は市民にとっても、高山の観光にとっても大事な資源である。</p>
<p>・松倉山の頂上に上がる道を整備してほしい。木葉、枝木などのゴミは自然に返すような方法で処理するか、城山公園のボランティアなどを募り、松倉のボランティアの会など市の負担にならないように守る糸口を作ってほしい。</p>
<p>・公園の少なさ、子どもの遊び場が少ない。コロナ禍でも子どもは遊びたいということを考えてほしい。</p>

<p>生活環境</p>
<p>・観光推進ばかりで、市民の暮らしが不快になるケースを耳にする。民泊による地域住民への騒音被害等、他県ナンバーの違法駐車など、そういう対策はしないのか。</p>
<p>・ゴミ捨てるのマナーを向上させるには、①地域住民は何を、②アパート経営者や不動産業者は何を、③市は何を、それぞれしたらよいか。綺麗なステーションが多いが、一部のステーションは汚い。</p>

<p>・私の家の近くにはゴミ、タイヤ、その他様々なものが放置されており、市から土地の所有者に撤去するよう指導できないか。十数年放置されている。</p>
<p>・ゴミの分別について、外国人の働き手が多くなってきて、ゴミの分別がきちんとできない、ゴミを出す日が守れないなど、ステーションのそばに住む者のストレスになっている。もっと中国語やベトナム、カンボジア等々の人に分かるように示してほしい。カラスや風だけでなく、臭い等にも悩まされている。シールが貼っていない等、本当に困っている。</p>
<p>・市内のごみ回収について、回収の時間帯を昼間でなく、夜にしてもらえないか。市内渋滞の緩和、要員の縮小、作業時間の縮小、夜間の警防の利点がある。これが市民のサービスだと思う。</p>
<p>・ゴミ出しのルールがしっかり守られていない。市はゴミ回収の当事者であるにもかかわらず、違反の赤いシールを貼付けして一定期間回収しない方針らしいが、これではいつまでたっても違反者が減らない。何日も違反ゴミが放置されているのは景観上良くないので、町内会長が自分で処理している例があると聞く。町内会でも回覧により会員に注意喚起しているが、町内会に加入していない方には情報が伝わらず、減らないのが現状である。市はゴミシールの番号で個人を特定できるはずなのに、直接指導しないのはどういう理由なのか。怠慢としか思えない。</p>
<p>・早く火葬場を作ってほしい。</p>
<p>・新しい葬儀場(火葬場)建設に期待している。</p>
<p>・市の火葬場の建設を早く決めてほしい。</p>
<p>・いつまでたっても火葬場ができない。早く作ってほしい。</p>
<p>・火葬場は旧市内にあるべき。少しの反対意見くらいで変えないでほしい。</p>
<p>・丹生川ダムにせいで下流の荒城川の水質が悪く、川のおいがひどい。水質改善をしてほしい。丹生川ダムの水をためる意味はない。</p>
<p>・ルールを守らず出しているゴミには赤いシールを貼って、1回は収集せず置いてあるが、結局収集している。出された方は、規則(分別)を守らなくても出せると思っているのだと思う。何か方法はないのか。自宅近くのステーションで出されない方もいるので、カラスがつついたりして、ごみ収集近くの者が毎回清掃している。守られていない方を見かけても注意する訳にもいかない。</p>
<p>・野良猫がたくさんいて困る。庭にふんや尿をする。ウロウロする。夜に鳴く。保健所に数回連絡したが、具体的な対応をしてもらえない。</p>
<p>・プラスチックのゴミ回収を毎週にしてほしい。紙の回収はそこまで多くなくていい。</p>
<p>・ごみ処理や分別収集はもちろんですが、市独自の他に類のない強行策を行うべき。</p>
<p>・ゴミの回収残を見て、他の地域から就労や学業で高山に来て、アパート・貸家にいる方にゴミ分別収集について経営者、市等から説明・指導して、ゴミ置場に分別等で回収されずに残ることのない環境を考えたい。何か良い方法はないか。</p>
<p>・新火葬場の場所について、葬儀のことを考えると、家族や親族が遠距離だと、疲れやすく不便なため、できる限り駅中心に近い場所が望ましい。長い目で見た場合(道路の除雪等)八日町方面の候補地が最良だと思う。</p>
<p>・ゴミシールの必要性を考えてほしい。</p>
<p>・新火葬場、もう少しスピーディーにできたらと思う。</p>
<p>・無意識、勘違いによる信号無視など子どもを連れていて危険に感じたことが何度もあり、高齢者の運転マナーを良くしてほしい。</p>
<p>・ゴミシールは必要か。ほとんどの家庭では透明の袋を使用しており、ごみ推奨袋を高山市指定袋と思い違いをされている方もいる。シール、台紙など市内全家庭に配られる数は多数になり、それもゴミになる。高山市では、ゴミの減量化を進められているのにゴミを増やしているのはおかしい。高山市ごみ推奨袋を指定袋としてゴミシールをなくすことはできないか。</p>
<p>・観光も大事だが、これからは、自然を残すことや、エコへの取り組みも将来のために大切だと思うので、取り組みに力を入れてほしい。物が手に入りやすい世の中だが、埋め立てるしかない粗大ゴミも増えているのではないかと心配である。リサイクルや自然に戻る素材などが大事だと思う。</p>
<p>・単身世帯では燃えるゴミの無料処理券が年間 70 枚配布されるが、実際使うのは年間 12 枚程度である。70 枚といえば 5 日に 1 袋のゴミを出さなければならないことになり、おそらく生ごみを燃えるゴミとして認めているからではないのか。一方、3R として生ごみ処理機の購入に半額補助の制度もある。市は減らす方なのか、増やす方なのか、立場を明確にしていきたい。広報たかやまに単身世帯 70 枚の算出根拠を掲載していただきたい。生ごみは燃えるごみではなく、「生ごみは資源」をスローガンにしてもらえないか。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの分別について、古着は綿とフリースのみ分別利用し、後は燃えるゴミにしているが、飛騨市では古着全般をまず回収しているようだ。高山市は缶と一括りで回収しているが、アルミ缶だけ集めて利用することはできないものか。また、紙については、回収後にどのように再利用しているか。燃やすだけか。岐阜市では、再利用しているようだ。また、ビニール袋に入れて出すのには多少抵抗があるため、紙の袋に紙製品を入れて回収してはどうか。
<ul style="list-style-type: none"> ・毎月決まって郵便ポストに入ってくる無料情報誌には全く興味がないのだが、見ない人間にとっては大きな資源ゴミとなっている。ポストに不要シール等を貼って投函しないような対策をしてもらいたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・荒城川の水質調査をしてほしい。昔はもっときれいで川でよく遊んでいたが、近年汚染されている気がする

<p>上下水道</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水道工事の義務化を厳しくしてほしい。汲み取り式便所の家庭が近所に何軒かあり、風向きの変化で時々悪臭が漂っていて迷惑である。 ・私の住む地区では下水道が整備してあるが、一番の命の基になる安全に使える上水道は未だ整備されておらず、大変苦勞している。上水道の未整備地区の解消にもどうか力を入れ取り組んでほしい(人口の増加も望めない)。 ・現在住んでいる地区にはいまだに上水道が来ていないが、下水道の設備は直ぐにでも直結できるようにになっている。上水道は何十年たっても整備される計画がないのが不満である。清見村では小高い山の上であっても上水道が敷かれていたのにもかかわらず、未だ上水道の敷設の話が出ないのが不思議である。 ・下水道の整備がしていない隣家について、ゴキブリ、ネズミ等も見かけ、悪臭がひどく困っている。市へもお願いしたが、なかなか工事してもらえない。 ・上下水道料金の値下げをもらいたい。 ・下水道が整備されているが、まだ下水道に繋がっていない家があるため、用水の水が汚染されている。浄化槽の補助金をもらっているにもかかわらず下水道を利用していない家がある
--

<p>公共交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共のバスの空席が目立つ。税金をばらまきながら走っているとしか思えない。各家庭には自家用車があり、公共のバスを利用するのは高齢者が多いと思うが、バス停まで行くのも大変で、外出が億劫となり、認知症の発症にもつながるのではないかと。例えば、他県で実践している乗り合いタクシーなどで、玄関先まで迎えにできれば出掛けたいと思う高齢者も多いと思う。 ・各地域へ快適に移動ができる交通手段を確保してほしい(飛行機、電車、高速道路)。 ・支所地域は高齢者の移動手段が少なく、車が必要になる。公共交通を使いやすく整備してほしい。タクシーが使いやすいようにすると良い。 ・高山駅舎の中は良い感じだが、建物自体が高山らしくないので、観光客が外観も楽しめるような工夫があると良い。 ・高山市が大好きであり、住みやすく、人が良く、とても暮らしやすいと思う。車の運転ができなくなったときどうなるかが不安であるため、もっと交通が便利になると良い。 ・今あるのらマイカーでは本数が少なかったり、土日は運行がなかったりで不便を感じており、免許返納した後の買い物など交通アクセスが少ない。タクシー程度の大きさでよいが、近所の何人が利用した際の補助金があると良い。 ・郊外に住んでいるが、交通の便が悪く、病院、銀行、毎日の買い物等に大変困っている。“のらマイカー”“まちなみバス”等を郊外に1日2本~3本回してほしい。 ・のらマイカーの本数が少ない。午前中に2本あるが9時と10時ではなく、8時と11時にほしい。濃飛バスも午前中に1本のみであるため、もう1本増やしてほしい。「とくし丸」のおかげで買い物が助かっているのはありがたい。 ・のらマイカーの駐車場を増やしてほしい。 ・のらマイカーのバス停を近くに移動してほしい。バスの本数を増やしてほしい。 ・市内中心部で生活しているが、車の免許書も返納したなかで、スーパーへ買い物に行くには近くても15分以上かかり、少し不便である。のらマイカーを利用して見たが、とても時間がかかり不便だった。高齢者の1人住まいが多くなり、この先が心配だという人が多い。

<ul style="list-style-type: none"> ・バスの運行について 例えばルビットタウンでの乗車は1時間に2本あるものの、33分と39分と同じような時刻になっていることなど、とても不便である。右回り左回りがあるが、どちらが右か左か、何を基準にしてあるのか、時刻表を見てもよく分からない。高山駅で乗る場合には、バス駅の時刻表どれを見れば良いのか分からない。路線を増やしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・高山駅に自動改札を作してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・現在は車の運転で移動しているが、高齢のため運転免許証を返納しようと考えている。しかしながら、返納後の買い物などの不便さを思うと不安である。スーパーまでは歩いて行けるような距離ではないため、公共のバスなど、もう少し本数を増やしてもらいたい。特に高齢者にとっては、公共交通の利便性(医療関係、スーパー)の向上が大切である。
<ul style="list-style-type: none"> ・まちなみバス、のらマイカーをよく利用させてもらっており、バス運行をこのまま維持してもらいたい。欲を言えば、まちなみバスの12時代の運行をお願いしたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・高校生が大変であるため、高山～大洞間のバスを、高山～桜小路までに延長し、100円で利用できるように変更してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢となり車の免許証返納も近い将来のことと考えた場合、地域に大きな商業施設がなく、数本のバスを乗り継がなければならないことが不安である。
<ul style="list-style-type: none"> ・冬期には自転車に乗ることはできず、高校の通学時間に間に合うバスがない。毎朝、車で送るのはとても負担が大きいので、バスの路線や時間を調整してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が多くなり、通院、買い物、催事等に出かけるのが不自由になった人がたくさんいる。のらマイカーは来るものの、バス停が遠く利用するのが大変である。観光客が利用するバスはまちなかを走っており、便利でうらやましいと近所の方と話している。近くでバスが乗れると行動範囲が広がり、通院を我慢したり、家庭の都合で移動を諦めなくてもよくなるなど、もう少し利用しやすくしてほしい。市街地以外に住んでいる人はそう感じていると思う。

<h3>道路</h3>
<ul style="list-style-type: none"> ・雪捨て場について、護岸工事によって安心して排雪できる環境を整えてもらいたい。宮川の雪捨て場はダンプなどが雪を捨てる時に道路に対して直角にならず危ない。あわせて、雪捨て場につながる道路を優先的に除雪する対応をお願いしたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・冬期間の融雪剤が過剰であり、また適切な場所に散布されていない。消雪パイプが設置されている道路にまで融雪剤が散布されている。
<ul style="list-style-type: none"> ・市街地に比べ、支所地域は市道の舗装などの整備が進まないのではないかと。限界集落と言われる場所を行政がどのように網羅していくのか心配である。
<ul style="list-style-type: none"> ・丹生川町池之俣の市道について、長年にわたり舗装のお願いをしているが未だに舗装されていない。利用度が多いが、凸凹であり困っている。舗装が無理なら側溝の整備及び砂利入れを行ってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・本町3丁目の宮川人道橋の建設は意義があるのか疑問を抱かずにはいられない。「先人の智慧」で保たれてきた宮川の景観が、「後人の愚策」でそこなわれたように思う。市税をつぎ込んだ事業も、南西部の市民には何のメリットは無いようだ。橋を作るより、今後起こりうる宮川流域の水防災対策費に蓄えておいた方が良かったのではないかと。
<ul style="list-style-type: none"> ・道路の整備について、アスファルトがはがれたり、穴があるなどは、頻繁に車が通る道は市、自治体の区別なく、すぐに対応してほしい。事故、災害等で通行止めの情報について、ヒッツFMなどにより、できるだけリアルタイムの情報を流してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・道路の脇の木も大きくなり、土手の草が伸びている。土手の周りは、やぶにならないよう整備していると、きれいであり、気持ちが良い、景観が観光客も喜んでくれる景観になると思う。158号線、156号線の道路の草刈り整備をお願いしたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・除雪問題はいつもあるが、通学路になっている道路など私道の主要道路は除雪してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・市街地より離れている市道の側面なども気にかけてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・小学生の通学路の雪かきがされていない。今まで何度も何度も電話をしたり訴えたりしたが、電話が来た日だけやる、という感じである。もう少し子育て世代目線で見てもらいたい。大切なのは高齢者へのサービスばかりではない。
<ul style="list-style-type: none"> ・江名子地区は街灯が少なく、夜道がとても危なく感じる。歩道の整備もお願いしたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・人道橋を、松本橋～不動橋(万人橋)の間に作っていただきたい。万人橋は高校生の自転車や送迎の車で混雑する。事故防止のためにも、防災のためにもなる。

<p>・児童センターなど子どもの遊び場がたくさんあるのはありがたい。ただ、市役所近くに住んでいるが、歩道のない道が本当に多い。道が狭く、事故も多く、今後子どもが歩くようになったときにはすごく不安である。駐車場も多く、道の途中からいきなり車が出て来るなど交通量も多い。また、古い町並付近などの排水路にグレーチングなどの蓋がされておらず、道が狭く歩道もないうえに落下の危険まである。雪が積もったら排水路が見えなくなり、危険である。ホテルなどの建物も多い場所で、見通しも悪い。他県から来た人が一方通行と分からずに逆走しているところも見かける。難しいとは思いますが、とにかく道路をどうにかしてほしい。安心して子どもが歩ける歩道をお願いしたい。それが今後増える高齢者の命も守ることになるのではないか。</p>
<p>・観光地の歩道は整備されているが、中心部から離れた場所の歩道はまだ段差があり、ヒヤヒヤする場所が多い。</p>
<p>・歩道について、ベビーカーで歩行していて、敷石がガタガタでスムーズに進めない所がある。歩道と歩道の間が、スロープになっていない。自転車専用の道路がないため、混雑すると危険である。</p>
<p>・市道の白線が薄くなっており、雨の日の夕方から夜、車道との境がわからないことがあった。トンネル内の白線がわからないことがある。交通事故防止のために早めの引き直しをしてほしい。</p>
<p>・散歩等がしにくく、危険な歩道を整備してほしい。観光客の交通マナーが悪い。人流をスムーズにできるような歩道を整備してほしい。</p>
<p>・夜、健康のためにウォーキングしているが、不動橋の西側に照明が足りないと感じる。歩行面の板が出張っている部分があり、少し怖い。大きな修理の際に欄干が少し高くなればありがたい。</p>
<p>・中部縦貫自動車道の早期全線開通をすすめてもらいたい(特に長野県側が遅い)。</p>
<p>・市街地の県道について、草刈りなどの管理がされておらず、道路上を水がずっと流れている場所が多々ある。利用が多いため、見かねて手を入れているが、なんとかならないか。</p>
<p>・中部縦貫自動車道の早期開通、安房峠道路の無料化をしてほしい。</p>
<p>・まちなかの除雪に力を入れてほしい。</p>
<p>・生活する中で不便さを感じていることは、コンビニ(24時間営業・ATMがある)がないこと、ガソリンが20分以上移動しなければ購入できないこと、買い物は1時間以上車で行かなければならないということである。道路を整備するなど、少しでも改善を考えてほしい。この地で住む人たちに何か恩恵をお願いしたい。</p>
<p>・歩道の整備(国分寺通り等)雪またじなど、国、県、市の管轄と言ってなかなか進まない。高山市には、県へのアクセスをスムーズにしてほしい。</p>
<p>・国府町広瀬～上広瀬で国道41号に出られる道が少なく、新広瀬橋以降は無いので不便である。旧41号との合流地点を右折可能にしてほしい。</p>
<p>・旧高山市以外の地域は、行き止まり集落が多い。特に高根地域は、どの集落とも道路が繋がっておらず、国道の通行止めが発生した場合には、完全に孤立してしまう。大古井周辺は、過去に何度か1週間ほどの通行止めがあった。そこを回避出来るように費用がかかるなら林道程度で良いため、道路整備を検討してほしい。「議員に頼めば、早く取り合ってくれる」と言う方もいるが、そういうことではなく、市民の意見を聴いて整備してほしい。</p>
<p>・子どもや高齢者など弱者にやさしい道路の整備として、国府町広瀬町の一安全な歩道一を取り上げてみる。歩道は、ブロック等でできている所は少なく、白線による区別が主である。車の風圧などを感じ、身に危険を感じる。旧国道(現県道)ではない市道(キンコツ道を含め)を活用整備して、支所、スーパー、医院等へ行けるようにすることも一案と考える。</p>
<p>・歩道の凍み上がりは何とかならないか。ガタガタ音がして歩きにくい。</p>
<p>・水がいつも流れ出していて歩行者、自転車、特に冬通行時危険な個所がある。山から流れ出る水と処理する水路があったら便利で安心である。また、草が大きく育ち通行する際にとても危険な場所がある。特に子どもや高齢者、散歩中の人が大変である。他にも私有地の道路端の草木が張りだし通りにくい道路が数か所あり、最近特に気になる。人口減少や高齢化などの影響もあるかと思うが、個人で行うのは限界があるので、共同で行うか、市等で率先して行動を促すなど対応してほしい。</p>
<p>・道路の白線を大至急補修してほしい。県外の車も多いので、歩道側よりも、まず交差点や観光地等をお願いしたい。道路で洗車したり遊んだりするマナーの悪い人がおり、とても困っている。トラブル防止のため、広報で注意してほしい(例えば、名古屋等にある無料洗車場があると良い)。</p>
<p>・積雪時の除雪の際にガードレール前の部分に残雪がある。新しく雪が降るとその上に雪が積もり、道幅が狭くなってしまいうため、何か方法はないか。</p>

・アンバーパスから駅西に行き、信号から左へバイパスに抜ける道の交通量が増えてきた。スムーズに行けるようにしてほしい。
・苔川改修工事に感謝している。松倉口橋から南へ進んで国道 41 号まで、車の通れるようにしてもらえないか。
・無駄な河川工事が多い(宮川)。

景観
・市内へのホテル参入が多く、従来の旅館業の方々の経営が困難となるとともに、景観を損うことから行政で規制できないか。
・景観まちづくりの一環として、無電柱化が既に一部の伝統的建造物群保存地区で実施されているが、他の周辺の住宅密集地においても同様の取り組みを提案する。無電柱化により地震、台風などの災害で電柱倒壊による被害を防止し、防災、停電、安全な道路確保、景観の保存などの利点があるものと思う。
・宿泊施設、住宅が多く建設されているが、人口に対して造り過ぎではないか。商売なので仕方ないが自然が壊されたり景観や高山の良い雰囲気なくなるのは嫌である。
・電柱の地中化をすすめてもらいたい。
・まちの変わり方が激しすぎて、どこを見てもホテルばかりで飛騨らしさがないことがさびしい。まちなかがホテルだらけで高山らしさなくなりこのままで大丈夫かと心配している。
・以前から思っているが、高山の町並みは、全般に暗いと思う。市営の建物はもちろん民間の大型店舗にも言えるが、この色使いの町並みでは市内全般に活気がなく、若者も暗くて陰気だと思っている。高山は伝統的建造物群保存地区指定されているが、市民の住んでいる場所と指定地区とは分けて物事を考えてもらいたい。例えば、市役所の場所は他の建築物と一緒に見ることはなく、暗くて何か死んでしまった感じであるため、明るい外壁にできたと思う。郊外的大型店舗の色使いは上手にできていると思うが、市庁舎の建築関連は充分配慮してほしい。今から工事が始まる問屋町の学校給食センターは充分に気を付けてもらいたい。まっ黒な色使いでは困る。
・いつもバイパスを利用しているが、老朽化した建物が通るたびに気になって仕方ない。障子はビリビリ、壁はポロポロで観光高山の名に恥ずかしくて仕方ない。持ち主に壊すなりしてもらえないか。
・問 2:18「郷土への誇り・愛着の醸成」と問 3:1-8「観光」、2-11「歴史文化」と市経済の間に大変な難しさを感じる。豊かな生活のための活性化を大切に思いながら、年々テーマパーク化・張りぼて化していく町並みを見ると、本当の意味での古き懐かしい風情は皮肉にも観光のポスター写真でしか味わえないような気がする。賑わい繁栄の陰で、市民生活の落ち着いた暮らしやすさが少しずつ押し縮められていくような気もする。大変難しい課題とは思いますが、繁栄とともに市民が自信を持てる本物の歴史・文化・町並みを保存し続けるようお願いしたい。
・ビルが立ち並んで高山の素朴さが失われつつあるため、とてもさみしい。外国人にはあまりきてほしくない。
・町内を外見だけでも美しく、他県の人に来てもらっても恥ずかしくない、道路にはみ出した庭木を切るなど、各家で美化運動を心掛けてほしい。

地球環境
・気候変動という大きな危機を目の前にしている。「成長」を前提とした施策はやがて破綻すると思う。観光依存度を下げていけるか。
・環境を保ちつつさらに、発展させてほしい。
・山林がたくさんある。木材を使った電力・温水等の確保やその電力を使った電気自動車の普及、公共機関の電力供給、温水を使った公共機関等の暖房など、石油等を使用しない脱炭素にふさわしいまちづくりをすすめてほしい。
・「自然環境の保全や自然エネルギーの活用をはじめ、地球環境を守る取組みが進んでいると感じますか」という問いについて、世界中の関心事であるし、近い将来もっと大きな問題になると思う。ぜひ、積極的に取り組みをすすめてほしい。既に遅いと思っている。
・後期高齢者ともなると、体調の悪い所ばかりが増えて、自分で身を守っていくのがやっとなり、身近な事には関心があっても、あまりほかの地域の方まで気持ちが行き届かないが、私としては、地球温暖化について1つでも協力できることがあれば心がけている。

防災

- ・大雨による災害が毎年あるため、河川の整備をすすめ、安心して暮らせるようにしてもらいたい。
- ・自然災害が増えており、もう少し安心して暮らせる環境整備をしてほしい。高齢者ばかりのまちなので大変なことにならないか心配である。子ども達が夢を持ち生き生きと生活できるまちになってほしい。
- ・震度 4 の飛騨地方を震源とする地震があった。ドンという音、何だろうと思いテレビを見てもニュースも出ず、9 時すぎに出ましたが、場所×と示しただけではどこか分からない。地震が起こった場所や被害の状況などケーブル TV で臨時ニュースを流すことができないか。
- ・飛騨地方で震度 4 の地震が発生した。TVなどで震度 4 と放映されると県外の方たちは高山で 4 と見ると旧高山市とってしまう。その時には東西南北を示すことができれば、県外の方も納得されると思う。
- ・高校卒業まで高山で過ごし、定年を機に高山に戻ってきたが、40 年余りが経過し、実家周辺は空き家が目立ち、少子高齢化が進んでいることを肌で感じる。日常的に全国各地で自然災害が発生するようになり、そのたびに避難指示等がよく出されているが、今、避難指示が出た場合、どこへ避難するのか、家族で時々話題になる。母は高山陣屋前広場が避難場所だと言うが、台風や大雨の時の避難場所が野外のほうはない。ハザードマップも知らない。多くの高齢者はこの程度の認識ではないかと思う。広報では今年の総合防災訓練の中止と、自宅でのシェイクアウト訓練の実践についての記載があるのみである。今まで大きな地震や豪雨災害などの発生がないため、住民の意識もまだまだ対岸の火事である。自然災害が発生した時、又は発生のおそれがある場合、高齢者やその家族はどういう行動をとり、どこへ避難すればよいかなどの情報を繰り返し広報してほしい。
- ・町内会に入っていない人には回覧板が回らないので、情報が平等に伝わっていないところがあると感じる。市でのアナウンスがよく行われているが聞こえにくいので、スピーカー増設等あるとうれしい。対策については分からないが、近年雨が多く土砂崩れや浸水などの不安がある。災害がおこる前に危ないところは早めに対策してほしい。
- ・防災放送が何を言っているのかまったく聞き取れない。
- ・無線が、反響しすぎて聞きとりにくい。
- ・災害に強い安全安心のまちづくりを推進することが魅力あるまちになることに繋がると思う。

安全

- ・市内の繁華街以外は、街路灯がなく、暗く、防犯上危険を感じることから、街路灯を設置し、夜間でも安心して歩けるようにしてほしい。また、外国人の方をはじめ他府県から多くの観光客がくるが、そこには犯罪等の発生も見え隠れしており、画像が残っていれば、その画像を元に犯人検挙に繋がることから、予算等かかると思うが、市内の防犯カメラ設置をお願いしたい。
- ・直線の道路で 30 kmの制限速度の標識が 1 本ある場所があるが、かなりのスピードで車が往来している。対応してもらいたい。
- ・朝は車のスピードが出しすぎではないかと感じることがたびたびある。朝は忙しく大変だろうが、ゴミ出しなどがある日は怖いと思うことがある。お互いに気を付けてほしい。
- ・交通事故を防ぐ取り締まりは理解できるが、点数稼ぎのようなものは不快でしかない(隠れて捕まえるより表に立って防ぐ活動の方が良い)。免許更新の協力金も強制感がある。信頼が薄れる。

消防

- ・消防やスポーツ推進員等、活動費を助成しているが、個人の持ち出しで活動(運営)しているため、手元に残りにくい。ほぼ奉仕活動のような状態になっている。仕事も休まなければいけない人もいるため、活動(運営)費は市で負担して、役員になった人には手元にお金が残るようにしてほしい。担い手もおらず、今は仕方なくやっているが、奉仕だけではやっていけない時代であるため、次にやってもらえる人がいなくなる(個人は個人へ、活動団体にも助成してほしい。持ち出しは、まち協費では出せないと言われている)。厳しい時代だと思うが少しでも考えてほしい。

行財政運営

- ・会計年度任用職員の高齢者雇用への拡大がされていない。

<ul style="list-style-type: none"> ・観光、商業振興は事業者の経営に委ねるべきで、行政は最小限に留めるべき。
<ul style="list-style-type: none"> ・支所にもっと権限を持たせるべき。現状では財源も権限もなく、何もできない。本来、市(支所)でやるべきことをまち協に押し付けている感があり、それで市の職員削減を自慢しても意味がない。ボランティア活動と、民間人をただ働きさせるのを混同していないか。
<ul style="list-style-type: none"> ・観光に力を入れすぎだ。
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の活性化を図るために今以上に公共の場を増やすことや、県外からの観光客も非常に多いといった視点でも、また来たいと思えるような刺激のあるまちづくりにして行けたら良いと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・今回アンケート調査に当たり回答には送られてきた書面の通り 15 分程の回答時間がかかりましたが、そちらにあたる時間の確保などを含めると 15 分以上の時間を要します。無作為のアンケートであり回答者の特定もできないとのことから簡単にはできないことかもしれないが、無償で 15 分以上の時間を使うことから、アンケートの回答率にも影響があると思う。何かしらの形での報酬等があれば回答率の向上やその他の面においてもメリットがあると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・書類に記載の専用 ID を入力した際、“正しい整数を入力してください”とエラーが出た。それであれば書類の記載も 0 を削除し、再入力の手間を省くべきである。依頼しているアンケートであるなら尚更である。
<ul style="list-style-type: none"> ・支所対応が良くないと思う。依頼したことに対して、返答が無い、返答があってもいつまでに実施なのか回答が無いなど、全く対応が出来ていない。対応に閉塞感・スピードの無さを感じる。
<ul style="list-style-type: none"> ・今後、税収増が見込めず、高齢化が急速に進む高山市において、ライフライン以外の施設については、維持管理、機能更新に多く費用がかかる場合、廃止する決断も必要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・市長は何をしているのか。
<ul style="list-style-type: none"> ・高山市内中心の活動が多くみられる。郊外にも目を向けてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・回答として『分からない』があると良いかもしれないと思う。必ずどれかを選ばなければならないので分からない人間は適当に選んでしまい、せっかくちゃんと回答された集計結果を乱してしまうし、また、例えば『この辺りは「分からない」の回答が多い』というような結果が出れば、それはそれで重要な調査結果となると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・高山市は観光産業が充実しており、住みやすく誇り高いまちである。しかし、コロナ対策については、まだ対応が遅れていたり、対策が進んでいない場面が見受けられた。少しでも早く改善してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・市政運営について、平時は特に問題ないと思うが、緊急時(新型コロナ含む)に迅速、臨機応変に対応する力が弱いように思った。新型コロナ関係(対策やワクチン接種の予約方法等)についても、後手後手に回っている印象である。市職員も大変かと思うが、もう少し市民の立場に立った対応をお願いしたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・支所地域は市内と考え方にずれがあると思う。生活環境が違うため当然と思うが、地域と市内(支所)と繋がる人材がいると嬉しい。支所にいるのではなくて、地域を巡回して話しを聞いて、掛け合ってくれる人がほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・市の職員の熱意があまり感じられないことが多々ある。隣の市と比べて、もう少し頑張ってもらいたいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・市長の毎日行動が市民に分かるようなお知らせ(新聞の片すみに記述するなど)があると、市長が今何をして何をしようとしているかがよく解る。今だと市長は何をしているのかよく分からない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ムダな金は使わず効率的な運営をしてもらいたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・観光業で成り立っていた経済は、この新型コロナのため不況に落ち込んでいる。観光だけでなく他の部門に力を入れないとまちづくりに力を入れることが出来なくなる。ただでさえ、若者に魅力がなく、少子化もあり、高齢者ばかりで、生活の先が見通せないような状況であり、今日の生活に対する心配が絶えない。以前は大きな災害もない地域だったが、近年は少しの雨でもすぐ災害レベルが 4 で避難指示が出るようになってしまった。安心して生活でき、経済的にも潤っており、補修工事等もすぐ行ってもらえる、高齢となっても福祉が充実していて何の心配もないと言われるような市にしてほしい。人口の割に、公務員の数が多く、大した仕事をしていない公務員が多いと感じる。コロナワクチンのアルバイトが時給 5,000 円と聞いたが言語道断である。使うべき所に税金を使い、経済の活性化に力を入れ、住み良い高山市にしてほしいと常日頃から感じる。
<ul style="list-style-type: none"> ・高山市の取り組みについて満足度は充分あると感じている。各設問の項目の中には具体的な答えを持つことができないものがあり、情報の入手不足か、関わりの薄いものには無視したものもある。全てを満足することは出来ないことだが、基本的な情報に対する広報が大事と思う。

<p>・市職員の活性化について、市役所と金融機関が市内の優良で安直な就職先となっており、市役所内の人事活性化を図るためには、外部(地元以外)からの人材登用が必要だと思う(幹部職員を含む)。</p>
<p>・「決められない市」の汚名を返上すべきである。新火葬場、増設ごみ処理場などの懸案事項が未だに結論に至っていない。大勢のメンバーで組織した協議会もあまり意味がなかった感がある。早く決定してもらいたい。</p>
<p>・何かにつけて飛騨市に遅れを取っている。市役所に行っても職員があいさつもできず、誰がきたのかというような顔をする。全然教育されていないため、もっと職員の教育を徹底せよ。</p>
<p>・高齢者から子どもまでが楽しめるイベントを企画するとき、市が関わる場所には許可が必要になると、一気に規約が厳しく、やりたいことがなかなかできない。もっと主催者の意見を聞いてほしい。相談すると、新しいことをやりたいのに、昔からのやり方や規則だからと相手にもされない。もっと市民のやりたい事の意見をフラットに聞いてはどうか。市役所職員が家族と一緒にいたいのに、災害が起こった時は市民のために家族を犠牲にしていることを知っている。よく「公務員はいい」と言う人がいるが、私は全く「いい」と思わない。大変で、ストレスと戦っているのも知っている。日々苦勞されており、ありがたいと思っている。時々、見下した態度で話を聞いたりされる方に訴えたい。市役所を頼りにしているので、もう少し耳を傾けてほしい。もっと高山市を市民と一緒に高めたいと思っている。</p>
<p>・支所窓口は丁寧な対応で感謝している。先日ある問題で職員に相談したら「それは市の管轄ではないので個人でそちらへ相談してください」と言われた。私は個人で相談するよりも、市から県へ依頼して調査してほしいとお願いしたが、市からだ時間もかかり、むしろ個人の方が良い結果が得られると、そっけない対応であった。話の内容もよく聞かないで、もう少し市民のための職員であってほしい。このことは個人の問題でなく、危険で早急に対応してほしい内容だった。今後とも高山市発展のため、全職員力を合わせて尽力してほしい。</p>
<p>・高山は観光が重要だということは分かるが、観光ばかりに力を入れていると思う。まわりの人もそういう意見を持っている人が多い。例えば火葬場に関して、半分あきらめている市民が多いのではないか。岐阜や大垣はまちなかに近いところに火葬場がある。あまり郊外にこだわらなくてもいいのではないかと思う。住民にも順序立てて説明すれば理解してもらえるのではないかと思う。</p>
<p>・まちづくり、まちづくりと言われているが、何をもって言っているのか感じることがない。市職員の教育(態度が悪い、何か聞いてもバカにした返答をする、言葉使いもなってない)をもう少し変えてくれないとついていけない。</p>
<p>・ゴミ処理場、火葬場等もっと強く進むべき。市民の意見を聞きすぎると船頭多くして舟山に登る事になりかねないと思う。</p>
<p>・今の世の中、5年も過ぎれば大きく変わる。そんななか火葬場は前からの問題なのに、いくらなんでも決断がなすすぎる。私が仕事をしている頃、意見をというので書いたのにその市議は質問もしなかった。ゴミの焼却場でもそうである。何をしても反対するものはいるものだが、少数の意見を説得もできない市長なんていない。リーダーは決断力が第一だ。東京の小池知事は築地市場の移転について、文句をつけて、金を使って、最後は豊洲にした。そんな他人の真似はいらない。こんな決断のないところに大きな災害が起きたらどうするのだろうと心配になる。空き家、またはゴミ屋敷、放置されるなど、ポロポロの田畑、これはまちを離れることによる問題である。市で農業をする若者を雇って、少しはマイナスになっても、田をまとめていけば、残すだけで大きなプラスになる。空き家をシェアハウスに変えるなど考えられる。</p>
<p>・高山市全体を俯瞰してまちづくりをすること、どういうまちにしたいという熱意と、このままだったらどうなっていくだろうという冷静な分析、そこにビジョンが生まれる。頑張って、頭つかって、市政に取り組んでいてもらいたい。</p>
<p>・各分野に関して様々なイベントや事業などでいろいろ考えて頑張っていると感じることは日々ある。表れている結果としてもう一声、浸透、広がってほしいと願う。未来のために現状から一歩踏み出したいと思っても、現在が立ち行かなくなる恐れで縛られて、結局変えられない、といったジレンマを自身にも周囲にも感じる。そういった不安を払拭し、背中を押してくれるような支援、政策が行われることを願う。</p>
<p>・今はまち協からの陳情も窓口で門前払いしている案件があり、なかなか改善されていないケースがみられる。調査くらいしてもいいのではないか。</p>
<p>・ひとり親にやさしくしてほしい。市の手続きにいろんなところに行かなくてはいけなくて大変である。</p>

<p>・仕事でよく市役所に行くが、雨の日にベビーカーに子どもを乗せ、傘をさして立体駐車場から出てくる母親を見て、とても大変そうだった。おそらく1F、2Fに車を停めたかったのに、車がいっぱいだったのだと思う。市役所内にはそんなに人はいなかったのに、なぜ車だけがいっぱいだったのか。コロナ禍で観光客ということもないだろうに考えたが、その日は議会があったので、もしかして議員の車でいっぱいになってしまったのではないか。市の車もある。雨の日でもその日にしか用事に来られない小さい子どもを連れ親や高齢者のために、1F、2Fを空けられないか。どんなに議会で議論しても、しっかりやっていますと言われても、そういった小さな心配りができていないと何の説得力もない。</p>
<p>・本庁内での組織の横のつながりが無い。</p>
<p>・市の職員はそれぞれよくやっていると思う。一方で、それぞれの課の壁はなかなか高く、課と課との協働について少しずつ努力していると思うが、市民から見ると時に「たらい回し」の感じを受けることがある。SDGsのパートナーシップとか協働のまちづくりならぬ協働の市役所づくりをさらに進めてほしいと切に願う。</p>
<p>・市のホームページにおくやみ情報をのせてほしい。年齢を重ねるにつれて、情報が入りにくくなっている。いつでもパソコンで確認できるようにしてほしい。飛騨市ではホームページにのっている。</p>
<p>・もっと様々な情報を発信してほしい。</p>
<p>・一生懸命取り組んでも、予算やマンパワーの面で十分でない面もある。でもゆったり、ポチポチ、山里の良いところを取り入れ、がんばらない行政というのも必要かと思う。子どもの遊び場など個人所有の土地などを使わせてもらえるような場合は、標識などを買う費用を助成するなど検討してほしい。</p>
<p>・予算編成を含め行政全般的に、今のコロナのような、いざというときに対応ができるようなことを考えることを望む。まずは市民一人一人が日々の生活の中で「今日一日幸せに暮らせた」と思えるような(一部の人だけでなく市民全員が)市であってほしい。様々なイベントや企画をしても、一人一人の生活基盤がしっかりしていないと住みやすい高山市とは言えない。予算についても、まずは市民が充実した生活ができるような、贅沢ではなく、ごく一般的な日常の幸せを感じられるような、そして経済格差がなく普通でいいので「今日一日がいい日だった、幸せだった」と感じられるよう、まずは人(生活基盤)にお金を使ってほしい。それらが成り立ってこそ、観光などを含めた経済的にも豊かな市になるのではないかと。ごく一般的な一人一人の生活基盤を第一に考えていけば、極端な例えだが、自ら命をなくす人もなくなっていくと思う。</p>
<p>・市民が「日本一住みやすいまち」であると思えるようなまちづくりを目指す気概を見せてほしい。最近、友人・知人との会話の中で共通する意見は、行政、議員への期待感が持てないということである。紙切れ1枚の印刷物で市民が安心できるのか納得できるのか行動できるのか疑問である。市民に寄り添っていない。市民の心がほっこりするような内容が盛り込まれていない。自己満足のひとり歩きをしているような気がする。企業誘致、新たな事業の立ち上げ等経済が活性化すれば、まちも活気が出てみんなの喜ぶ住みやすいまちになっていく。まち協の活動ははっきり言って無駄が多い。具体例として、市街地の側溝工事、予算の関係とかで一つの通りを2年3年に分けてやっている。重機の運搬、工事の効率を考えると、素人でも無駄な税金つかっていると分かる。ある町内会長が数年程度なら待つから一気に工事してほしいと要望を出したそうだが、聞き入れてもらえなかったようだ。せめてもっと柔軟な対応をしてほしい。中身あるまちづくりをお願いしたい。私は今の行政には失望している。</p>
<p>・高山市民のためにたくさんの取り組みを考え、行動していることに感謝している。私は自営業者だが、高山市は特に観光に力が入っていると感じており、以前より地元より観光客重視していると思っている。今、コロナ禍のなか、やはり地元のお客様が大切だと感じる。観光にかかわる方は優先され、高山市に住んでいる住民のより良い生活のために働いている私達にしたら少し不公平を感じている。私達のような小さな経営者は期待せずに、自分たちのやり方で地元の人々にただ喜んでもらえることを考え、お客様も私達もプラスに働くことに努めていく。医療に関しても、数年前に主人は他県のかかりつけ医を見つけるよう言われ、3ヶ月に1度通院しており、もっと医療に力を入れてほしい。安心して住めるまちかと言うと決してそうは思っていない。まずはこの高山市の人々のための取り組みをお願いしたい。観光ばかりの収益ではなく、市民がうるおう収益の方法も考えていただきたい。</p>
<p>・高山市は何事も少し遅れがちのところが多く、前に進むことをお願いしたい。</p>
<p>・市のコロナ対策がない。水道・税金が高い。市職員は特にいない。市施設がない。</p>

<p>・建設業に携わっているが、災害復旧等が起きた時の対応の遅さ、公共工事などの工事費の無駄遣いを感じる事が多くある。観光産業に熱心なのは結構だが、建設業をもっと盛り上げていくのが、経済全体の底上げになると思っており、今一度考えていただきたい。</p>
<p>・まちづくり協議会の行事などは良くなっている。市の対応について手続きなどで手間取るときがある。時間がかかる場合は経過や時期を知らせてほしい。</p>
<p>・「どのようなことに重点的に取り組むべきか」というアンケートの間について、重点的にというのが、意味がわかりにくい。すべてが重要すぎて3個では足りないけれど、重点的にというのは人や金、時間すべてのことに優先順位を付けるということか。</p>
<p>・本庁以外の支所が、静かで元気がない。支所＋〇〇などをして、市役所に用事がなくても、今日は〇〇のイベントがあるからと、そんな感じで、支所の活性化をしてほしい。</p>
<p>・新型コロナワクチン接種の対応が遅すぎる。予約方法も不平等で不信感がある。母子家庭に対してお金使いすぎ(出しすぎ)である。本当に大変な人(死別とかDVとか)に使うべきだ。</p>
<p>・オンライン、ITに力をいれてほしい。</p>
<p>・昨年7月の豪雨で災害にあい、支所へ連絡したが見てもらえない。なにもやってもらえない。</p>
<p>・市職員は身内採用と良く聞かため、平等に市民のため、市の発展に励んで下さる方を採用するようにしてもらいたい。</p>
<p>・市内にホテルが建ちすぎ、観光に力入れすぎである。私の子どもの頃から全く変わってない市民プールをもっときれいにするなど、子ども達にもっと遊べる施設がほしい。医師不足を解消してほしい。信頼できる医療機関(小児科医)が少ない。飛騨市みたいにもっと障がい者や発達障がいなどの人々が学べる場所や仕事場やバリアフリーなどに力を入れたらどうか。観光客ばかりでなく子ども、高齢者、障がい者に住みよいまちづくりをすすめてほしい。</p>
<p>・市役所の業務の縦割りは分かるが、親が死亡した場合、死亡届を提出したら関係する書類を渡してくれるなど、横との連携もしてほしい。</p>
<p>・高山市は観光や外国人誘致に力を入れているが、他には力を入れているように見えない。新型コロナウイルスワクチン対応も全然なっていない。市長は市民のことを考えてやってもらいたい。飛騨市長のように、市民に寄り添った政治をして、市民が暮らしやすいようにしてほしい。</p>
<p>・市長が何をどう考えているのか、何がしたいのか、全く市民には伝わっていない。観光重視の考えより、市民重視の市政を行っていただきたい。無駄な税金を使用していただきたい。飛騨市長のように市民に寄り添った市政、市民の声をもっと聞いていただきたい。これからの子どもたちのための市にしていきたい。市民あってのまちづくりである。まずは市民重視でないと市民の協力は得られない。次期市長に期待する。ビッグアリーナが閉館中にハンドボールのリーグ戦が行われたのは、いくら無観客であっても小中高の子どもたちは我慢しているなかで、閉館中なのにおかしい。市民に説明してもらいたい。</p>
<p>・コロナ禍で一人一人がバラバラになり、つながれる環境が少なくなっているなかで、市の取り組みがしっかりなされていないように思う。職員を減らしている中で公園の整備など、撤去する方向ではなく積極的に整備することを望む。ジェンダー視点で、学校のトイレに生理用品を置いてあるということだが、個室に置くことや災害対策備蓄品で出していると思うが、なくなったら予算をつけてどんどん配置してほしい。トイレットペーパーのように生理用品があると嬉しい。私達も今やっどジェンダーの視点でみるということを学べた。たくさんの職員にジェンダーを学んでもらえるとうれしい。それが一人一人が大切にされるということになるのではないかな。</p>
<p>・若者が市を出て行っても、そうでなくても、高山市で育ったことを残念に思わないように、子どもに予算を使ってほしい。様々な子どもの利益を考えると、様々な立場の人々の利益を考えるとつながってくると思う。観光業の落ち込みなど苦しい部分もあるだろうが、未来のための投資を削らず、頑張ってもらいたい。</p>
<p>・近年災害が多く大変だと思うが、よくやっていると思う。使用していない市道の復旧よりも、もっとやる事があるのではないかな。本当に市民が必要とするところへお金をつかってほしい。人口が多いということもあるが、下呂や飛騨市の方が早くワクチンが終わったり、もっと頑張るところもあると思う。笑顔あふれる高山市を目指して頑張ってもらいたい。</p>
<p>・15年ほど難病で苦しむ家族を看病して生活している。福祉や医療では大変お世話になったり、助けていただいたりしているが、この先の心配は沢山あり、今後も助けていただくことばかりである。農産業のこと、畜産のこと、商業のこと等これまで自分なりに見聞きしたことの中で答えたが、私たちのような市民にもわかりやすい市政になるようお願いしたい。</p>

<p>・今の市の施策は本当に地域住民の事を考えてやっているのか、という声をよく耳にする。私もそう思う。特にこの10年高山の魅力が薄らいでいる気がする。以前高校生のアンケートで「将来高山に帰って来る気はない」という声も多く聞かれた。将来の高山を背負ってくれる若者の声は重要である。私は市の施策の方向性の偏りがあるのではないかと感じている。例えば、地産地消は農業だけでなく、あらゆる分野における基である。それがないがしろになっている気がする。確かに観光客増大により一部は所得も向上しているが、観光産業で生み出した所得の多くが市外へ流れている状況の中で、観光一辺倒で良いのか。その他の産業への施策をいろいろ講じていると言われるかもしれないが、トップの方の言動からは、つついそうってしまう。地方自治の本旨は、「住民の福祉の増進に努めるとともに最小の経費で最大の効果を挙げること」と伺ったことがあるが、一般市民が住んでいて楽しい過ごしやすと思えるようなまちづくりに邁進していただく事を切に願う。</p>
<p>・市街地以外の過疎化がすすんでいるため対策してほしい。</p>
<p>・アンケートについて、コロナ禍で「【商業】個性・魅力ある商店経営が行われ、商業が活性化している」「【観光】観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」「【海外戦略】外国人で市内がにぎわい、海外との人や物の交流が進んでいる」のような質問は理解できない。私だけかもしれないが、答えられない設問がある。「わからない」という選択肢があってもよいのではないかと。アンケートで意見を求めるなら、関係部署で意見を集約され回答をいただきたい。</p>
<p>・全ての人々が満足する行政を行うことは難しいと思っているので、このアンケートを回答するまでは考えたことがなかった。</p>
<p>・兄が岐阜市で亡くなり手続き書類の時に、市の窓口で岐阜市役所までいかないと言われたが、岐阜市役所に行って郵送で書類が出せると知った。なぜ調べもしないで行ってと言うのか。岐阜県内では手続き可能な市もあるようなので、高山でも対応してほしい。高山みたいに門前払いせず、岐阜市役所の職員は対応がやさしく、いろいろと方法を教えてくれた。</p>
<p>・市議会議員の働きがいまいち目に見えてこない。議員と語る会をやっても以前はまるで行政側に立ったような回答だったし、去年は市民サイドで議員が話しているようになったと感じた。また、話し合ったことへのその後の回答、対応などが地域に戻ってこない。申し訳ないが、議員への期待度はかなり低いと感じる。しかし給料の額の多さに不満を持つ市民も多いと思う。思い切った議員定数の削減を進めてほしい。</p>
<p>・しっかりした市議会議員を市民に選んでほしい。市のためにちゃんと動いているのか不安な人がいる。市の仕事できない人になってほしくない、やめるべきだ。やめてほしい。今すぐにでもと思う人がいる。</p>
<p>・市議会議員定数の削減を早急にされたい。</p>
<p>・有意義でスピーディーに市議会を進行してほしい。</p>
<p>・「協働」まちづくり協議会のお陰で市民の声が市に届くようになった。逆に、市議会議員の役目が減った。是非、人数を半分にしてほしい。</p>

<p>若者</p>
<p>・若者が、帰って来たいと思えるまちにしてほしい。優秀な人材が大学等進学して帰ってこない、ではなく高山に残れる、残す環境を作してほしい。</p>
<p>・観光に力を入れて経済を回す事も大切だが高齢化が進んでいる現在、若者が定住したいと思えるまち、就労の場をつくってほしい。</p>
<p>・若者が働けるような雇用の確保、Uターン支援制度の充実、観光客よりも地域住民が楽しめる映画館が備わった施設などが必要である。</p>
<p>・若者が高山に残りたいと思える市にしてほしい。娯楽が少ないし、今時の若者は可哀想である。都会に出ていく、帰って来ないのは当然だと思う。</p>
<p>・高山に戻ってきたくても戻れない、戻る気にならない、地元を離れていった同年代の人に、アンケートをとってはどうか。地元に残った人だけでなく、地元を去った人達の本音を聞くと参考になると思う。これ以上、若い人がいなくなったら高山市に未来はない。インターネットが発達したため、都会でなくても都会並みに稼ぐこともできるようになった。情報関係の起業を支援するなど、有能な若い人を呼び戻すこともできるかもしれない。まだ様々なことができると思う。</p>
<p>・高山から離れてしまった若者が戻ってきたいと思うようなまちづくりをしてほしい。商業施設やレジャースポットなど普段楽しめるような場所を増やしてほしい。</p>

<p>・高山で育った若者は市外に出て戻ってこない。この原因として雇用がないという現状があると思われる。高山がほかの地域と比べて多いこと森林資源を生かす事業をもっと展開していかなくてはいいけない。バイオマス発電や木材から紙製品を作る工場、これらをすすめていくことで地元の林業も活性化するとともに、これから起こるかもしれない大災害で高山が孤立したとしても高山で発電していくことができることが大切ではないか。ゴミの分別にしてもほかの地域よりは分別していると思うが、もっと徹底した分別によるクリーンなまちのモデルとなるような市にしてほしい。市長には市民のために様々な取り組みをしていただき感謝している。</p>
<p>・高山市が近隣町村と合併して人口 10 万近い小都市になったが、10 年余りで 7 万余りの市になった。高山市からの「流出」を止めるためには、若者が高山で暮らせる環境をつくることにあると思うが、今「飛騨高山大学」の行動はあるようだが、そこを出た人が仕事を求めて都市に出て行くようでは「流出」は止められない。人口構成からみて、「老人」または「若者」だけに片寄せた地域には将来がないのではないかと。ここにも「新しい生き方」を創出する必要があると考える。</p>
<p>・公立高校性の通学、行事等を真剣に取り組んでもらいたい。</p>
<p>・大学進学費用補助等があるとありがたい。高山市での子どもの大学進学は、必ず下宿代もかかるので家庭の負担は大きい。また、外に出た子ども達が就職の際に戻ってきやすい制度があると良いと思う。</p>
<p>・孫が大学を卒業して、高山に帰省し就職しているが、「高山には、娯楽施設が少ない」といつも口にしていて。都会に出て行くような気がして日々ビクビクしている。コロナ禍になって、ますます観光の高山などと、言ってもらえない現状である。このままでは、高齢化社会の高山になってしまう。まずは、大企業を増やし、若者があこがれる高山に発展することを、節に願う。</p>
<p>・どこへ行っても若い人達が見られず、若い人達が沢山いてくれることを願っている。高山で働く所があまりなく、働ける場所がたくさんほしい。このままだと私たちがいる場所もなくなると思う。</p>
<p>・観光に力を入れることも大切だが、若者が高山市から流出するのを防ぐことも大切である。しかし、現状は高校を卒業すると進学のために出て行ってしまふ。高山市から出て行かなくてもいいように、大学や専門学校があると良いと思う。またそれに伴って魅力ある働ける場所がもっと増えれば良いと思う。大型商業施設なんかがあれば、老若男女問わず遊べるし、またそこで雇用も生まれる。とにかく若い人達が流出していかないまちづくりをお願いしたい。空き家も目立つので活用する等して景観をよくしてもらいたい。</p>
<p>・他県に進学している若い人達がまたこの町、村に帰って来たいと思う環境になれば良いと思う。都市に出て行って帰って来ない若い人達が多いと思うことがある。駅前の商店街もシャッターが開いていない店が多くなっている。今住んでいる所は、車がなければ生活できないため、車の必要性を考えるが、高齢になっていつまでも運転出来るとか考えると心配である。独身の若い方が多くいる。出会う所がないと言われる。車から職場へ移動するだけの生活で職場の人しか接する事がないように思える。</p>
<p>・子どもが県外などに出て親世代だけが住んでおり、その後空き家になるパターンが多い。雪が多い時も、屋根の雪がそのまま近所の人心配するけど他人の家の屋根なので見守るしかない。ひどい空き家は窓が開いたままの所もある。特にまちなかで家が密接していて、屋根が重なりあっている所は、自分の屋根に雪やつららが落ちてきて危ないため、空家の屋根や家の前の雪をよける手間をかけている。人手がどんどん少なくなるため、町内の役が毎年まわってくる町内会や班もある。特にサービス業で土日は休めない人は、土日に出なければならぬ役を無理やりやらされるパターンもある。町内会から籍を外したいと言う人もいる。大きな町内と小さな町内の住民への負担が違いすぎる。各まち協と市でその状況を調査し、話し合い、人手の少ない町内会へ役の負担が少なくなるよう取り決めをしてほしい。古い考えのまち協のトップだけでは、なかなか変わる(変える)ことが出来ない。あとは命のバトン調査票が全く役にたっていない。高山は、観光都市だが、それに頼りすぎていて、コロナ禍の今どうにもならない状況になっている。他の産業がもっと活性化しないか。昔からそうだが、賃金が安い割には、アパートが高く、交通の便が悪いから車が必要となっている。頑張っている企業も沢山あるが、高山から出て行く若者の気持ちも分かる。</p>
<p>・隣近所に子どもの姿なく声もせずこれからどうなるのか心配である。一人ずつ減っていくことが心配である。若者の結婚について何とかならないか。</p>

<p>その他</p>
<p>・コロナが収まらないことには、何もできない。</p>

・コロナワクチンの対応が遅く、周辺地域との格差がみられる。
・コロナでの打撃が大きいですが、乗り越えられるように願う。
・現在、大学の勉強のため他県にいますが、将来は地元に戻って地域に貢献したいと思っている。私にとっては、そう思える地元高山である。人もまちも暖かく、住みやすく、居るだけで安心できる高山が大好きである。私がそう思えるのは、周りの人や環境、そして、高山のために働いてみえる多くの方々のおかげだと思っている。感謝の気持ちでいっぱいである。今度は私がおその立場になって支えていけるように、目標に向かって頑張っていきたい。これからも、今の高山でありますように、そして、もっと素敵なまちになっていきますように、願っている。
・市民が憩える場所を作ってほしい。
・現在のコロナ禍においては本当にシュールな状況が続いている。特に子どもに関して、マスクは厚労省ならびに WHO ではマスクは何の意味がないと提唱しているにもかかわらず半強制のようにマスクをさせるのはいかがなものか、疑問をもたざるを得ない。緊急事態宣言にしても、何故高山も一緒になってその宣言をする必要があるのかまったく理解できない。PCR の陽性者を感染者とする国の方針は全く間違った施策であり、発明者のキャリーマリス氏はこの検査は絶対に使ってはならぬと言って他界しているのになぜ使うのか。そもそもなぜ酒の提供はだめで、歯医者では飛沫が飛びまくっているのに感染者がでず、閉鎖もされないのか。市ならびに県、国の国民いじめともいう政策に断固反対する。特に市長には強い憤りと強い不信感がある。一刻も早く市民いじめの政策をやめなさい。
・高山市は住み良い地域と思う。
・コロナでまだまだ世の中が不安なことだらけだが、高山市が1日も早く平穩に過ごせる市になる様に願う。
・高山の自然環境や観光施設にあこがれている都会の若い夫婦や子ども連れの夫婦等を対象に、移住者が多く高山に来ていただけるよう、住居、仕事等整えて、人口を増やしてほしい。高齢者ばかりの高山になってしまうのを心配している。
・どんな人でも参加できるイベントもっと増やしてほしい。参加している人はいつも一緒に話がしにくい。
・支所地域に住んでいるので観光客は通り過ぎるだけである。他の地区との交流もなく、支所の人の顔も見えない感じがする。合併の時に感じていたことがさらにすすんでいく気がする。市街地には買い物、医者通い、子ども達の仕事場があるが、文化芸術の鑑賞は関心があっても参加しにくい。
・子育てや生活できる環境とはとても思えない。病院までは車で1時間、公園は近くにない、子どもは1~2人くらい、観光地としての魅力は多くあると思うが、生活していくにはどうしてもほかの地域で考えてしまう。また雇用を促進していくうえでも、この不便な地域では人材確保が年々難しくなっている。特に働きに来る方はバス代が高いことや、買い物や病院に行くのも丸一日かかってしまうことがよく言われる。せめてこちらで働いている人はバス代を安くできるようにしていただけるとありがたい。
・市内と市外に住む環境によって日常生活が異なるが、遠方に足を運んでまで活動、学び、健康維持などができない。身近で行動できるように考慮してほしい。
・山間地のこれからが心配である。人のいなくなる集落が増えてきており、将来地元を守ることが出来るか心配である。
・市役所及び市内公衆トイレにオストメイト専用のトイレも設置してほしい。市役所1階にあるトイレはオストメイト用として情けないものである。とてもバリアフリーとはいえない。
・高山市の市政運営について、まちづくりをするのも住民であり人々であるため「やさしく勤勉で正直な人々」が仲良く取り組むことが出来れば素晴らしいまちづくりが成就すると思う。基本である人々の心の持ち方が一番大切であると思うため、その点に重点を置きこれからの行政に取り組んでいただきたい。本来の日本人の持っている「神を拝み先祖を敬う」この精神を失ってしまうと人として様々な問題が起こってくることになる。まずは日本人の本来の精神を身につける教育が必要ではないか。他の地方と比べて高山にはこの精神を身につけている人が多い。これを子ども達にもしっかりと受け継いでほしい。
・映画館がほしい。
・班の中にある一軒の空き家が住んでいた人が亡くなり、何年も経っているが、草は伸び放題、家もその時のままになっている。市でどうかしてほしいと思っている。

<p>・高齢者ドライバーの運転がひどすぎる。免許に対する考え方を議論してほしい。子どもの通学時何度も危険な思いをしている。しかも自分たちは悪くないの一点張りであるため、更新制度を改め、斬新な補償で返納率を上げてほしい。</p>
<p>・今はコロナ、コロナでどこにも行けない。私の心配は、子どもが話もできない給食もだまって食べないといけないなどで、あいさつもできない子どもとならないように、なんとか早くコロナが収まることを願う。</p>
<p>・交通が不便であるため、災害を早く復旧してほしい。</p>
<p>・行政による結婚支援はできないか。周囲に結婚を希望している適齢期の者が居るが、なかなか出会いが難しいようだ。埼玉県で成功している「恋たま」と言うのがあると聞くと、見習ってはどうか。</p>
<p>・亡くなっている人の名義のままの空家となり、施設に入っており、住んでいる人の居ない空家があり今後が心配だ。今はコロナ禍で仕方ないが、いずれ観光客も戻ってくると思うため、ワクチンパスポーツの早期実現を期待する。</p>
<p>・人口減少対策をすすめてもらいたい。</p>
<p>・地産地消の場を、問屋町等の駐車スペースのある場所につくると良い。</p>
<p>・旧高山市以外の地域では、過疎が著しくすすんでおり、祭りや地域活動が縮小せざるを得ない状況である。先日、こちらに移住して来た方から「登山を好む人にとって、ここは全国的にみても皆が住みたいと思う土地だ。長野県への移住者は多いが、岐阜県(高山市)への移住者は少ないように思う。具体的な魅力を発信したり、仕事、住居を積極的に紹介したら、もっと移住する人が増えるのに。」と言われ、その通りだと思った。空家の解消も合せ、移住者が増えるよう、これまでにやっていない策を講じてほしい。早急に。高山市にもっと大型、有名な商業施設が来てくれたら観光客だけでなく賑わいが得られるのと思う。</p>
<p>・近年、山林等が手放しの状態で、せめて住宅地近くに山林を持っている方は、手入れをしてほしい。年に二回ほど川掃除があるが、年に一回で良いので山の手入れの日を計画してほしい。高山は山の都であるので、山を大切にしてほしい。木が伸びても持ち主でなくては無断で切ることができない。</p>
<p>・少子高齢化対策、若者定住、交流人口増など安心安全活性化したまちづくりを行政が率先して行っていただきたい。全ての産業において県外への情報発信を積極的に行い活性化していただきたい。</p>
<p>・私の住んでいる地域は過疎化が進んでおり、家の周りはほぼ空家になっている。住人がいないため手入れもできず、草木が伸び放題になっている。勝手に切る訳にもいかず、木はどんどん大きく、たくさん生えてきて林のようになっており、邪魔であるとともに、家も朽ちてきており不気味である。どうにかならないか。冬場は水道管を保護しても水を出しっぱなしにしないと水道が凍るので、水道代がとて高くなり困る。</p>
<p>・まちの中心にいるが、高齢者ばかりとなり、若者がいないことが気になっている。私の班には屋台があるが、毎月修繕費の集金、祭後の集金があり、それに加えて祭りのときは必ず出役しなければならず、出不足料では駄目だと言われ、2日間を知人や親戚等に頼まなければならない。高山市の方が一台につき5h位応援して頂きたい。郊外ならば大変なことになっている。</p>
<p>・民間企業に寒冷地手当等はないため、寒冷地に対する市民への対応を考えてほしい。</p>
<p>・今はコロナ禍、高山市はどの市より早くワクチンが進み安心して暮らしている。温泉、飲食、スポーツ、イベント等、だれもが普通に楽しめる日常が来ることを願う。</p>
<p>・高山市観光も大切でしょうが、海老坂に並んでいる自動車のナンバープレートを見ると他府県ナンバーが連なっているところを考えるとあまり気分が良くない。県外移動が不可となっているのに市ではどう見ているか。</p>
<p>・児童センターや公園など子どもと過ごしやすい場所があり、またトイレには泡やせっけんが用意してあったり、きれいにしてあったり、ありがたいと感じることが多い。コロナで飛騨から出られず、晴れたら公園に行けるが、雨の日はせまい家でひきこもる1年半となっている。雨の日も楽しめる場所が飛騨地区ににあると良いと感じる。入場料があっても構わないので、子どもが楽しい、のびのびとすごせる室内施設があると良い。早くコロナが落ち着いて、また元気な高山のまちに戻ってほしい。</p>
<p>・雑草などを放置し野生動物(ヘビなど)のすみかになっている家があり、子どもの散歩の際不安を感じることもある。</p>
<p>・都市ガスの整備をしてほしい。</p>

<p>・独居で目と足に障害があるが、私の住んでいるところは田舎で周囲は農業地であり、アップダウンが多く、借りている歩行者で買い物に行きたくてもお店が近くにない。ヘルパーのお世話になっているが、ATMも遠くお金を引き出すのも不自由である。おおむね過ごしやすい毎日を送っているが、災害の時などを思うと不安である。近くに野菜売り場やATM、乗降時のステップの低いバス、御用聞きと配達してくれる便利なお店があれば良いと思う。</p>
<p>・駐車場を増やしてほしい。</p>
<p>・どこの地区も高齢者が多く、独身男性が多い。なんとか結婚に結びつくような出会いがほしいと思う。</p>
<p>・高山市の人口減少を止める暮らしやすいまちづくりをお願いしたい。</p>
<p>・今コロナで大変ですが行政の方々も私達も子どもたちの未来のためにがんばらなくてはと思う。</p>
<p>・コロナ問題だけでなく様々な面で不公平さを感じている。もっと暮らしやすい世の中にしてほしい。</p>
<p>・現役引退後、縁あって高山に住んで約10年になる。都会にはない四季の移ろいや夏の涼しさを存分に満喫している。都会に住む、暇な若年寄達に、もっとこの田舎暮らしを知ってもらいたい。しかし、住んでみて分かることも多く、足腰が弱った時は、永住は不可能と感じている。永住は困難でも、1～2ヶ月の短期滞在ならば、滞在的な需要は多いと考える。コロナ禍で、観光客の回復には時間が必要であり、そんな中で、人流の多い都会から、一時的にも避難したいと考えている人達もあるのではと思う。廃校や空庁舎を手に入れて、一時滞在施設を整備して格安で、団塊の世代を誘致してはどうか。高山の魅力を実感すれば、移住や2か所生活を検討する人も増えると思う。</p>
<p>・緊急事態宣言など県から降りてきた案件で、そのまま岐阜地方中心に考えられた事柄をこの地方に合わない事でも何も考慮されずそのまま実行するのは改善してほしい。</p>
<p>・愛知県より移住したが、比較してあえて辛口の評価をした。この背景には、観光地のなかでも、高山は短期間で急成長を遂げていると市民も肌で感じているからである。より一層の発展を心より楽しみにしている。高山に引っ越して30代40代がまちおこしをしているまちと感じた。親世代の大切な伝統を引き継ぎながらも新しいことにも挑戦し、お店同士の繋がりなど、皆で協力してまちづくりをしている魅力ある市と感じた。飛騨市にもよく遊びにいけますが、飛騨市は自然と街と人が1つになって共存共栄している市と感じた。高山市も横のつながりがあるため、今以上にSDGsに貢献するくらい自然と街と人とが一つになるような市になることをより一層望んでいる。コロナ禍で他県に行きにくくなって非常に困っている事が洋服だ。高山で着たいと思える洋服はないため、いつも他県で購入していた。観光地であること、商店街もつぶれないように、まちなかより少し外れた車もしくはバスでいけるところに、世の中で流行っている洋服が購入できるセレクトショップができることを切に願う。また、そのようなお店で働けることにより、首都圏に劣らない若者が成長できる場所の提供につながり、ドーナツ化現象も防げるのではと思う。今後とも、市長をはじめ市役所の皆様のご活躍を心より応援している。ステキな街に引っ越せましたことに感謝の気持ちで一杯です。</p>
<p>・子ども達が高山に、進学後戻ってこられる、帰ってきたい高山になってほしい。市職員に任せるのではなく、市の発展のために市民一人一人がより暮らしやすい市になるよう、協力しながらやっていきたい。未来の明るい高山に、笑顔でいられる子どもたちの姿を願うばかりである。</p>
<p>・若い方も年配の方も豊かで充実した生活を送りたいものである。少子高齢化の社会、私は、若い方の雇用を案じている。農業、商業、林業すべての業種において、IT進出で追い付いていけなくなった。自動車整備の業種でも、製品は粗悪になっている。タイヤ等もほとんどが石油製品になり、自動車の軽量化が進み、粗悪になったり無駄な箇所に付加価値を付け、価格をつり上げているよありさまである。冬の凍結防止の塩害が酷すぎて現在の軽量化過ぎた自動車は、すぐ車台に穴があいてしまい、私達の業種の方は、全員錆の発生しない方法はないかと試行錯誤している。</p>
<p>・町全体が暗くなっているようだ。まちなかの人が少ない、もっと人が寄るまちにしてほしい。</p>